

令和2年度

# 年報

(第22巻)

長浜市立湖北病院  
介護老人保健施設湖北やすらぎの里



## 理 念

地域住民のための病院づくりを推進し、地域包括ケアを実践します。

## 基本方針

- ・ 患者の権利、尊厳を重視した医療を実践します。
- ・ 良質な医療水準を確保し、安全で快適な療養環境の提供に努めます。
- ・ 医学研究水準を確保し、安全で快適な療養環境の提供に努めます。
- ・ 職員が互いに尊重・協力し、元気で働きがいのある職場づくりに努めます。
- ・ へき地医療拠点病院として、当圏域内の山間、へき地への巡回診療等を実施し、地域の適正な医療を確保します。
- ・ 国保直営診療施設として地域包括医療・ケアに積極的に取り組みます。
- ・ 地域包括医療・ケア認定施設として、地域の高齢化に対応します。
- ・ 併設の介護老人保健施設との連携を強化し、介護サービス提供可能な複合施設としての機能を発揮します。

# 目 次

## はじめに

- 長浜市病院事業 管理者 野田秀樹 ..... 4
- 長浜市立湖北病院 院長 納谷佳男 ..... 6

## 1. 概要

- 1 湖北病院・湖北やすらぎの里の現況 ..... 7
- 2 湖北病院・湖北やすらぎの里の沿革 ..... 7
- 3 組織体制図 ..... 12

## 2. 活動状況

### ○各部門の活動状況

- ◇診療局 ..... 13

内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科

- ◇医療技術局 ..... 17

薬剤科、中央検査技術科、放射線技術科、リハビリテーション技術科、  
栄養科、機器センター、医療安全管理室

- ◇看護局 ..... 28

外来・手術室(中央材料室)、A病棟、B病棟、療養病棟、人工透析センター

- ・地域包括ケア事業部 ..... 45

- ・健康管理センター ..... 51

- ◇介護老人保健施設 ..... 52

湖北やすらぎの里

- 講習会／研修会への取り組み ..... 54

糖尿病教室

湖北やすらぎの里内部研修・外部研修

○委員会の状況

◇湖北病院 ..... 57

医療安全、リスクマネジメント、医療機器安全管理、薬事、  
手術部運営、防火・防災対策、輸血療法、人権教育推進、給食、  
医療機器等選定、診療材料選定・SPD運営、広報、  
臨床検査精度管理、職員安全衛生、医療ガス安全、  
医療廃棄物対策、化学療法検討、企画

◇湖北やすらぎの里 ..... 72

○その他、著書・論文発表等記録..... 73

3. 経営状況 ..... 81

経営収支比較、貸借対照表、決算状況、経営指標、資本的収入および支出

4. 各種統計

○湖北病院 ..... 86

職員数、各科別延患者数、各科一日平均患者数、地区別患者数、  
診療科別救急患者数、手術件数、臨床検査件数、調剤関連数、  
内視鏡検査件数、放射線検査件数、死亡者数と剖検数、  
一般病棟利用状況、リハビリテーション科利用件数、  
主な購入医療機器および備品、平均在院日数

○湖北やすらぎの里 ..... 94

職員数、月別延療養者数、一日平均療養者数、療養床利用状況

## 病院再建にむけて

### 「COVID-19 禍で学んだこと」を湖北の医療・福祉のために



長浜市病院事業管理者

野田 秀樹

今、COVID-19 感染拡大で世界は大混乱のなかにある。医療・福祉の場も一段と厳しく、前年度末からこの1年、崩壊の瀬戸際にまで追い込まれ、それを現場の職業倫理と強い使命感で何とか持ちこたえているのが現状だ。年度が変わっても変異ウイルス脅威の前に病院は先の見えない綱渡りの状況が続く。

今まで幾度となく、多くの犠牲を払ってきたのが感染症であるにもかかわらず、同じ過ちを繰り返してしまった。今回の感染拡大は合理性・効率の追求と過信が原因である。不意を衝かれた戦いは無防備に加え、敵の変わり身の早さとステルス機能にかつてない苦戦を強いられることになった。COVID-19 との闘いは長期間にわたると思われるが、切り抜けるには生物の中でも最も弱い種に属する我々ホモサピエンスが生き伸びるために獲得した「臆病さ」と「群れを成す」習性を無視することはできない。もう一度原点に回帰し対策を立て直さねばならないだろう。

すでに社会は価値観を含め大きく変わろうとしており、医療・福祉の場での受療行動の変化も始まった。この行動変容は容易には元に戻らないだろう。しかし、ヒトが満足して暮らすには、経済的基盤、多様性の容認に加えて、「健康」が必要だ。なかでも「健康」の比重は大きく、「健康」でさえあれば、一筋の光明を求めて頑張れる。その手助けをするのが医療である。

それに応えるべく職員一丸となって感染対策に当たった1年だった。対策本部の下、少ない職員の中で5つのチームを立ち上げ物品調達・連絡調整・相談対応等、さらに患者・家族・住民への啓発、県からの診療・検査医療機関の指定（R2.10.27）を受け発熱外来を、地域包括ケア病棟を閉鎖し感染患者の受け入れを開始、地域の医療は我々が守るのだという気概を持って全力を挙げてきた。

そうした使命感や働きは反映されず、本年も医業収支は若干の収益向上を見たものの赤字決算に終わった。

病院事業として重要課題の一つ、地域医療構想の進捗についてはCOVID-19 禍で中断を余儀なくされたが、むしろ再考のチャンスをもたらしたと考えている。「地域医療構想」の核である「長浜市立湖北病院、市立長浜病院、長浜赤十字病院の3病院の連携のあり方」への動きは再検証とCOVID-19 感染拡大で得られた経験を生かした大きな修正が求められよ

う。

一方、老朽化する病院（築 38 年）の再建問題については総論としての枠組みは少しずつ見えてきたが、向後、加速度的に進めていかねばならない。

- ・外来患者の 90%以上、入院患者の 80%が診療圏域の患者で占められる地域密着型病院であり、へき地医療拠点病院である事。

- ・同一敷地内に市の社会福祉協議会が運営する特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、デイサービスセンターを持つ事。

- ・3つのへき地巡回診療所、訪問看護ステーション、老健施設（湖北やすらぎの里：院内併設、現在は市が運営）、地域包括支援センターを病院内に設置し医療・介護のシームレスな連携体制が整っている事などから

地域の特殊性、病院の伝統・文化を尊重し、医療資源を最大限活用できる機能的・効率的な病院のあり方を求めて 2010 年ころより「湖北ルネサンス」構想（2014 年提案）として湖北病院を核とした地域の活性化を提案し、現在、地域医療構想との整合性に配慮した「人の集まる病院・複合施設に」を合言葉に計画が練られだしたところだ。絶対的医療資源不足の中、しかも限られた時間の中であり、多くの困難が待ち受けていると思うが、情報に振り回されることなく多様な考え方を受け入れ、柔軟に対応し得る術を育て、後戻りすることなく、前進していただきたい。

追：湖北圏域では地域医療構想のための連携協議の場が保健所を中心とした COVID-19 対策協議の場となり COVID-19 対策・対応がうまく機能してきたと感じている。

## 令和2年度年報発行に際して



病院長 納谷佳男

令和2年度年報発行に際し、ご挨拶申し上げます。

令和元年度は医業収益が好調で、令和2年度には黒字化も見込めるのではという中でスタートしたのですが、実はコロナに明けくれた苦労の始まりの年でした。3月5日に滋賀県下でもコロナ感染症の患者が報告され、第一波が始まったわけですが、当院は、令和2年度開始となる4月から発熱・接触者外来を開設し運営に当たりました。正面玄関、救急外来通用口で来院者の検温と手指消毒を実施しています。5月11日からは地域包括病棟35床を閉鎖し、コロナ病棟を15床で開設しました。感染が落ち着き、一旦7月1日にコロナ病棟を閉鎖し、地域包括病棟を再開させました。地域包括病棟を閉鎖することで、地域の皆様の受け入れが滞り、各所にご迷惑をおかけした事をお詫び申し上げます。早期再開をとの声を多くいただきましたが、コロナ禍での受診控えで、外来、入院とも患者数は減少しました。

発熱外来においては、令和2年10月27日から滋賀県の検査医療機関の指定を受けています。当初はPCR検査装置1台（現在は2台）でCOVID-19PCR検査を行いました。約1時間半で結果が判明します。救急外来のガレージでのドライブスルーと救急室内の専用診察室でPCR検査を行い、結果判明後、陰性の方は一般外来または救急外来で診察を行っていました。内科を中心とした発熱外来担当医、時間外対応医、当直医、検査室スタッフ、外来及び救急看護師に感謝申し上げます。

令和3年2月1日からコロナ病棟を再開する予定でしたが、併設の介護老人保健施設湖北やすらぎの里で、令和3年1月21日にクラスターが発生し、職員4名、入所者13名の施設内感染に発展しました。コロナ病棟スタッフを湖北やすらぎの里に派遣し、市立長浜病院の感染対策チームの医師・看護師と連携し、感染対策を徹底したことにより2月23日に終息しました。この経験でわかったことは、COVID-19の感染力の強さと、元気な認知症高齢者においては、感染予防が非常に困難であることでした。コロナ感染症患者を受け入れていただいた長浜赤十字病院及び市立長浜病院に心より感謝申し上げます。

このようにコロナに明けくれた令和2年度でした。コロナ禍の苦労話が、早く過去の物語となることを願って年報発行のご挨拶といたします。

# 1. 概要

## 1 湖北病院・湖北やすらぎの里の現況(令和3年3月31日現在)

|          | 所在地                    | 病床・療養床数 |
|----------|------------------------|---------|
| 湖北病院     | 滋賀県長浜市木之本町<br>黒田1221番地 | 140 床   |
| 湖北やすらぎの里 |                        | 84 床    |

|              |  |
|--------------|--|
| 湖北病院<br>診療科目 | 内科・精神科・神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・外科・<br>整形外科・泌尿器科・皮膚科・小児科・婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・<br>歯科口腔外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科 |
|--------------|--|

|  |  |
|--|--|
| <p><b>【施設の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地面積 48,871.5 m<sup>2</sup></li> <li>建物概要           <ul style="list-style-type: none"> <li>本館 鉄骨鉄筋コンクリート造6階<br/>塔屋1階 延床面積 9,051.5 m<sup>2</sup></li> <li>新館 鉄筋コンクリート造3階<br/>塔屋1階 延床面積 5,107.2 m<sup>2</sup></li> <li>附属棟 保育園、倉庫、医療ガス庫等<br/>延床面積 523.3 m<sup>2</sup></li> <li>本館竣工 昭和57年11月</li> <li>新館棟竣工 平成18年6月</li> </ul> </li> <li>湖北やすらぎの里           <ul style="list-style-type: none"> <li>本館の4階、5階<br/>鉄骨鉄筋コンクリート造 2718.27 m<sup>2</sup></li> <li>開所 平成4年4月</li> </ul> </li> </ul> | <p><b>【診療指定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保険医療機関</li> <li>労災保険指定病院</li> <li>介護保険指定居宅サービス事業者</li> <li>生活保護指定病院</li> <li>身体障害者福祉法指定病院</li> <li>更生医療指定病院（腎臓に関する医療）</li> <li>原子爆弾被害者一般疾病医療指定病院</li> <li>戦傷病者医療指定病院</li> <li>特定疾患治療研究事業受託病院</li> <li>小児慢性特定疾患治療研究事業受託病院</li> <li>労災保険アフターケア受託病院</li> <li>短期入院協力施設</li> <li>初期緊急被ばく医療機関</li> <li>重症難病医療協力病院</li> </ul> |
|--|--|

## 2 湖北病院・湖北やすらぎの里の沿革

|             |                               |
|-------------|-------------------------------|
| 明治42(1909)年 | 富田八郎氏が病院設立の必要性を伊香郡愛郷会々員に呼びかける |
| 明治44(1911)年 | 伊香郡に病院建設の機運が高まり、建設に向けて動き始める   |
| 大正2(1913)年  | 病院建築に着手                       |
| 大正4(1915)年  | 7月15日 「伊香病院」の創設               |
|             | 伊香郡愛郷会(会長 富田八郎氏)の事業として        |

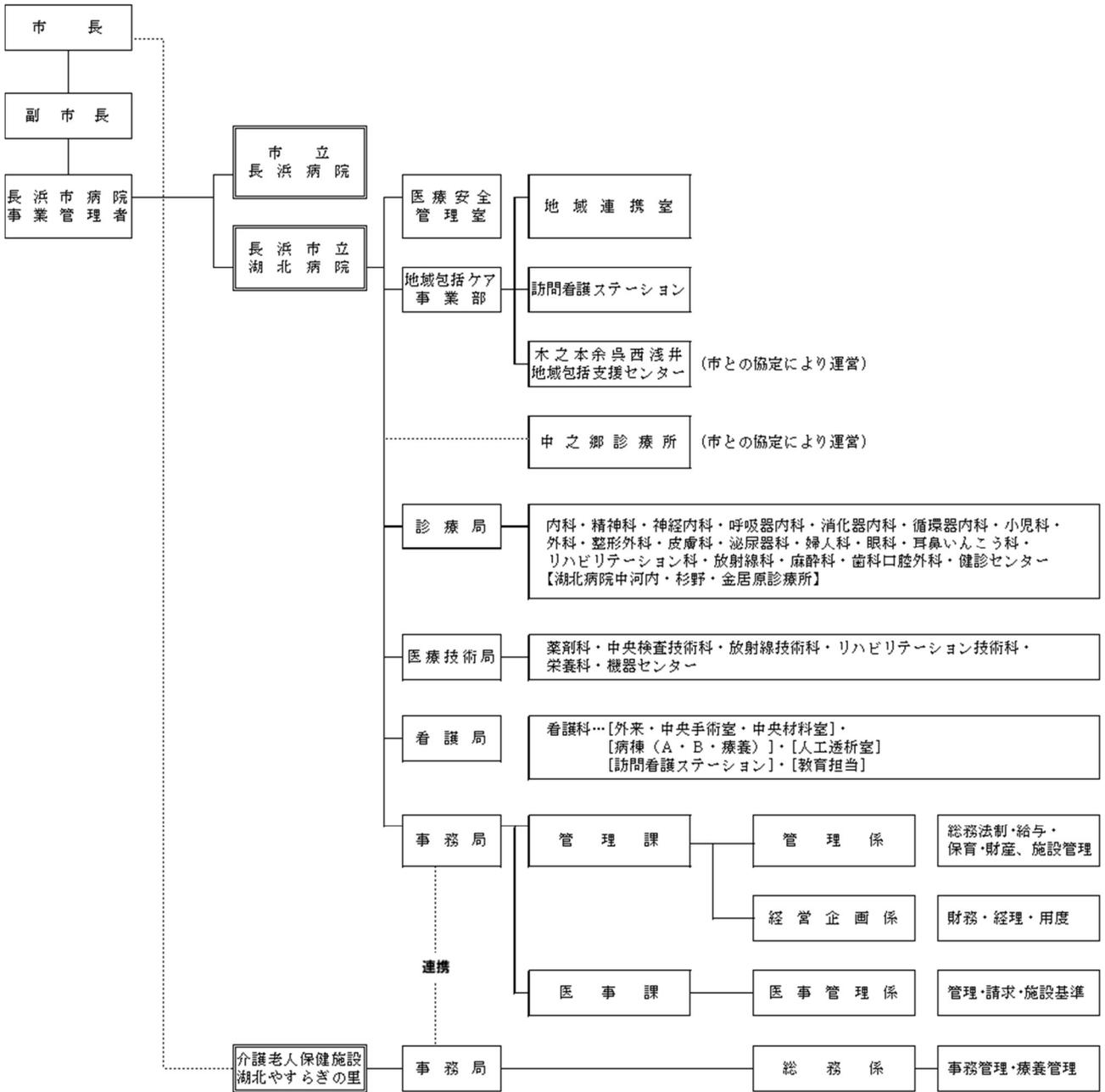
|              |         |   |
|--------------|---------|---|
|              |         | 伊香郡木之本町大字木之本字塔寺の地に病院を創設   |
|              |         | 院主 富田八郎   |
|              |         | 院長 横井薫（初代） 医学士  |
|              |         | 顧問 名古屋好生館病院長 北川乙治郎 医学博士   |
| 大正 6（1917）年  | 12月 21日 | 伝染病隔離病舎（箱柳病院）創設 木之本外 8ヶ村組合立として、木之本村字箱柳の地に伝染病隔離病舎を開設               |
|              |         | 管理者 木村 市太郎  |
| 昭和 18（1943）年 | 7月 22日  | 日本医療団から伊香病院を解散・移管するよう要請あり   |
| 昭和 19（1944）年 |         | 伊香病院が日本医療団により買収統制される  |
|              | 11月 12日 | 伊香病院解散式举行   |
| 昭和 22（1947）年 | 11月 29日 | 院主 富田八郎逝去（急性肺炎）   |
| 昭和 24（1949）年 | 4月 30日  | 日本医療団から病院を買い戻す  |
|              | 5月 1日   | 「伊香郡国民健康保険団体連合会直営伊香病院」として再開                                       |
|              |         | 院長 北嶋精智（第 6代）   |
|              |         | 病床数 一般病床 25床  |
|              |         | 診療科目 内科、外科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、物療科                                  |
| 昭和 25（1950）年 | 3月 1日   | 伊香病院高時出張診療所を開設  |
| 昭和 26（1951）年 | 8月 16日  | 結核予防法指定医療機関の指定を受ける  |
| 昭和 27（1952）年 | 3月 1日   | 入院患者に対し完全給食を開始  |
|              | 3月 26日  | 伝染病院を伊香病院に併設  |
|              | 4月 8日   | 伝染病院移転新築  |
|              |         | 伝染病院を木之本町箱柳から木之本町木之本 723番地に新築移転                                   |
|              | 8月 1日   | 生活保護法による医療扶助として行う完全給食を実施  |
| 昭和 28（1953）年 | 4月 1日   | 旧伝染病院跡を木之本町母子寮に転用   |
| 昭和 29（1954）年 | 4月 1日   | 「伊香郡木之本町外 12ヶ村組合立伊香病院」に名称変更                                       |
|              |         | 管理者 藤田甚左エ門  |
|              |         | 構成町村は次のとおり  |
|              |         | 木之本町、杉野村、高時村、北富永村、南富永村、古保利村、七郷村、伊香具村、余呉村、丹生村、片岡村、塩津村、永原村（以上 13町村） |
| 昭和 30（1955）年 | 8月 5日   | 「伊香郡町村組合立伊香病院」に名称変更   |
|              |         | 管理者 西島由太郎（高月町長）   |
| 昭和 32（1957）年 | 7月 15日  | 健康保険法による保険医療機関の指定を受ける   |
| 昭和 33（1958）年 | 10月 1日  | 基準給食設備の承認を受ける   |
| 昭和 37（1962）年 | 3月 1日   | 病院本館の改築および増床  |
|              | 10月 1日  | 伊香病院高時診療所を廃止  |

|                |                |   |   |
|----------------|----------------|---|---|
| 昭和 40 (1965) 年 | 5 月 25 日       | 「伊香郡町村組合立伊香病院」を「伊香郡病院組合伊香病院」に名称変更                                   |   |
|                | 12 月 1 日       | 基準看護 (2 類) 、基準寝具の承認を受ける   |   |
|                | 12 月 7 日       | 障害年金再診医療機関の指定を受ける   |   |
| 昭和 44 (1969) 年 | 4 月 1 日        | 労災保険指定医療機関の指定を受ける   |   |
|                | 6 月 1 日        | 健康保険医療機関の指定を受ける   |   |
| 昭和 45 (1970) 年 | 11 月 1 日       | 病院本館等増改築  |   |
| 昭和 46 (1971) 年 | 8 月 11 日       | 児童福祉施設 (助産施設) の設置認定を受ける   |   |
| 昭和 47 (1972) 年 | 4 月 1 日        | 医師団総辞職のため病院閉鎖<br>院長代理 今村久郎 (産婦人科医師)                                 |   |
|                | 8 月 16 日       | 新院長 馬場道夫 (第 10 代) を迎え再開準備   |   |
|                | 4 月 1 日        | 診療再開  |   |
| 昭和 48 (1973) 年 | 4 月 1 日        | 放射線・病理組織検査棟の新築および医療機器の整備  |   |
|                | 昭和 49 (1974) 年 | 5 月 15 日  | 外科病棟および整形外科外来診療室の新築 人工透析 (2 床) の開設  |
|                |                | 10 月 1 日  | 国民健康保険親元病院の指定を受ける   |
| 昭和 50 (1975) 年 | 1 月 1 日        | 身体障害者福祉法第 19 条の 2 の規定による更生医療を担当する医療機関の指定を受ける<br>担当すべき医療の種類 腎臓に関する医療 |   |
|                | 12 月 5 日       | へき地中核病院の指定を受ける  |   |
|                | 昭和 51 (1976) 年 | 4 月 26 日  | 病棟増築<br>伝染病隔離病舎を解体 (伝病舎は結核病棟へ移設) し、その跡地にへき地中核病院施設整備補助金を主要財源として病棟 (第 3 病棟) を新築 |
| 11 月 22 日      |                | 保助看学校養成所指定規則第 7 条第 1 項第 3 号による成人看護の法定臨床実習生の受入れ開始                    |   |
| 12 月 1 日       |                | 身体障害運動療法の施設基準に係る承認  |   |
| 昭和 52 (1977) 年 |                | 9 月 1 日   | 基準看護 (特 1 類) の承認を受ける (ただし結核病棟は従来どおり 2 類看護)                                    |
|                | 11 月 1 日       | 伊香病院中河内診療所および伊香病院古保利診療所について、保険医療機関として正式承認を受ける                       |   |
| 昭和 53 (1978) 年 | 1 月 31 日       | 排水処理施設の整備   |   |
|                | 7 月 7 日        | 病院移転改築について検討はじまる  |   |
| 昭和 54 (1979) 年 | 4 月 5 日        | 滋賀県立特別養護老人ホーム「福良荘」への出張診療を開始   |   |
| 昭和 55 (1980) 年 | 4 月 1 日        | 西浅井町塩津診療所への出張診療を開始  |   |
| 昭和 56 (1981) 年 | 9 月 10 日       | 伊香病院移転改築工事着工  |   |

|             |        |  |
|-------------|--------|--|
|             | 10月1日  | 救急病院等を定める省令第1条の規定に基づく救急病院の指定を受ける   |
| 昭和57(1982)年 | 11月30日 | 新病院新築工事竣工  |
| 昭和58(1983)年 | 3月1日   | 「伊香郡病院組合立湖北総合病院」と名称変更して開院<br>診療科目 内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、肛門科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、気管食道科、理学診療科、放射線科、歯科 計21<br>病床数 一般病棟 200<br>伝染病棟 10 結核病棟 10 計 220床<br>敷地内にバス停を設置 |
|             | 11月30日 | 旧病院第3病棟を用途変更し、看護婦宿舎として改修   |
| 昭和60(1985)年 | 7月15日  | 病院創立70周年記念式典を挙行  |
| 昭和63(1988)年 | 7月4日   | 病院併設型老人保健施設、その他増改築工事着工   |
| 昭和64(1989)年 | 3月25日  | 老人保健施設、その他増改築工事竣工  |
| 平成元年        |        | 老人保健施設(5階に設置)<br>理学作業療法室(1階に増設)  |
|             | 4月1日   | 老人保健施設「湖北やすらぎの里」開所<br>(名称を一般募集し、「湖北やすらぎの里」と選定される)  |
|             | 7月31日  | 老人保健施設に特別浴室およびデイケアルームを追加増設   |
|             | 12月1日  | 理学診療科作業療法施設の承認を受ける   |
| 平成5(1993)年  | 4月29日  | 馬場道夫院長 藍綬褒章受賞  |
|             | 7月1日   | 週休2日制導入(水・日曜日休診閉庁)   |
|             | 10月1日  | 心身障害児通園事業の移管(伊香郡心身障害児地域療育事業運営協議会より)を受ける  |
|             | 12月6日  | 伊香郡広域総合保健医療福祉センター起工式   |
| 平成6(1994)年  | 9月14日  | 放射線科および内視鏡室拡張工事起工式   |
| 平成7(1995)年  | 3月15日  | 放射線科および内視鏡室拡張工事竣工  |
|             | 4月1日   | 伊香郡広域総合保健医療福祉センター開所  |
|             | 5月28日  | 馬場道夫助役 逝去  |
| 平成8(1996)年  | 9月19日  | 金居原巡回診療所開所式<br>(10月4日から診療開始、木之本町から管理委託を受ける)  |
| 平成10(1998)年 | 9月30日  | 古保利診療所廃止   |
|             | 12月10日 | 結核病棟(10床)廃止  |
| 平成11(1999)年 | 3月31日  | 伝染病棟(10床)廃止  |

|             |        |   |
|-------------|--------|---|
|             | 8月1日   | 一般病床205床を200床に変更 介護認定審査会事務室の設置  |
| 平成12(2000)年 | 3月1日   | 一般病床200床を190床に変更(うち療養型35床) 訪問看護ステーションの設置  |
| 平成15(2003)年 | 11月30日 | 湖北総合病院託児所「ひまわり園」新築工事竣工  |
| 平成16(2004)年 | 3月31日  | 「伊香の里」デイサービスセンター等増改修工事竣工  |
| 平成17(2005)年 | 5月20日  | 湖北総合病院増改築工事着工   |
| 平成18(2006)年 | 3月31日  | 湖北総合病院増築棟竣工<br>2・3階=96床 1階=人工透析センター・厨房等   |
|             | 4月1日   | オーダーリングシステム導入   |
|             | 5月31日  | 湖北総合病院増築工事(外溝および渡り廊下)竣工   |
|             | 6月20日  | 健診センター業務開始<br>新病棟・厨房施設共用開始  |
| 平成19(2007)年 | 2月28日  | 病院増改築工事完了 共用開始  |
| 平成21(2009)年 | 1月31日  | 湖北総合病院改革プラン公表   |
|             | 3月3日   | 長浜市および東浅井郡・伊香郡6町合併協定調印式   |
|             | 4月13日  | 伊香郡病院組合運営協議会開催<br>福祉施設事業の経営形態を「公設民営」とし、指定管理者制度を導入することに決定                              |
|             | 9月30日  | 介護認定審査会事務および障害児通園(デイサービス)事業を移管する  |
|             | 12月15日 | 病院本館4階改修工事完了  |
| 平成22(2010)年 | 1月1日   | 1市6町合併により新長浜市が誕生し「長浜市立湖北病院」に名称変更  |
|             | 4月1日   | 地方公営企業法の全部適用を開始(長浜市病院事業)<br>一般病床45床(旧C病棟)を介護老人保健施設に転換し、介護老人保健施設「湖北やすらぎの里」を30床から84床に増床 |
| 平成24(2012)年 | 3月26日  | 長浜市病院事業改革プラン「改訂版」公表   |
| 平成26(2014)年 | 10月1日  | 一般病床96床のうち、48床を地域包括ケア病棟に移行  |
| 平成27(2015)年 | 10月14日 | 創立100周年記念式典挙行   |
| 平成28(2016)年 | 2月     | 電子カルテ運用開始   |
| 平成30(2018)年 | 4月1日   | 中之郷診療所の運営開始   |
| 平成31(2019)年 | 1月     | 地域包括支援センターの運営開始   |
|             | 3月31日  | 病床数を153床から140床(一般病床83床、療養病床57床)に変更  |
| 令和2年(2020)年 | 5月11日  | 地域包括ケア病棟閉鎖、コロナ病棟開設<br>2床(5月17日まで) 15床(6月30日まで)  |

### 3 組織体制図(令和2年度)



## 2. 活動状況

### ○各部門の活動状況

#### 診療局

##### 内 科

|     |       |           |      |      |           |
|-----|-------|-----------|------|------|-----------|
| 副院長 | 富樫弘一  | (H15年4月～) | 診療局長 | 清水真也 | (H26年7月～) |
| 医師  | 久田祥雄  | (R2年5月～)  | 医師   | 渡辺舞  | (H30年4月～) |
| 医師  | 岡勇樹   | (R2年4月～)  | 医師   | 八坂亜季 | (H30年4月～) |
| 医師  | 内田晃史  | (H31年4月～) | 医師   | 山村仁詩 | (R2年4月～)  |
| 医師  | 森川淳一郎 | (H14年4月～) |      |      |           |

#### ■ 今年度のトピックス

胃・大腸・肝・胆道疾患などの消化器疾患、循環器疾患、脳卒中、呼吸器疾患、血液疾患、腎臓・内分泌・代謝疾患をはじめ一般内科診療を行っています。

本年度からは、総合診療内科の久田医師が加わり、今後、在宅医療の充実を目標に、診療体制強化を図っていきたいと思っています。

#### ■ 業務実績

消化器内科、糖尿病診療などは一般診療から専門的医療まで当院で行い、救急や循環器、血液疾患では長浜の2病院と連携して診療を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、一時、診療体制を縮小せざるを得ない状況もありましたが、下半期からは通年どおりの体制に復しています。

介護を要する高齢の入院患者数が次第に増えており、退院調整を要することが多くあります。地域包括ケア病棟や療養病棟へ転棟される場合も多く、在宅へ退院される場合は介護支援を行っています。専門医の退職に伴い、血液疾患、在宅医療に関しては、やや縮小傾向となっています。

#### 消化器：

上部・下部内視鏡診断及びポリペクトミー等の治療や、胃癌・大腸癌などの消化器癌の診療を行っています。早期の癌では、上部下部消化管ともに内視鏡的粘膜切開剥離法

(ESD)を行い、肝胆膵の診療、ERCP・胆石除去・ドレナージなども行っています。また超音波内視鏡などの最新機器も完備し、より最新の診断治療を目指しています。本年度は

新型コロナウイルス感染症の影響で、診療控えもあり件数は約2,250件と、例年より検査件数は少なめではありましたが、消化器内科専攻希望の若い医師も赴任され、ESDやERCPなどの治療内視鏡の件数は維持しています。外科的治療を要する場合は今まで通り長浜の2病院と連携しています。肝疾患では非常勤の専門医が診療しています。

#### 循環器：

心臓超音波検査・24時間心電図などによる診断を行い、高血圧症、不整脈、心不全などの治療を行っています。急性虚血性心疾患、外科的治療の必要な心・血管疾患などの症例では市立長浜病院へ紹介させていただきます。

#### 糖尿病：

糖尿病、脂質異常症・肥満などの生活習慣病を持った患者様の、外来あるいは入院での食事・運動などの指導と薬物治療を行っています。また糖尿病教室や専門の看護師による療養指導、クリニカルパスを用いた入院コースも行っています。糖尿病に関してはインスリンポンプを用いた治療や、腕にセンサーを取り付けて24時間血糖値を測定するグルコースモニタリングも行っています。

#### 血液病：

貧血・血小板減少・リンパ節腫脹などの検査と治療、高齢者の血液疾患の治療などを行ってきましたが、平成30年10月末に、田中前院長がご退任されたため、現在は病状の安定した患者様のみを外来にて経過観察させていただいています。新規発症患者や病状が悪化した患者様、また放射線療法・幹細胞移植が必要な場合など、専門的診療が必要な場合は、市立長浜病院、大学病院などと連携し診療します。

#### 救急：

高齢者の心不全や肺炎の症例が増加しています、あらゆる疾患で可能な限り原則常時受け入れています。脳卒中や心筋梗塞等では、長浜の2病院と連携し、最初から高度医療の必要な症例は転送させていただきます。

#### ■評価

あらゆる年齢の種々の疾患に対応し診療を行っていますが、高齢の慢性疾患症例が増加しています。消化器と糖尿病では専門的診療を行っており、慢性腎臓病では腎臓内科（泌尿器科）と連携し初期から透析期までの診療・管理を行っています。循環器や他の疾患診療でも最新の知見に基づき診療を行い、生活の管理・指導を行っています。ただし、専門医師の退職に伴い、血液疾患や在宅医療については、縮小方向となっています。

## 小児科

副院長兼部長 東野克巳（平成 26 年 4 月～）

### ■ 業務実績

平成 31（令和元）年度末で、毎週土曜日の長浜赤十字病院からの診療支援医師派遣受諾を終了しました。外来診療は月・火・金・土曜日午前が、東野医師、木曜日は、（午前）非常勤の岩瀬亜希子医師、（午後）安倍義明医師の担当により一般小児科診療を行いました。年間の総述べ外来患者数は 1,221 人でした。

予防接種（外来）業務は、毎月一定数の乳幼児予防接種の受託があります。成人の予防接種（海外渡航前など）についても、小児科外来で実施しています。今年度は総述べ 801 回の接種を行いました。

小児神経科専門外来は、月 2 回、前滋賀医科大学小児科学講座教授竹内義博医師の担当で、毎回 4-6 名程度の外来受診がありました。

### ■ 評価

（地域の）少子高齢化に伴う小児科世代（こども総数）の減少および予防接種の啓蒙推進による感染症症例の減少により、小児科外来患者数は減少の方向です。昨年度末からの COVID-19 の影響による感染症構造の変化により、冬季のインフルエンザ、夏季の手足口病、ヘルパンギーナ等の患児は皆無に等しく、年間の総受診者数は著しく減少しました。1 外来あたり 1~4 名程度の診療規模となっています。

### ■ その他

#### 【乳幼児健診】

市保健センター（健康推進課）より委託の乳幼児健診（4 か月児健診、10 か月児健診など）に年間 31 回出動しました。

#### 【学校保健】

余呉小中学校の学校医、余呉認定こども園の嘱託医を受託しています。

## 眼 科

部 長 中村貴士（平成 23 年 4 月～）

### ■ 業務実績：

令和 2 年度は B 病棟をコロナ病棟にすることに伴い白内障 OPE 入院ができなくなったため白内障 OPE が中断となりました。よって外来のみの診療となっています。外来診療は週 5 日で一日 15 人程度ですが神経眼科疾患や網膜疾患などの難しい症例の患者さんも受診

されておられます。また加齢性黄斑変性症、黄斑浮腫に対しては引き続き当科にて抗 VEGF 薬の硝子体注射を行いました。（月 2～3 例程度）

#### ■ 評価：

コロナに伴う患者数の減少に加え、当科には OCT（光干渉断層計）がないため近医眼科へ撮影のため紹介せざるを得ない状況が続いており、外来患者数が伸び悩んでいます。早期の OCT の導入が望まれます。

## 泌尿器科

院長兼部長 納谷佳男（泌尿器腹腔鏡技術認定医・がん治療認定医）

顧問 伊達成基

医師 中尾美奈子

非常勤医師 森優（腎臓病専門医、透析専門医）、林一誠（透析専門医）、他に京都府立医大泌尿器科より非常勤 2 名

#### ■ 業務実績

泌尿器科手術件数 235 件（2020 年 4 月～2021 年 3 月）

泌尿器科常勤医 3 人と非常勤医 4 人で、泌尿器科全般及び透析管理を業務としています。納谷が 2017 年 7 月に着任、2018 年 11 月から病院長に就任しております。納谷の着任以来、腹腔鏡手術が増えています。腹腔鏡下腎生検や腹腔鏡下腹膜透析カテーテル整復再固定術など他施設では行っていない手術も行なっています。透析患者のバスキュラーアクセス（シャント）トラブルに対する経皮的血管拡張術も他院からの紹介も増え、件数は 111 件と増加しております。腎癌、尿路上皮癌に対する分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤投与や化学療法、去勢抵抗性前立腺癌に対する新規内分泌治療系や化学療法も施行しております。筋層浸潤性膀胱癌に対する膀胱温存療法（化学放射線療法と Radical TUR 併用）にも取り組み、当院では高齢者の膀胱全摘をしなくなりました。前立腺癌に対しては、市立長浜病院への放射線治療紹介が増え、前立腺全摘が今年度はついに 0 件となりました。腎・尿管結石に対するレーザー砕石器による内視鏡治療、体外衝撃波結石破砕術も行なっています。珊瑚状腎結石に対し経皮的腎結石砕石術と経尿道的尿路結石砕石術を同時に施行し、良好な成績を得ています。腎臓病専門医である森医師を中心に慢性腎臓病疾患の治療も行っています。長浜市北部地域唯一の透析施設として慢性腎不全に対する透析治療も行っています。

学会活動として、日本泌尿器科学会総会、日本透析医学会、バスキュラーアクセス研究会、全日本鍼灸学会などで学会発表を行いました。また、12 月には京滋奈和性感染症研究会を納谷院長が主催いたしました。

# 皮膚科

部長 齋藤卓也（平成 29 年 4 月～）

## ■ トピックス 入荷

平成 29 年 4 月より常勤 1 名体制を復活させました。入院と手術のできる病院皮膚科を復活しました。

## ■ 業務実績

皮膚腫瘍・皮下腫瘍の日帰りの局所麻酔の手術をおこなっています。公共交通機関が弱い弱で、高齢のひとり暮らしで術前の内服管理が難しい場合や、術後の出血リスクが高い場合には前日からの入院や、術後翌日までの入院にも柔軟に対応しています。

発熱を伴う蜂窩織炎、ADL を障害する痛みを伴う帯状疱疹、中等症以下の熱傷の入院加療にも対応しています。

## ■ 評価

地域で入院と手術を受けられる病院皮膚科を絶やさぬように精進して参ります。

# 医療技術局

医療技術局長 熊河久登

## ■ 概要

医療技術局の各科職員は、互いの専門技術を尊重し、協働連携して湖北病院の理念「地域住民のための病院づくりを推進し、地域包括ケアを実践します」に基づき、地域住民に信頼される医療サービスを提供することを目標として業務を行っています。

令和2年4月にリハビリテーション科2名、中央検査科1名の新規採用者と、放射線科1名は市立長浜病院との人事交流を行い、医療技術局8科(検査科、歯科、放射線科、薬剤科、リハビリテーション科、栄養科、機器センター、眼科)正規職員43名、臨時職員4名の計47名で、それぞれの専門職として他職種と協働連携し、業務活動に取り組みました。

## ■ 実績

### ①医療技術局会の開催

毎月1回、各科の代表者が出席し、医療技術局職員として情報を共有し、課題に対し協議、提案、対応を図りました。

### ②出前健康セミナー開催(テーマ16題)

「地域住民の皆様の健康づくりの手助けをするとともに、ふれあいを通じ病院事業を広くアピールをしていく」ことを目的にして継続しました。令和2年度はコロナ禍の影響で3回の開催に留まり、参加地域住民は46人、医療技術職員は7人でした。セミナー終了後に地域住民の皆様のニーズを把握するためにアンケート調査を行いました。また、医療技術局広報誌「チームこほく」を11回発行しました。

### ③新規採用者オリエンテーションを3名に対して実施しました。

### ④各職種の専門性を活かしICT、NST、訪問歯科診療等において協働連携を図りました。

### ⑤医療技術局各科の課題、業務改善、人事評価制度、働き方改革等に取り組みました。

### ⑥COVID-19対応として、正面玄関での発熱トリアージポストの業務に参加しました。

## ■ 評価

病院理念「地域住民のための病院づくりを推進し、地域包括ケアを実践します」を医療技術局の各科全職員の共通認識とし、互いに協働連携し地域医療サービスの向上を目指した対応を進めました。また、COVID-19への対応のなか、出前健康セミナーも開催が少なくなると予想されたため、代替策として医療技術局各科から専門職としての情報誌の発行という形で活動を行うことが出来ました。

# 薬剤科

薬剤長 久保田惣平

## ■ 概要

令和2年度は薬剤師7名と薬剤補助1名の体制で業務に取り組みました。「良質な医療サービスの提供を行う」を行動目標とし、病院薬剤師業務の充実、診療報酬改定への取り組み、各診療所の業務をはじめとする薬剤業務の見直しを行いました。

1. 医薬品の管理・供給
2. 病棟業務の実施
3. 薬剤管理指導業務の実施
4. 地域との連携、研修
5. 医療安全・医薬品安全、感染対策、NST等、チーム医療や院内委員会活動、研修活動についても積極的に取り組みました。

## ■ 業務実績

### ① 調剤関連実績

| 令和2年度                | 枚数・件数   | 前年度比率  |
|----------------------|---------|--------|
| 1. 院内処方箋枚数（外来）       | 2,018枚  | 72.1%  |
| 2. 院内処方箋枚数（入院）       | 15,481枚 | 84.4%  |
| 3. 老健-処方箋枚数          | 1,511枚  | 99.4%  |
| 4. 中之郷診療所（2018.4月より） | 2,376枚  | 76.2%  |
| 5. 院外処方箋枚数           | 39,339枚 | 92.6%  |
| 6. 注射箋枚数（入院）         | 20,923枚 | 78.9%  |
| 7. TPN ミキシング件数       | 1,945件  | 94.3%  |
| 8. 化学療法件数（整形 含む）     | 241件    | 111.6% |

### ② 指導関連実績

| 令和2年度           | 人数・回数・件数 | 前年度比率  |
|-----------------|----------|--------|
| 1. 指導人数         | 1,958人   | 83.5%  |
| 2. 指導回数         | 3,760回   | 86.7%  |
| 3. 薬剤管理指導算定件数   | 3,069件   | 96.7%  |
| 4. 退院時指導件数      | 531件     | 101.7% |
| 5. 病棟薬剤業務算定件数   | 2,351件   | 84.4%  |
| 6. 薬剤総合評価調整加算件数 | 77件      | 308%   |
| 7. 薬剤調整加算件数     | 32件      | 新規     |

③ 医薬品管理業務：計画的な医薬品管理のもと、採用薬の見直し、後発医薬品への切

換、期限管理、配置薬の適正化、医薬品情報の収集、発信

\* 後発薬数量シェア（令和3年3月実績）院内 91.4%

各診療所：杉野 98.7%/金居原 99.8%/中河内 98.7%/中之郷 94.8%

### ④ 研修活動等

実績：県病薬研修会、県病薬学術セミナー、がん薬物療法セミナー、日病薬近畿学術大会ポスター発表、中小病院薬剤師セミナー、プレアボイド研修会、薬薬連携研修会、広報誌「チームこほく」発行、院内研修会の実施、等

## ■ 評価

本年度は医薬品の管理、供給、調剤などの基本業務の見直しと効率化を図り、病棟での薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務への取り組み等による患者サービスの充実、後発医薬品の使用推進、ポリファーマシー対応、新規算定項目への取組等を進める事が出来ました。

次年度におきましても更なる業務の改善、効率的な業務展開を図り、内外において、チーム医療の中で薬剤師としてより安全でより良い医療サービスの提供ができるよう業務対応を図ってまいります。

## 中央検査技術科

技師長 坪井房幸

### ■ 概要

新人1名が入職しました。

世界的な新型コロナウイルスの流行で、対応に追われた1年でした。

2月に発生した、介護老人保健施設内でのクラスターの対応に追われました。

### ■ 業務実績

#### ○ 生化学 免疫部門

新型コロナウイルスの重症化マーカーのセット項目を新たに設けました。

ALP・LDHの基準をJSCCからIFCCに変更しました。

#### ○ 生理検査部門

新型コロナウイルスの補助金により、更新予定のABI検査機器、肺機能検査機器、超音波検査機器を購入し、令和3年2月より稼働させました。

#### ○ 細菌検査部門

1月より、新型コロナウイルスの流行が始まり、感染管理を含め対策に追われました。

市内3病院による感染対策合同カンファレンスに参加し、保健所とも連携し、湖北地域の新型コロナウイルスを含めた感染症の情報交換を行いました。

安全キャビネットや抗原定性検査キット、PCR検査機器2台を導入し、新型コロナウイルスの検査の充実を図りました。

#### ○ 輸血 血液部門

輸血後感染症を無くすなど輸血マニュアルの見直しを行いました。

D-ダイマー検査を外注から病院内での検査に戻しました。

血液内科医が赴任されたので、骨髄穿刺を始めました。(ペルオキシダーゼ染色)

#### ○ 一般検査部門

グリコヘモグロビンA1cの検査機器のメンテナンスを実施しました。

尿分析装置の販売停止に伴い、次期の機器の選定を検討しました。

### ■ 評価

新人1名が入職し、指導を行い拘束や日直業務がこなせるまでになりました。

新型コロナウイルスの流行で、外来患者の減少や、病棟のコロナ病床への変更に伴い、検査件数・点数とも大幅に減少しました。

介護老人保健施設内でのクラスターを経験し、感染対策の重要性を再確認しました。

## 検査件数

単位：件

|     | 令和2年度   |        |         | 令和元年度   | 対前年度比<br>(%) |
|-----|---------|--------|---------|---------|--------------|
|     | 外来      | 入院     | 合計      |         |              |
| 一般  | 10,124  | 1,981  | 12,105  | 14,298  | 84.7         |
| 生化学 | 203,403 | 71,781 | 275,184 | 313,139 | 87.9         |
| 微生物 | 1,560   | 2,270  | 3,830   | 4,559   | 84.0         |
| 血液  | 28,911  | 10,520 | 39,431  | 45,530  | 86.6         |
| 免疫  | 9,303   | 5,726  | 15,029  | 17,906  | 83.9         |
| 生理  | 3,140   | 1,108  | 4,248   | 4,566   | 93.0         |
| 病理  | 1,204   | 383    | 1,587   | 1,505   | 105.4        |
| 合計  | 257,645 | 93,769 | 351,414 | 401,503 | 87.5         |

## 放射線技術科

技師長 矢守達也

### ■概要

長浜病院との人事交流は8年目を迎え、当院から長浜病院への異動は2名体制を敷いており、今年度は、内1名の入替えの異動となりました。また、1名は定年退職後再任用職員として引き続き従事し、当科は6名体制となりました。

当科では、昼夜を問わずスタッフが常駐して迅速に対応可能な体制を整えてきましたが、4月より働き方改革への取組として、休日および祝祭日の勤務については、日直・当直勤務から拘束勤務（自宅待機）に切り替えました。

今年度より、医療法施行規則の一部を改正する省令が施行され、診療用放射線に係る安全管理体制の確保が義務付けられました。

これに基づき、「安全利用のための指針」を策定するとともに、放射線安全管理委員会を設置して、患者様がより安全に放射線診療を受けていただくための体制を整えました。

また、新たに各装置の被ばく線量を記録・管理するシステムを導入しました。今年度は、比較的線量が多いとされるCT検査の記録を行いました。放射線安全管理委員会を中心に、撮影画像と被ばく線量の最適なバランスについて検証をおこないました。

機器関係では、6月にCT装置を更新しました。「高画質と低被ばくの両立」をコンセプトとした、シーメンス社の最新機能を備えた64列装置です。従来の機器に比べ、少ない被ばく線量で検査が可能です。また、広い範囲をより細かく短時間で撮影することができるようになり、患者さまの負担が軽減されています。

他にも体内のメタルアーチファクトの低減や造影剤の減量が期待できるなど、「より安全で、よりやさしく、より正確な」検査をおこなえるようになりました。日々の診療に貢献できるものと確信しています。また、2月から心臓CT検査を開始しました。まだ症例は少なく課題もありますが、今後もこうした装置性能の高さを活かした検査を増やしていきたいと考えています。

## ■業務実績

一般撮影・CT検査を中心に昨年比で1割前後減少しました。新型コロナウイルス感染症の影響などによる外来受診者数の減少が影響しています。

近隣クリニックからの紹介検査も減少しました。特にCT検査の減少が顕著でした。

長浜市の健診では、0次健診（MR検査と一般撮影）が中止になりました。骨粗鬆症検診と乳がん検診は実施しています。

### 撮影件数

|         | CR       | CT      | MR I    | 骨密度     | 紹介検査    | 延べ患者数    |
|---------|----------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 令和 元年度  | 10,474 件 | 4,428 件 | 1,959 件 | 1,365 件 | 1,112 件 | 17,022 件 |
| 令和 2 年度 | 9,774 件  | 3,814 件 | 1,980 件 | 1,236 件 | 1,020 件 | 14,844 件 |
| 増 減     | -7%      | -14%    | 1%      | -9%     | -8%     | -13%     |

（延べ患者数は0次健診受検者数を含む。令和2年度の0次健診は中止。）

### 紹介検査受入れ数

|       | 紹介CT  | 紹介率  | 紹介MR I | 紹介率 | 0次健診  | CD作成    | データ取込 |
|-------|-------|------|--------|-----|-------|---------|-------|
| 令和元年度 | 309 件 | 6.5% | 724 件  | 37% | 218 人 | 1,408 枚 | 774 件 |
| 令和2年度 | 252 件 | 6.6% | 733 件  | 37% | 0 人   | 1,279 枚 | 569 件 |
| 増 減   | -18%  | 0.1% | 1%     | 0%  |       | -9%     | -25%  |

### 遠隔読影依頼数

|         | CT      | MR I    | マンモグラフィ | 胃検診   | X線撮影 | 依頼合計    |
|---------|---------|---------|---------|-------|------|---------|
| 令和 元年度  | 4,428 件 | 1,959 件 | 174 件   | 182 件 | 2 件  | 6,745 件 |
| 令和 2 年度 | 3,815 件 | 1,980 件 | 248 件   | 151 件 | 1 件  | 6,195 件 |

※ マンモグラフィの読影は、医師2名による読影を実施しています（元年度中より）。

# リハビリテーション技術科

技師長 熊河久登

## ■ 業務実績

令和2年度のリハビリテーション技術科の年間での技士数は、理学療法士（PT）2名の採用により約8.3人、前年度比は119.3%に増えました。技士の内訳は、理学療法士5.0人、作業療法士（OT）2.5人、言語聴覚士（ST）0.8人でした。

技士の増員により疾患別リハビリテーションの施設基準は、運動器リハビリテーションが（Ⅱ）から（Ⅰ）に変更となりました。脳血管疾患等リハビリテーション（Ⅱ）、廃用症候群リハビリテーション（Ⅱ）、呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）は前年度と変わりはありません。訪問看護ステーションへの兼任による在宅でのリハビリテーションも継続しました。

疾患別リハビリテーションの前年度比較では、患者数は107.0%、単位数は109.2%と増加しました。

地域包括ケア病棟のリハビリテーション実施単位数は10,790単位（前年度比72.4%）と減少し、症例数167例（前年度比68.2%）と実施延べ日数4,718日（前年度比64.6%）も減少しました。平均実施単位数は2.29単位（前年度比112.3%）に増加しました。

摂食嚥下に関しては、嚥下造影検査（VF）1件、嚥下内視鏡検査（VE）9件、摂食嚥下カンファレンスは32回実施されました。言語聴覚士は休暇のため2月から技士数0人となりました。

地域連携としての活動としては、出前健康セミナーでの認知症予防を兼ねた体操についての講演を2か所で実施しました。院内連携では、病棟・外来リハビリテーションカンファレンス、摂食嚥下カンファレンス、腎臓リハビリテーションカンファレンス、排尿ケアチームカンファレンス、NST（栄養サポートチーム）の回診とカンファレンス、糖尿病教室への参加を継続しました。

### リハビリテーション科 令和2年度実績

| 診療内容                    |             | 令和2年度           | (前年比)    | 令和1年度    |        |
|-------------------------|-------------|-----------------|----------|----------|--------|
| 疾患別<br>リハビリ<br>テーション    | 患者数         | 脳血管疾患等リハビリテーション | 3,451    | (113.0%) | 3,053  |
|                         |             | 廃用症候群リハビリテーション  | 7,319    | (111.0%) | 6,595  |
|                         |             | 運動器リハビリテーション    | 5,015    | (98.4%)  | 5,099  |
|                         |             | 呼吸器リハビリテーション    | 0        | —        | 11     |
|                         |             | 患者数合計           | 15,785   | (107.0%) | 14,758 |
|                         | 単位数         | 脳血管疾患等リハビリテーション | 6,419    | (113.9%) | 5,636  |
|                         |             | 廃用症候群リハビリテーション  | 13,136   | (110.4%) | 11,899 |
|                         |             | 運動器リハビリテーション    | 11,058   | (105.4%) | 10,494 |
|                         |             | 呼吸器リハビリテーション    | 0        | —        | 13     |
|                         |             | 単位数合計           | 30,613   | (109.2%) | 28,042 |
| 上記内、地域包括ケア病棟での単位数       |             | 10,790          | (72.4%)  | 14,907   |        |
| その他                     | 摂食機能療法(ST分) | 0               | (0.0%)   | 6        |        |
|                         | 早期・初期加算     | 11,291          | (132.7%) | 8,510    |        |
|                         | 退院時・退院前訪問指導 | 242             | (144.9%) | 167      |        |
|                         | 総合計画評価料     | 1,107           | (91.5%)  | 1,210    |        |
| 地域包括ケア病棟                | 症例数         | 167             | (68.2%)  | 245      |        |
|                         | リハビリ実施延べ日数  | 4,718           | (64.6%)  | 7,298    |        |
|                         | 平均単位数       | 2.29            | (112.3%) | 2.04     |        |
| 新規リハビリテーション患者数          |             | 548             | (107.5%) | 510      |        |
| リハビリテーション技士数 (PT・OT・ST) |             | 8.33            | (119.3%) | 6.98     |        |

#### ■ 評価

新規リハビリテーション患者数は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症患者受け入れ病床の確保による影響で、地域包括ケア病棟の実績は著減しました。疾患別リハビリテーション実施患者数と単位数は、前年度と比較すると技士数の増加に伴い少し増加しました。

# 栄養科

科長 矢守達也

## ■業務実績

- ・給食委託業務についての情報収集及び仕様書の見直し等を行った上で入札を実施し、11月から契約を更新しました。継続業者のため移行業務が不要であり、スムーズに通常業務を行うことができました。
- ・プレハブ冷凍庫が故障したため、新機種購入にあたり、納入までの期間に冷凍庫のレンタルおよび食材の温度管理等を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染症患者の受け入れについて、病棟および給食会社との情報共有・協議・調整等を行い、受け入れ体制を確保しました。  
また、湖北やすらぎの里における濃厚接触者に対するディスポ食器対応および配膳も行いました。
- ・災害時の備蓄食品について、10月より通常の食品として給食にて使用を開始し、順次補充を行いました。また、取り扱い方法として「非常時の食事提供マニュアル」を作成し、食事提供方法の判断や提供に至るまでの手順を院内にて共有しました。

## ■評価

今年度は、給食業務契約の更新や備蓄食品の使用・補充およびマニュアルの作成を行い、給食の供給が滞りなく行えるよう努めました。今後も安定した給食業務体制を模索し、3年後の契約更新に向けて情報収集等の準備を進めていきます。さらに、厨房機器の更新も計画的に行っていきます。

また、今後は栄養指導件数の増加、栄養管理・NST活動・栄養ケアマネジメントの充実に向けての取り組みが求められます。

## ■カンファレンス等

|                   |       |
|-------------------|-------|
| NST               | 毎週金曜日 |
| 嚥下カンファレンス         | 毎週火曜日 |
| 経口維持加算カンファレンス     | 随時    |
| 低栄養リスク改善加算カンファレンス | 随時    |
| 透析カンファレンス         | 月1回   |
| 糖尿病チーム会           | 第2木曜日 |

### 湖北病院

| 食種/月    | 4月    | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 合計       | 一食平均  | 構成比   |      |
|---------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----------|-------|-------|------|
| 非加算食    | 普通食   | 318  | 368  | 385  | 551  | 569  | 421  | 276  | 597  | 554  | 377  | 453  | 445      | 5314  | 5     | 6.1  |
|         | 軟菜食   | 2809 | 2713 | 2343 | 2458 | 2547 | 2857 | 2563 | 3045 | 2880 | 2482 | 1937 | 2688     | 31322 | 29    | 35.8 |
|         | 注入食   | 859  | 847  | 922  | 1045 | 913  | 1006 | 974  | 852  | 733  | 793  | 749  | 865      | 10558 | 10    | 12.1 |
|         | 低残渣食  | 106  | 134  | 215  | 251  | 169  | 158  | 87   | 201  | 348  | 138  | 123  | 93       | 2023  | 2     | 2.3  |
|         | その他   | 601  | 455  | 488  | 1015 | 945  | 886  | 838  | 953  | 830  | 781  | 522  | 653      | 8967  | 8     | 10.2 |
| 小計      | 4693  | 4517 | 4353 | 5320 | 5143 | 5328 | 4738 | 5648 | 5345 | 4571 | 3784 | 4744 | 58184    | 53    | 66.4  |      |
| 加算食     | 糖尿病   | 656  | 594  | 626  | 690  | 858  | 976  | 821  | 568  | 487  | 700  | 533  | 913      | 8422  | 8     | 9.6  |
|         | 腎不全   | 392  | 333  | 227  | 194  | 368  | 233  | 488  | 300  | 360  | 303  | 63   | 81       | 3342  | 3     | 3.8  |
|         | 透析    | 662  | 779  | 780  | 587  | 544  | 672  | 667  | 484  | 653  | 770  | 689  | 941      | 8228  | 8     | 9.4  |
|         | 心血管食  | 440  | 318  | 210  | 242  | 535  | 645  | 559  | 493  | 629  | 680  | 494  | 576      | 5821  | 5     | 6.6  |
|         | 肝臓食   | 178  | 107  | 113  | 93   | 93   | 128  | 115  | 199  | 201  | 93   | 127  | 329      | 1776  | 2     | 2.0  |
|         | 脂肪制限食 | 16   | 37   | 0    | 0    | 0    | 14   | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0        | 67    | 0     | 0.1  |
|         | 胃潰瘍食  | 59   | 9    | 1    | 116  | 103  | 9    | 45   | 9    | 70   | 179  | 26   | 25       | 651   | 1     | 0.7  |
|         | 脂質異常症 | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0        | 0     | 0     | 0.0  |
|         | 貧血食   | 96   | 41   | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0        | 137   | 0     | 0.2  |
|         | 大腸ファイ | 0    | 0    | 4    | 6    | 6    | 2    | 8    | 9    | 4    | 10   | 13   | 5        | 67    | 0     | 0.1  |
|         | 低残渣食  | 172  | 170  | 92   | 140  | 123  | 83   | 0    | 46   | 41   | 0    | 0    | 6        | 873   | 1     |      |
| 小計      | 2671  | 2388 | 2053 | 2068 | 2630 | 2762 | 2703 | 2108 | 2445 | 2735 | 1945 | 2876 | 29384    | 27    | 33.6  |      |
| 合計      | 7364  | 6905 | 6406 | 7388 | 7773 | 8090 | 7441 | 7756 | 7790 | 7306 | 5729 | 7620 | 87568    | 80    | 100.0 |      |
| 一食平均給食数 | 82    | 77   | 71   | 82   | 86   | 90   | 83   | 86   | 87   | 81   | 64   | 85   | 972.9778 |       |       |      |
| 加算食比率   | 36.3  | 34.6 | 32.0 | 28.0 | 33.8 | 34.1 | 36.3 | 27.2 | 31.4 | 37.4 | 34.0 | 37.7 | 402.889  | 0     |       |      |

### やすらぎの里

| 食種/月    | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 合計    | 一食平均  | 構成比     |        |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|---------|--------|
| 非加算食    | 軟菜食  | 4236 | 4446 | 4180 | 4434 | 4527 | 4220 | 4513 | 4467 | 4755 | 4438 | 3692 | 4401  | 52309 | 48      | 59.5 % |
|         | 注入食  | 17   | 61   | 60   | 62   | 62   | 56   | 45   | 60   | 62   | 62   | 56   | 112   | 715   | 1       | 0.8 %  |
|         | 特食   | 2885 | 2873 | 2857 | 2966 | 2871 | 2914 | 2792 | 2502 | 2507 | 2625 | 1996 | 2274  | 32062 | 29      | 36.5 % |
|         | その他  | 30   | 31   | 47   | 106  | 112  | 90   | 94   | 90   | 112  | 174  | 53   | 240   | 1179  | 1       | 1.3 %  |
|         | デイ   | 159  | 148  | 183  | 166  | 164  | 148  | 192  | 166  | 158  | 89   | 0    | 118   | 1691  | 2       | 1.9 %  |
| 合計      | 7327 | 7559 | 7327 | 7734 | 7736 | 7428 | 7636 | 7285 | 7594 | 7388 | 5797 | 7145 | 87956 | 80    | 100.0 % |        |
| 一食平均給食数 | 81   | 81   | 81   | 83   | 83   | 83   | 82   | 81   | 82   | 79   | 62   | 77   | 946   |       |         |        |

### 栄養指導

| 指導内容 |      | 4月       | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月  | 合計 |     |
|------|------|----------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|-----|
| 個人指導 | 算定可  | 糖尿病食     | 9  | 9  | 5  | 7  | 7  | 8   | 4   | 7   | 7  | 2  | 8   | 8  | 81  |
|      |      | 腎不全食     | 3  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1   | 1   | 0   | 0  | 0  | 1   | 2  | 12  |
|      |      | 人工透析食    | 1  | 0  | 3  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 3   | 0  | 7   |
|      |      | 心血管疾患食   | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 1   | 1   | 2   | 1  | 1  | 1   | 0  | 8   |
|      |      | 高血圧食     | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0  | 1   |
|      |      | 脂質異常症食   | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 1   | 1   | 0   | 0  | 1  | 0   | 1  | 5   |
|      |      | 肝臓病食     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   |
|      |      | 脂肪制限食    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   |
|      |      | 胃潰瘍食     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   |
|      |      | 貧血食      | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   |
|      |      | 低残渣      | 0  | 0  | 0  | 0  | 3  | 1   | 0   | 0   | 2  | 0  | 0   | 0  | 6   |
|      |      | 摂食不良・ミサケ | 0  | 1  | 0  | 0  | 3  | 0   | 1   | 1   | 0  | 0  | 0   | 1  | 7   |
|      |      | 小計       | 14 | 11 | 10 | 8  | 15 | 12  | 8   | 10  | 10 | 7  | 10  | 12 | 127 |
|      | 算定不可 | 胃切後食     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   |
| その他  |      | 0        | 1  | 0  | 1  | 0  | 0  | 1   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 3  |     |
| 小計   | 0    | 1        | 0  | 1  | 0  | 0  | 1  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 3   |    |     |
| 合計   | 14   | 12       | 10 | 9  | 15 | 12 | 9  | 10  | 10  | 7   | 10 | 12 | 130 |    |     |

### NST加算

|     | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 加算  | 13 | 5  | 12 | 12 | 10 | 16 | 23  | 18  | 26  | 23 | 16 | 13 | 187 |
| 非加算 | 5  | 3  | 1  | 4  | 0  | 2  | 1   | 6   | 1   | 5  | 0  | 4  | 32  |
| 合計  | 18 | 8  | 13 | 16 | 10 | 18 | 24  | 24  | 27  | 28 | 16 | 17 | 219 |

# 機器センター

機器センター長 横井昌裕

## ■ 業務実績

### ① 臨床技術提供業務

- ・急性血液浄化療法業務・・・CHDF 1例 CART 3例
- ・人工呼吸器関連業務・・・13例
- ・VA関連業務・・・・・・・・VAUS 315件 VAIVT 113件
- ・手術室業務・・・・・・・・13例

### ② 医療機器点検業務

- ・日常点検・・・病棟管理機器の点検、AED点検、シリンジ・輸液ポンプ使用後点検（1回/日）
- ・保守点検・・・シリンジ・輸液ポンプ、人工呼吸器・・・（1回/2ヶ月）  
除細動器、血液浄化装置、生体情報モニター（セントラル、ベッドサイドモニター）、心電計・・・（1回/1M）
- ・定期点検・・・シリンジ・輸液ポンプ、血液浄化装置・・・（1回/年）  
除細動器、人工呼吸器、パルスオキシメータ・・・（1回/6ヶ月）

### ③ 教育・技術研修

- ・医療安全研修会（新規採用看護師対象）・・・シリンジ・輸液ポンプについて
- ・酸素療法について（新規採用看護師対象）

### ④ 学会参加・発表

- ・COVID-19にて、学会がWebやハイブリッド方式となったため、今年度は学会発表を見送りました。
- ・第30回日本臨床工学会、第41回日本アフェレシス学会、第65回日本透析医学会、第24回日本透析アクセス学会へWeb参加しました。

## ■ 評価

- ・COVID-19の対応として、人工呼吸器（VELA）1台を人工鼻仕様へ変更し、救急室のバッグバルブマスクにバクテリアフィルターを取り付け、感染防止に努めました。
- ・手術室において、ESWL、泌尿器科オペの準備から機器操作、片付けなど関わるようになりました。
- ・令和3年2月より日機装社製透析患者監視装置を用いて、オンラインプライミング、返血を導入し、10生食、500ml生食のコスト削減になりました。

# 医療安全管理室

|             |       |         |        |
|-------------|-------|---------|--------|
| 室長          | 東野克己  | 医療安全管理者 | 伊吹美加   |
| 医療機器安全管理責任者 | 山内一登与 |         |        |
| 看護局長        | 前田優子  | 看護局     | 五町森ひろみ |
| 医薬品安全管理責任者  | 堀 順子  |         |        |
| 事務局         | 柴田光博  |         |        |

## ■ 目的

長浜市立湖北病院の医療事故の発生・再発を防止し、安心できる確かな医療の提供に資する事を目的とする。

## ■ 活動方針

より安全、安心な医療の提供に向けた取組みを行なう。

## ■ 活動内容

- 1 医療安全委員会、リスクマネジメント委員会で用いられる資料の作成並びにその他会議の運営に関する事
- 2 医療安全に関する日常活動に関する事
  - ① 医療安全に関する現場の情報収集及び実態調査（定期的な現場の巡回・点検・マニュアルの遵守状況）
  - ② マニュアルの作成及び点検並びに見直しの提言等
  - ③ インシデント・アクシデントレポートの収集、保管、集計、分析、分析結果などの現場へのフィードバックと集計結果、具体的な改善策の提案・推進とその評価
  - ④ 各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく実施状況やその評価結果の記録
  - ⑤ 医療安全に関する職員への啓発、広報
  - ⑥ 医療安全に関する教育研修の企画・運営
  - ⑦ 医療安全対策に係る取組の評価等を行うためのカンファレンスの定期開催
  - ⑧ 医療安全相談窓口の運営、記録
  - ⑨ 医療安全委員会との連携状況、医療安全管理者の活動実績の記録
- 3 医療事故発生時の対応、指示、指導等に関する事
- 4 その他医療安全管理体制の構築及び対応策の推進に関する事

## ■ 活動実績

|                 |         |
|-----------------|---------|
| ◇医療安全委員会の開催     | 月 1 回開催 |
| ◇医療安全管理室カンファレンス | 週 1 回開催 |
| ◇医療安全院内巡回       | 適時巡回    |

- ◇リスクマネジメント委員会 月1回開催
- ◇臨時医療安全委員会 8月13日、8月29日
- ◇新人オリエンテーション 4月3日  
「長浜市立湖北病院 医療安全について」
- ◇医療安全研修会  
動画視聴研修 春、秋 (2回実施)
- ◇医療放射線安全研修会  
動画視聴研修 (1回実施)

## ■ 評価

本年度も医療安全研修を2回実施しました。コロナ禍のため集合研修ではなく、個人での動画視聴研修としましたが、春、秋どちらの研修も時間はかかったものの、各職員の協力があり、高い参加率となりました。

8月には緊急対応事例に対する臨時医療安全委員会を開催しました。

医療安全とは、患者の安全であり、医療従事者の安全です。今後も、医療安全管理体制の確立と医療安全管理の推進を図り、全職員で「より安全、安心な医療の提供」ができるよう取り組んでいきます。

# 看護局

看護局長 前田優子

## I. はじめに

### <看護局理念>

私たちは、患者さんの命と人格を尊重し地域住民に信頼される温もりのある看護を提供します

### <看護局方針>

1. 安全、安心な患者中心の看護を提供します
2. 地域のニーズに応じたきれめない看護を提供します
3. 主体的に考え行動できる専門職をめざします
4. 働き続けられる魅力ある職場づくりをめざします

### **ミッション（組織の存在理由）**

- ① へき地拠点病院として地域住民に満足の得られる医療の提供を行います

### **ビジョン（組織が目指す将来像）**

- ① 地域の病院として良質な医療が提供できる医療機関
- ② ケアミックス病院として外来・病棟・療養・訪問看護ステーション・老健・地域との連携と安心できるケアの提供
- ③ 看護職が笑顔で働き続けられる職場環境の提供

### <看護局概要>

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（COVIT-19）が世界的に大流行し、コロナ感染症対応に始まりコロナ感染症対応に終わる一年でした。日々めまぐるしく状況が変化する中で、組織としての最善の対応を意思決定し、それに伴う病棟再編、物品や人員の確保、業務手順の変更などかつて経験したことのない一年でした。感染症対策について新たな教育が必要になったり、常に緊張、疲弊した看護師のケアも求められる状況でした。

今年度、看護局目標は、1.安全で安心な患者中心の看護の提供 2.働き方改革を目指した就労環境の整備 3.病院経営への参画の3つを上げました。

1. 安全で安心な患者中心の看護の提供では、安全文化の醸成、患者満足度の上昇をめざし、各所属で医療安全の人為的なスキんテアを発生させない、シエル分析での共有等の徹底を行い、目標に対する取り組みも70%以上達成できました。
2. 働き方改革を目指した就労環境の整備においては、年次休暇取得や、超過勤務削減に努め、一定の成果を上げることができました。しかし、コロナ禍でもあり、職員の満足度調査等はできず、次年度の課題としています。人材育成においては、次世代の看

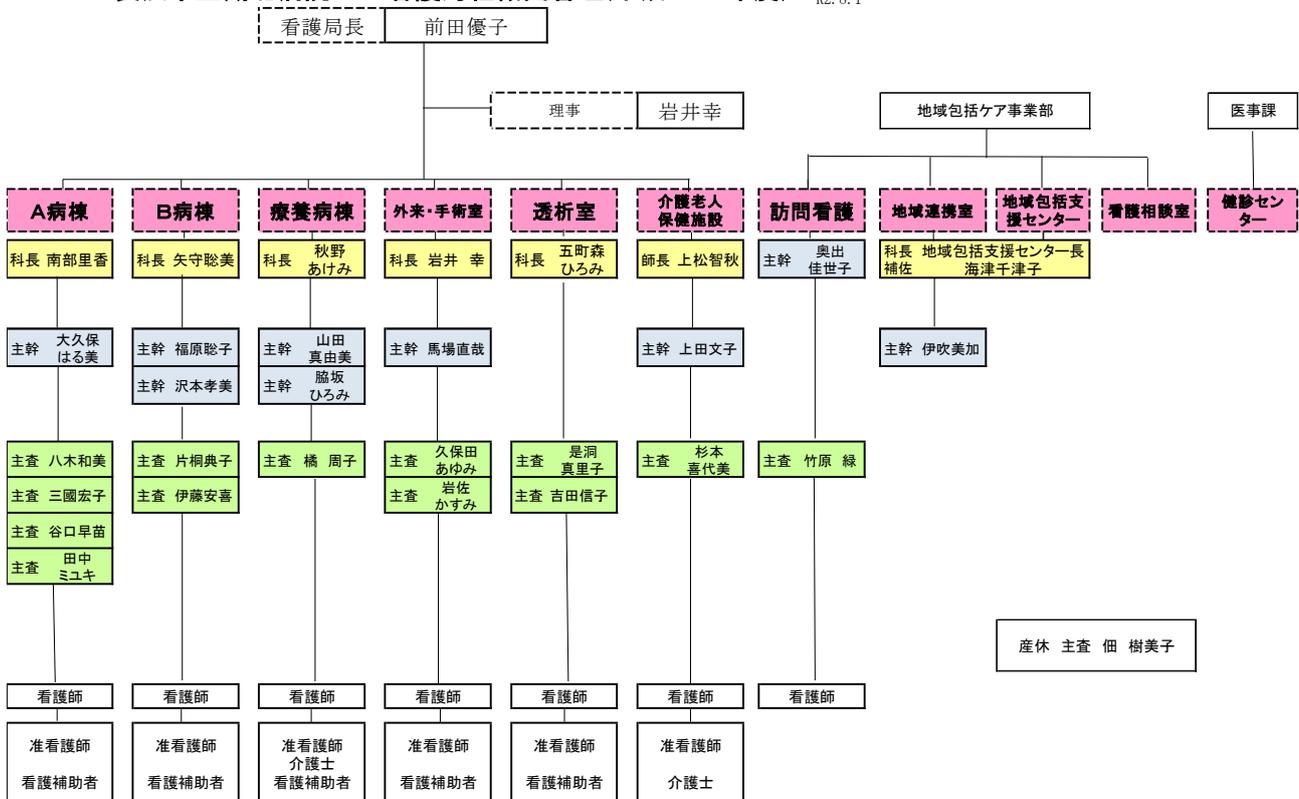
護管理者育成にも視野に入れ、マネジメントラダーの作成にも着手しました。次年度には研修とのすり合わせ、使用した評価を行っていきたいと考えています。

コロナ禍において、学生の臨地実習の受け入れは、可能な限り療養病棟、介護老人保健施設に協力を得て進めました。

3. 病院経営への参画では、コロナ禍により、B病棟の地域包括ケア病棟をコロナ病棟に変更を繰り返して右往左往しましたが、施設基準はクリアできていました。令和3年2月1日より2度目のコロナ病床を開設しようとした矢先に、介護老人保健施設湖北やすらぎの里で新型コロナ感染のクラスターが発生しました。コロナ感染患者の受け入れは断念し、老健を応援し、コロナ感染症終息に向け、病院一丸となって戦いました。

コロナ禍という有事に見舞われ、年間計画とおりに行かないことが多かった一年となりました。今後もコロナ感染第4派、第5派…と続き終息も見えない状況ですが、有事であろうとも、地域のニーズに応えられるよう、地域のケアミックス病院でありながら、へき地拠点病院である役割を果たしていくことが最優先の目標になると考えます。今年度の反省を踏まえ、ミッション、ビジョン達成のために、私達が取り組まねばならないことを再考し、地域住民に信頼される温もりのある看護の提供をめざし努力してまいります。

長浜市立湖北病院 看護局組織図管理(平成2020年度) R2.8.1



## 令和2年度看護局目標

### 1. 安全で安心な患者中心の看護の提供

- 1) 安全文化の醸成、患者満足度の上昇
- 2) チーム医療を推進し、きれめない看護の提供

### 2. 働き方改革を目指した働き続けられる魅力ある職場づくり

- 1) 多様性を認め、尊重し合える職場風土の醸成
- 2) 一人ひとりの力を活かせる人材育成

### 3. 病院経営に参画する

- 1) 施設基準の管理
  - ① 各所属の施設基準をクリアする。
- 2) 自部署の現状分析し、改善案、計画
  - ① 一提案は必須

## IV. 令和2年度看護局各所属目標・評価

| 看護目標              | 担当部署  | 実践内容   |
|-------------------|-------|--|
| 安全で安心な患者中心の看護の提供  | A病棟   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナーシングサポートからA病棟の重点項目をピックアップし、視聴・テストができ、実践に活かせることができた</li> <li>・3b以上のりすくに関しては、シェル分析を行いスタッフで周知できた。</li> <li>・リピーター患者が多くなっているので地連との連携を密にし退院支援に取り組んでいる</li> </ul>                           |
|                   | B病棟   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅支援依頼票を用いてのカンファレンスが84%実施できた。早期より関わりを持ち、患者家族中心の看護に繋がっている。また事前にカンファレンスの患者を決めておくことで地連・RHスタッフと有効なカンファレンスを持つことができています。</li> <li>・3b以上のリスクはなかったが、リスク発生時振り返りを行い再発防止に務めた。</li> </ul>          |
|                   | 療養病棟  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者誤認は0件であったがインシデントが複数発生したためシェル分析にて対策を周知徹底した。「リスク回避案1人1案」はチーム目標と連動させ実施・評価出来た</li> <li>・エンジェルカンファレンスの実施回数は少なかったが意思決定支援用紙・ワーカー作成「患者の情報共有シート」の活用を含めて次年度の課題としたい</li> </ul>                  |
|                   | 透析    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フットケア体制の強化が図れ早期発見・早期治療に繋がっている。</li> <li>・導入指導表を使用し、病棟看護師と連携し指導に関われるようになった。指導表により役割が明確になり効果的に関わることができた。</li> </ul>  |
|                   | 外来手術室 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 待合室の環境整備の対策は計画通りにできなかったが、患者満足度調査で、環境についての悪い評価はなかった。転倒は前半1件発生。後半なし。</li> <li>2) 内服管理について、服薬状況の確認への働きかけが必要時できるようになった(付箋活用)カンファレンスが定着してきた。(HDとデスクンファも1例できた)。チーム会の活動として実施できた。</li> </ul> |
|                   | 訪問看護  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリや口腔ケア、栄養管理に重点を置き予防の視点をもち支援した</li> <li>・早めの受診を心掛け、重症化を防ぐことができた。</li> <li>・災害・リスク・ハラスメントのマニュアル作成に取り組んだが完成には至っていない</li> <li>・地域包括でのケース会議、在宅での担当者会議に出席し情報提供することができた</li> </ul>         |
|                   | 地域連携室 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・B病棟の閉鎖の影響はあったが、前年度より数値は下回っているものの目標設定値はクリアしている。</li> <li>・コロナ禍で家族面会の制限で、患者の状況把握や家族への支援が不十分であったりして、円滑な退院支援を目指しケアマネと情報交換を行ったが、コロナ禍の退院支援の在り方を次年度の課題としたい。</li> </ul>                        |
| 働き方改革を目指した就労環境の整備 | A病棟   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護補助者が増えた事で、補助者との業務調整を行えている</li> <li>・人事評価の評価値が目標値(80%以上)をクリアでできた。</li> <li>・対人関係の5原則ポスターを作成、提示することで、スタッフの意識向上につながりクレームが減少した。</li> </ul>   |
|                   | B病棟   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括病棟看護師育成指標ができ、意識しながらの1年であった。積極的使用に関して次年度の課題とする。</li> <li>・超過勤務時間が多いため、その内容について調査を行った。6割が残務で2割が詰所会や委員会。2割が記録やカンファレンスによる時間外であった。2割の時間外を少しでも減らし働きやすい環境を作っていく事が次年度の課題である。</li> </ul>    |
|                   | 療養病棟  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人技術の状況を可視化し病棟全体で支援する体制が出来た</li> <li>・入浴業務の改善やインスリン注射の遂行過程の見直しにてインシデント事例再発0件となった</li> <li>・コロナ禍で従来のイベントは出来ないため患者・家族へのカードや写真を送り、壁面にて季節の飾りつけを継続できた</li> </ul>                            |
|                   | 透析    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のプライミング業務に関してチェック体制を変更したことにより朝の準備の時間短縮につながった。</li> <li>・新規機種が13台入り、自動プライミングや自動脱血、変更が可能となった。新規機種について手順や技術・透析機能について多職種が協体制作りに取り組んでいる</li> </ul>   |
|                   | 外来手術室 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(応援)業務ラダーが作成できた。各自できない業務の把握して、次年度活用していく。</li> <li>・交流会はコロナでできず。代わりに、部署のスタッフの良い行動等を集め(『あったかポスト』)、ポジティブフィードバックできた。</li> </ul>  |
|                   | 訪問看護  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・祝日の休みがとりにくい、希望には沿うことができた。</li> <li>・全員研修・マニュアル作成にはカンファレンスの時間を利用するようにした</li> <li>・超過勤務時間の個人差が大きく、削減することができなかった。</li> </ul>  |
|                   | 地域連携室 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回のミーティング・毎朝の朝会を行い、情報共有に努めた。</li> <li>・新人の成長はまだ見守りや助言が必要。包括支援センターで見学実習ができ在宅での学びができた。</li> <li>・院内研修は参加できたが、院外研修は開催自体が少ないことから、次年度も引き続き継続目標としたい。</li> </ul>                             |
| *                 | A病棟   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護必要度がクリアできない月があったので、取りもれがないか見直しを行い施設基準はクリアできた。</li> <li>・排尿ケア、肺炎患者の歯科受診などの加算取得に努めた。</li> <li>・丁寧な物品の取り扱いが行えず、ME機器の破損が目立ったため厳重注意をした。</li> </ul>  |
|                   | B病棟   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ病棟開設に向け、病棟閉鎖を2回行ったことにより施設基準クリアが不明な月がある。</li> <li>・必要度や緊急入院数のクリアに苦慮したつきもあったが、地連との連携によりクリアできた。</li> <li>・コロナ病棟開設に向け、準備を行ったが老健への支援だけに終わってしまった。</li> </ul>                              |
|                   | 療養病棟  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設基準はクリア出来ている</li> <li>・看護職員は適時主治医や医事課薬剤科地連に連絡しながら持ち出しが多くなるように努力をしている</li> <li>・患者の医療区分の項目がわかりにくいいため医事課と連携し勉強会を実施していく</li> </ul>   |
|                   | 透析    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・改革プランの目標値をクリアできた。前年度より透析延べ件数は10%増となった。</li> <li>・自動プライミングの導入に伴いコスト削減に繋がった。更に拡大予定</li> </ul>  |
|                   | 外来手術室 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・泌尿器科の自己導尿管理加算の取り漏れが発覚。医事課担当者と対策を検討・実施した。</li> <li>・災害対応の机上訓練はできなかった。代わりに、学研ナーシングサポートの災害4チームを全員が視聴できた</li> </ul>  |
|                   | 訪問看護  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ利用件数、収入ともに前年度と同程度を維持することができた</li> <li>・年度末に職員数分のipad購入の予定。</li> </ul>  |
|                   | 地域連携室 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・A、B病棟の加算は維持することが出来たが、B病棟は閉鎖によって地域包括ケア病床の加算は維持困難。</li> <li>・退院支援加算390件(目標比105.4%) 4-R2.1月平均39件実施</li> <li>・介護指導連携指導加算件247件(目標91.5%) 4-R2.1月、平均24.7件/月で実施漏れはなし</li> </ul>                |

## 令和2年度 看護局教育計画.実績

|        | 月日        | 時間          | 内容                            | 講師                      | 担当者   |
|--------|-----------|-------------|-------------------------------|-------------------------|-------|
| 新人     | 4月2,3,4日  | 8:30~17:15  | オリエンテーション(公務員として、勤務の心構え、接遇など) | 局長                      | 前田    |
|        | 4月6日      | 8:30~17:15  | 新人基礎看護技術Ⅰ 移動・ポジショニング・嚥下・口腔ケア  | 橘/吉田                    | 橘     |
|        | 4月9日      | 8:30~17:15  | 新人基礎看護技術Ⅱ 清潔援助・排泄援助・死後のケア等    | 沢尾/安済                   | 安済    |
|        | 4月14日     | 8:30~17:15  | 新人基礎看護技術Ⅲ 与薬・酸素療法・吸引等・外来見学    | 宮部/岩佐                   | 岩佐    |
|        | 4月17日     | 8:30~17:15  | 新人基礎看護技術Ⅳ 静脈採血・血液ガス分析・注射等     | 佃・石崎・福原                 | 福原    |
|        | 4月20日     | 8:30~17:15  | 新人基礎看護技術Ⅴ 血糖測定・インシュリン・輸血      | 福田な/安済                  | 安済    |
|        | 4月23日     | 8:30~17:15  | 新人基礎看護技術Ⅵ 食への援助・清潔介助・褥瘡処置     | 田中る/橘                   | 橘     |
|        | 4月25日     | 8:30~17:15  | 社会人基礎力・倫理                     | 福原                      | 福原    |
|        | 4月27日     | 8:30~17:15  | 看護記録・電子カルテ・看護必要度              | 記録委員                    | 岩佐    |
|        | 4月4日      | 17:30~      | 四者交流会                         | 福原                      | 福原    |
|        | 5月14日     | 8:30~17:15  | リスク(医療安全・薬剤)研修・看護の語り体験        | リスク委員                   | 是洞    |
|        | 5月14日     | 8:30~17:15  | 新人基礎看護技術Ⅶ 心電図・輸液ポンプ・透析等       |                         | 是洞    |
|        | 11月17日    | 8:30~17:15  | 看護補助者体験・他職種協働                 | 橘                       | 橘     |
|        | 6月10日     | 8:30~17:15  | フィジカルアセスメント研修・夜勤の心構え・3ヶ月の振り返り | 安済/福原                   | 安済    |
|        | 7月8日      | 8:30~17:15  | 救急蘇生看護                        | 橘                       | 橘     |
|        | 8月5日      | 8:30~12:30  | リフレッシュ・看取り期の看護・看護の語り          | 岩佐/福原                   | 岩佐    |
|        | 9月16日     | 8:30~17:15  | 看護診断・退院支援                     | 記録/退院                   | 是洞    |
|        | 9月24日     | 17:30~18:30 | 実地指導者交流会                      |                         | 橘     |
|        | 10月21日    | 8:30~17:15  | 多重課題研修・新人交流会                  | 福原                      | 福原    |
|        | 2月17日     | 8:30~12:30  | 1年の振り返り                       | 安済                      | 安済    |
|        | 3月25日     | 17:30~18:30 | 四者交流振り返り発表                    | 安済                      | 安済    |
|        | ラダーレベル別研修 | 5月27日       | 9:00~AM                       | ラダーレベルⅠ.Ⅱ看護過程「患者をとらえる力」 | 脇坂    |
| 6月3日   |           | 9:00~AM     | ラダーレベルⅠ.Ⅱ看護過程「患者をとらえる力」       | 脇坂                      | 脇坂    |
| 6月24日  |           | 9:00~AM     | ラダーレベルⅡ.Ⅲ「リーダーシップ」            | 沢本                      | 沢本    |
| 10月20日 |           | 17:30~      | ラダーレベルⅠ.Ⅱ看護倫理「倫理的ジレンマを考える」    | 竹原                      | 竹原    |
| 10月27日 |           | 17:30~      | ラダーレベルⅠ.Ⅱ看護倫理                 | 竹原                      | 竹原    |
| 11月10日 |           | 17:30~      | ラダーレベルⅢ 看護倫理                  | 沢本                      | 沢本    |
| 11月17日 |           | 17:30~      | ラダーレベルⅣ 看護倫理                  |                         | 脇坂    |
| 12月2日  |           | 9:00~11:00  | ケーススタディ発表                     | 脇坂                      | 脇坂    |
| 1月12日  |           | 17:30~19:00 | ラダーレベルⅠ.Ⅱフィジカルアセスメント          | 三國/沢本                   | 三國/沢本 |
| 1月28日  |           | 17:30~19:00 | ラダーレベルⅠ.Ⅱフィジカルアセスメント          | 三國/沢本                   | 三國/沢本 |
| 1月25日  |           | 17:30~19:00 | 管理者研修報告会                      |                         |       |
| 3月10日  |           | 8:30~17:15  | 実地指導者研修                       | 福原                      | 福原    |
| 3月9日   |           | 17:30~19:00 | チームリーダー成果発表会                  | 三國                      | 三國    |
| 3月17日  |           | 8:30~12:30  | 次年度チームリーダー研修                  | 三國                      | 三國    |
| 全体研修   |           |             | 17:30~18:00                   | 研究発表会説明会                |       |
|        | 5月26日     | 17:30~18:00 | ナラティブ発表会説明                    | 竹原                      | 竹原    |
|        | 10月2日     | 17:30~19:00 | ナラティブ発表会                      | 竹原                      | 竹原    |
|        | 2月25日     | 17:30~19:00 | リーダーシップ研修発表会                  | 沢本                      | 沢本    |
|        |           |             | 看護補助者研修                       |                         |       |

## 6. 令和2年度 看護局業績

|     | 看護局に関する事項   | 病院事業・その他   |
|-----|---|--|
| 4月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者オリエンテーション3日間(2・3・4日)</li> <li>・新人看護師研修一日(6・9・14・15・16・18・19・26・27日)</li> <li>・新人四者交流会4日</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新採用者・昇格者辞令交付(1日)</li> <li>・職員集会(1日)</li> <li>・職員ワクチン接種開始(1回目)</li> <li>・他医療機関医療職ワクチン接種開始(1回目)</li> </ul>               |
| 5月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・マネジメントⅠ研修(27日)・自治体病院看護部長会(13日)web</li> <li>・新人研修(社会人基礎力・看護倫理)</li> <li>・キャリアデザイン研修(17日)</li> <li>・看護過程研修Ⅰ・Ⅱ ・ネットワーク会議(21日)</li> <li>・リーダーシップ研修(26日)</li> <li>・新人研修(看護補助者・多職種)</li> <li>・実習指導者会議(13日)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員ワクチン接種開始(2回目)</li> <li>・他医療機関医療職ワクチン接種開始(2回目)</li> <li>・看護の日イベント展示のみ(10日～24日)</li> <li>・奥びわこ健康マラソン(16日)中止</li> </ul> |
| 6月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人フィジカルアセスメント研修(10日)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師採用試験(27日)</li> </ul>  |
| 7月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立看護専門学校実習(27～日)</li> <li>・新人一日研修(8日)</li> <li>・第6地区ネットワーク推進会議(長浜)(17日)</li> <li>・臨地実習指導者会議(10日)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師採用試験(4日)</li> <li>・B病棟、地域包括ケア病棟として運用</li> <li>・感染防止対策研修(30日)</li> </ul>   |
| 8月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院見学(13日)</li> <li>・地域マネジメント・管理者研修(zoom)岩井(23日)</li> <li>・リーダーレベルⅡ～Ⅲ・リーダーシップ研修(26日)</li> <li>・地域医療看護ネット出張(29日)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全相互間チェック(長浜日赤・長浜市民と3病院で)(20日)</li> </ul>  |
| 9月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立看護専門学校実習(28日)</li> <li>・新人看護診断研修 新人交流会(4日)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全運転研修会(15日)</li> </ul>  |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全管理者研修会(10日)</li> <li>・看護宅配便(木之本・日赤奉仕団)(2日)</li> <li>・看護宅配便(予後)(22日)</li> <li>・ナラティブ発表会(13日)</li> <li>・就職説明会(米原分産会館)(13日)</li> <li>・看護倫理研修Ⅰ(20日) ・看護補助者研修(15・17日)</li> <li>・県立看護専門学校実習(～16日)</li> <li>・新人研修・多重課題(21日)</li> <li>・ワークライフバランス研修会</li> </ul> |  |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨地実習指導者会議(9日)</li> <li>・臨地実習訪看(16～12/1)</li> <li>・看護補助者研修(12・13・17)</li> <li>・第6地区ネットワーク推進会議(長浜)(20日)</li> <li>・新人研修(19日)</li> </ul>  |  |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例発表(理論)(8日) ・看護師採用試験1名(13日)</li> <li>・自治体病院看護部長連絡会(湖北病院)(4日)</li> </ul>  |  |
| 1月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院協会看護部長研修会(web)(8日)</li> <li>・実習指導者会議(18日)</li> <li>・看護師採用面接(12日・16日)</li> <li>・京都看護学校合同ガイダンス(web)(16日)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員集会4日</li> <li>・1/21老健職員コロナ陽性・クラスター発生 毎日13時～本部会</li> </ul>  |
| 2月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク発表会(17日)書面発表となる</li> <li>・研究発表会(18日)</li> <li>・新人振り返り研修(17日)</li> <li>・リーダー成果発表会(25日)</li> <li>・インターンシップ</li> <li>・採用面接(19日)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・B病棟をコロナ病棟へ(2/1～)中止</li> <li>・B病棟の看護師を老健へ応援(～25終息宣言)</li> <li>・新規採用者説明会(27日)</li> </ul>                                 |
| 3月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度実地指導者研修(10日)</li> <li>・県立看護学校関係者評価会議(長浜)(13日)</li> <li>・看護師会総会(書面) ・チームリーダー成果発表会(9日)</li> <li>・看護局目標評価・立案(3日)</li> <li>・新チームリーダー研修(17日)</li> <li>・新人交流振り返り研修会(25日)</li> </ul>  |  |

## 令和2年度看護局委員会活動報告

| 委員会・会議           |                  | 年間目標  | 活動概要・結果   |
|------------------|------------------|---|---|
| 科<br>長<br>会      |                  | ①働き方改革を目指した就労環境の整備<br>多様性を認め尊重しあえる職場風土の醸成<br>②一人ひとりの力を生かせる人材育成、看護管理者のマネジメント能力の向上<br>③コロナ感染症対策の整備<br>④病院経営への参画、施設基準の管理   | ①産前産後、育児休暇後の就労規則の見直し<br>②働き方改革のオンライン研修受講と伝達講習<br>③マネジメントラダー作成し運用をはじめ。教育計画とは連動していないので、今後運用、評価し次世代看護管理者育成にむけて取り組んでいく。<br>④科長会の運営を突き2回とし、1回を勉強会やグループワーク等の活動に取り組み始めた。<br>⑤コロナ感染対策マニュアル整備等に取り組んだ<br>⑥施設基準は可視化しクリアできるように徹底管理を行った。   |
|                  |                  | 1)主査会の運営<br>各委員会活動の把握、各部署への伝達・支援<br>2)小チーム活動の運営<br>①電カマニュアルの検討ほかマニュアルの見直し<br>②看護研究、査読力を高める<br>③中途採用者が現場で活用できるような支援体制を整える<br>④看護補助者研修の実施<br>3)主幹・主査としての役割や責任などが深められる | 1)運営に際し司会・書記を振り分けた。それにより各自受け身にならず参加できた。検討事項の準備不備があり次年度には各自がすすんで問題提起できるよう課題とする。 2)①電カマニュアルは移行できた。手順・新人チェックリストの見直しもできた。 ②コロナ禍にて院内看護研究中止。査読検討を3例行った。 ③運用修正できた。今年度は適応者1名あり問題なく経過。配属がない部署は活用までいわず次年度は採用のある部署にメンバーで入ってもらい部署毎のマニュアル作成を。 ④今年度は新規採用者5名あり、新規採用の方と経験者同士と分けて研修を行った。 3)各自の役割について10月にGWを施行、各自で課題など持てるようにしたがその後は各部署に戻っての役割実施の評価や検討までには至らず。                               |
| 教<br>育<br>部<br>門 | 教<br>育           | ①年間教育研修計画を実施する。<br>②研修担当者はOff-JTとOJTを連動させる。<br>③教育担当者の知識の向上をはかる。  | ①コロナ禍により、延期・中止となった研修3件。新人研修は時期をずらし全て実施。継続は密回避の為、Zoomに2会場でのオンライン配信を取り入れた。初回はタイムロスが生じたが、回数を重ねる事で順調に開催出来た。研修内での多人数でのグループワークは行わず、その他の感染対策も行った。今回の研修が効果的であったかの評価が次年度の課題である。<br>②研修記録に振り返り記録を追加し、研修の学びを実践後にリフレクションする取り組みを開始。新人には教育担当者が働きかける必要があるが十分でなかった。次年度継続する。<br>③新人研修担当者研修参加し伝達講習実施。コロナ禍により委員会を中止した月もあり勉強会を行わず、主に新人支援に関する資料配布による知識習得を実施。Zoom使用時の研修準備方法を委員全員で習得した。今後活用していく。 |
|                  |                  | ①記録の充実を図る<br>②教育の充実<br>③看護必要度に関する記録の充実を図る   | ①ラダーレベルに応じた形式・質の監査ともに100%実施できた。日々の記録は、今年度より記載基準を意識して記録してもらうようにスタッフ自身で自己評価を行ってもらい、病棟・透析とも、年2回実施できた。記載基準の見直し、修正も行った。<br>②コロナ禍ということもあり、学研ナースサポートの視聴を積極的に啓蒙し、委員及びスタッフ全員が視聴することができた。<br>③必要度監査シートを用いて年2回行った。診療報酬改訂に合わせた見直し・修正を行った。   |
| 業<br>務<br>部<br>門 | 退<br>院<br>支<br>援 | ①患者中心の質の高い退院支援により、切れ目ない看護の提供をする<br>②新人・ラダーレベル・一人ひとりに合った退院支援と継続看護実践能力の向上<br>③当院の退院支援委員会の役割を果たす   | ①各所属の特性について各委員の理解を深め、患者との関わり方について以前より興味をもって出来ている。委員の働きかけにより、多職種や、他部署の連携、各部署の活動も意識的にできている。院内研修会はコロナの影響もあり開催せず。退院支援だよりの発行ができた。<br>②新人で退院支援対象患者を受け持っている場合、記入出来た。ラダーに関する退院支援事例のレポート提出がほとんどなかった。次年度への課題。<br>③各委員の自覚は強くなってきた。委員会の開催だけでなく、行動評価を用紙提出にすることで委員の自覚もできた。外部研修への参加はコロナの影響で最小限となった。  |
|                  |                  | ①ICTチームと連携を取って院内感染対策に努める<br>②病院職員の感染対策における意識の向上を図る<br>③感染対策について啓発に努める   | ①1月末から老健のクラスターが発生したため、ICTチームを中心に感染対策を各部署でも強化する事ができた。<br>②手指消毒、環境整備について職員の意識が高くなった。<br>③コロナ感染対策の啓発は継続する<br>コロナ禍で院外研修には参加できなかったため、来年度はできる範囲で参加し、リンクナース個々の自己啓発に努める。  |
|                  | 感<br>染<br>看<br>護 | ①医療レベル3b以上のアクシデントをゼロとする<br>②患者誤認アクシデントをゼロにする<br>③毎月インシデント・アクシデントを集計し内容について振り返り各所属で報告する<br>④シミュ分析を行った事例について対策が行えているか定期的に確認する<br>⑤リスク感性を高めるため医療安全・機器管理について指導できる       | ①3bのアクシデントが4件発生した。うち3件は転倒による骨折であった。<br>②3aが1件発生 透析の体重に関わる問題でシミュ分析をおこなった。<br>③各所属のインシデント・アクシデントの内容について振り返る事が出来た。他部署の意見も踏まえ問題について考える機会となった。<br>④各所属で主体的にシミュ分析に取り組むことが出来た。<br>⑤学研ナースの医療安全コースを受講し意見交換を行った。さらに委員として看護師としてリスク感性を高めるため自己啓発に努める   |
|                  |                  | 1、褥瘡ケアの質の向上と維持<br>褥瘡ケアの共通認識ができる。 ①褥瘡患者状況把握、物品の管理をし、委員としての認識を高める ③マニュアルの見直し  | ①ケア内容は、医師に確認し共有できた。 ②委員会の時に、褥瘡患者状況、処置内容や経過kについて、情報共有し、委員としての意識が高められた。<br>エアマットについて、故障は比較的少ないが、年数がたっているため、CEと相談し、次年度予算にあげることとした ③マニュアルの見直しできた  |
|                  | 災<br>害<br>対<br>策 | 1. 災害対策マニュアルの整備・周知への取り組み①マニュアル修正②各部署の災害対応関連用紙の把握と統一<br>2. 災害対応できる人材の育成①各種研修会への参加②研修会開催③学研ナースサポート視聴<br>3. 院内災害対策整備への取り組み: 物品購入(管理課)、湖北病院災害対策委員会整備への動向確認              | 1. ①マニュアルへの災害関連の用語等の追加が80%程度作成できた。②用紙の把握はできたが、統一は難しく、検討中。<br>2. ①災害看護基礎編への参加予定者2名は不参加(コロナ感染不安で)。別研修に2名参加。昨年研修修了者1名の支援Ns登録がまだ。②委員会内で検討・実施のみ③各部署で視聴ほぼ全員確認。<br>3. 物品購入への働きかけ出来ず。予算には計上出来ていた。2月に管理課担当者と共に、BCP策定研修に参加出来た。  |
|                  |                  | 1. 看護師募集に関し、広報活動を行う<br>①合同就職説明会に参加する<br>②使用している冊子、パンフレットの見直し<br>2. 魅力ある職場作り<br>看護師の職場満足アンケート実施に向けての準備をする  | 1. ①コロナ禍において就職説明会がほぼ中止となった。<br>②冊子やパンフレットの修正のみ行った。パンフレットには辞めたスタッフの写真があり、現在のスタッフに変えていく必要があり、次年度の課題とする。<br>2. 11月の委員会名が変更となり、委員へ委員会名変更と担う役割について説明を行った。職場満足度調査を行うための準備を考えていたがコロナ感染発生により、中断となってしまった。次年度に調査を実施、分析を行う。  |

### 看護宅配便（出前講座）実施内容（2020年度）

| 3月～9月までコロナ禍にて中止 |             |             |                               |     |             |
|-----------------|-------------|-------------|-------------------------------|-----|-------------|
|                 | 実施日         | 場所          | テーマ                           | 参加者 | 担当          |
| 第1回             | 10月2日       | 木之本社会福祉センター | 家庭や地域で行うコロナ感染対策・介護を受けないための予防法 | 20  | 南部・中村・中川・中井 |
|                 | 13:30～15:00 |             |                               |     |             |
| 第2回             | 10月22日      | 余呉まちづくりセンター | 家庭や地域で行うコロナ感染対策               | 10  | 南部・中村       |
|                 | 13:30～14:30 |             |                               |     |             |

今年度はコロナ禍にて依頼があれば出向くこととした

## 9. 令和2年度 臨地実習受け入れ状況

滋賀県立看護専門学校

| 期間           | 実習区分 | 実習場所  | 受け入れ人数 |
|--------------|------|-------|--------|
| 7/27～8/11    | 成人Ⅱ  | A・B病棟 | 6名     |
| 8/27・8/28    | 老年Ⅰ  | 療養病棟  | 6名     |
| 9/7～9/10     | 老年Ⅰ  | A・B病棟 | 8名     |
| 9/28～10/9    | 成人Ⅱ  | A・B病棟 | 6名     |
| 10/15～10/16  | 基礎Ⅰ  | A・B病棟 | 8名     |
| 12/21. 12/22 | 老年Ⅰ  | 老健    | 6名     |
| 12/24. 12/25 | 老年Ⅰ  | 老健    | 6名     |
| 12/7～12/22   | 統合実習 | A・B病棟 | 6名     |

## 10. 令和2年度 看護研究発表・実践発表

| 月日        | 発表場所                          | 発表テーマ  | 部署               | 研究者                           |
|-----------|-------------------------------|--|------------------|-------------------------------|
| 令和2年12月2日 | 看護局事例発表会<br>(理論で振り返る)<br>(院内) | 低酸素脳症で寝たきりとなった終末期ガン患者を抱えた家族への退院までの関わり<br>～家族エンパワーメントモデルを用いて～ | A病棟              | 川上優花                          |
|           |                               | 終末期がん患者と信頼関係の築きに向けての関わり<br>～トラベルビーの理論を用いて振り返る～               | A病棟              | 中島桃伽                          |
|           |                               | 「自分でできることはしたい」という思いが強い患者への関わり<br>～オレムのセルフケア看護論を用いて振り返る～      | B病棟              | 森田七津子                         |
|           |                               | ニーズを満たす看護の必要性ーオランダの理論を用いて振り返るー                               | B病棟              | 平川たまみ                         |
| 令和2年2月25日 | 看護局ラダーⅡ<br>リーダーシップ研修          | 「スキントラブル、転倒・転落予防に関する意識を高めるために」                               | B病棟<br>R病棟<br>外来 | 西川明德<br>北村絵里香<br>酒井真実<br>石崎勇児 |
|           |                               | リーダーシップ研修成果発表 ～転棟サマリーを通して～                                   | R病棟<br>A病棟       | 福田なつき<br>伊藤美波<br>中谷亜紀<br>白谷優至 |
|           |                               | 身体拘束解除に向けて   | A病棟              | 谷口佳奈<br>増田大祐<br>井口渉           |

## 11. 令和2年度年度 教育・研修

| 氏名    | 所属   | 教育・研修名          | 期間                  | 場所      |
|-------|------|-----------------|---------------------|---------|
| 馬場直哉  | 外来   | 特定行為研修          | 5/23～3/31           | 滋賀医科大学  |
| 山田真由美 | 療養病棟 | 入退院支援看護師養成研修    | 9/15. 24. 10/7. 1/6 | 滋賀県看護協会 |
| 安済智子  | 外来   | 新人看護職員研修（教育者担当） | 10/1. 5. 12. 19     | 滋賀県看護協会 |

## 12. 令和2年度看護師確保対策

### 病院見学会開催実績

| 実施回数 | 実施日       | 参加者所属      | 参加者 |
|------|-----------|------------|-----|
| 第1回  | 令和2年8月7日  | 滋賀県立看護専門学校 | 2名  |
| 第2回  | 令和2年8月11日 | 滋賀県立看護専門学校 | 4名  |
| 第3回  | 令和2年8月13日 | 滋賀県立看護専門学校 | 4名  |

コロナ禍のためインターンシップをやめ病院見学に変更

### 看護師募集説明会参加実績

|     | 実施日       | 実施場所                  | 参加者     |
|-----|-----------|-----------------------|---------|
| 第1回 | 令和2年8月6日  | 看護職員就職説明会（米原文化産業交流会館） | 7名（面談者） |
| 第2回 | 令和3年1月16日 | 京都看護大学合同ガイダンス（web）    |         |
| 第3回 | 令和3年3月6日  | 文化放送合同説明会（web）        |         |

## 外来・手術室(中央材料室)

科長 岩井幸（看護局理事） 主査 久保田あゆみ  
 主幹 馬場直哉（認知症認定看護師） 主査 岩佐かすみ  
 医療技術局主査 柴田慎治

### ■ 令和2年度目標

#### 1. 安全で安心な患者中心の看護の提供

- 1) 地域の病院として利用しやすい受診環境を整える
  - ①患者満足度調査で、受診環境に関連した悪い評価がない
  - ②転倒転落（特に高齢者）のリスク発生がない
- 2) きれめない看護を提供する
  - ①内服治療に関する効果を、必要な患者に確認できる

②カンファレンスを活用してきれめない看護の実践ができる

※チーム会活動として計画 チームリーダー：中岡、サブリーダー：久保田

## 2. 働き方改革を目指した働き続けられる魅力ある職場づくり

働きやすい職場環境をつくるため、

1) 各科への応援業務が分かりやすくなり、主体的に取り組める

① 外来業務ラダーを作成する

② 各自でできる業務を把握し、増やす

2) 交流会を開催する

## 3. 病院経営に参画する

1) 診療報酬改定による、新たな加算基準を把握・取得する

2) 地域の病院として災害時に機能できるよう、災害対応マニュアル（看護局）に沿った行動ができる

## ■ 評価

1. 患者満足度調査では、環境への悪い評価はありませんでした。

1) ①コロナ対策で待合室の椅子の並び・清掃の検討や待ち時間中の注意事項を貼るなど、感染症対策としての環境整備を優先しました。また、感染症対策の一環として雑誌等の配置をやめました。

②高齢者の特徴について5月に勉強会を実施しました。その後、10月に転倒リスクが1件発生しましたが、それ以外の発生はありませんでした。リーダー研修参加者が転倒転落リスク回避の標語を作成し、毎朝唱和しました。回避行動の意識づけができる活動となりました。

2) ①受診時に気になる患者さんへの内服状況の確認意識は高まり、付箋を利用したスタッフ間の情報共有や調剤薬局への相談など、必要に応じてできました。計画していた『お薬コミュニケーションシート』の活用はできませんでした。

②カンファレンスはチーム会活動として、チームリーダーが中心となって取り組みました。年々確実に開催できるようになり、スタッフ間で情報共有ができるようになりました。また、カンファレンスの記録や付箋による記録日の表記もできました。司会や記録の担当者への負担が大きいことが、今後も継続していくための課題となりました。また、今年度は初めて他部署（透析センター）と合同カンファレンス（デスクンファレンス）を実施できました。

2. 1) ①外来（応援）業務ラダーは作成できました。スタッフ各自でできる業務の把握まではできました。②業務の拡大は次年度へ持ち越しとしました。

2) コロナ禍のため交流会は見合わせました。

3. 1) 排尿ケア管理やせん妄に対する加算が取得できました。自己導尿管理加算の取り漏れ等、必要時には医事課担当者と対応の検討ができました。

2) マニュアル周知や机上訓練ができませんでした。机上訓練を学研ナーシングサポートの視聴に変更し、ほぼ全員視聴できました。

## ■ カンファレンス等

チーム会活動でのカンファレンスは、月曜日 16 時～開催しました。8 月から、月曜日にも内視鏡検査日となったため、開催率が低下しました。（4～10 月 92.6%→年間 78.9%）

リハビリカンファレンスは毎月第 3 月曜日午後に、代表者が参加しました。

## ■ 特記

今年度は、コロナ対策に追われました。

正面玄関での発熱者のトリアージ、発熱外来、接触者外来（PCR 検査）等、その都度マニュアル作成等行いながら、取り組みました。

## ■ 外来受診者数（単位：人）

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 月平均 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 224 | 230 | 245 | 275 | 259 | 278 | 290  | 320  | 289  | 287 | 276 | 292 | 272 |

新型コロナウイルス感染症の影響で、年度当初は受診者数が減少しました。その後は、前年度近くまで回復しました。

## A病棟

科長 南部里香

主幹 大久保はる美

主幹 八木和美

主査 谷口早苗（～2021 年 6 月）

主査 田中ミユキ

## ■ 業務実績

病棟管理目標

- I. 急性期看護についての知識・技術が高められ、安全で確実な看護を提供します
  - 1) 学研ナースングサポートの重要な項目について決定し、視聴を 100% 目指します
  - 2) 日常的に行っているアセスメントから急変の予測をし、リフレクションを行うことで、次の看護に活かします
  - 3) 患者の特殊性を理解した上で、急性期患者の災害時対応ができるようにします
- II. 看護師としての役割と責任を認識し、急性期から退院に向けた、きれめない看護を提供します
  - 1) 患者誤認やレベル 3b 以上のリスクを起こしません
  - 2) 入院に至る問題点を明らかにして、安心して退院できるよう援助します
- III. 多様性を認め、尊重し合える職場風土を継続します
  - 1) ミニカンファレンス基準を活用することで、ミニカンファレンスを充実させ、業務調整を行います

- 2) 看護補助者と連携を図り、円滑に業務が行えるようにします
- 3) 的確な判断ができる人材育成に取り組みます

#### IV. 経営意識をもったコスト管理を行います

- 1) 看護必要度 I :31%以上を保ち、入院患者数月平均 38 名以上を目指します
- 2) 排尿ケア加算対象患者の洗い出しを行い、加算 2 回取得を目指します
- 3) コスト意識を持ち、無駄な経費を削減します

### ■ 評価

#### I 急性期看護についての知識・技術が高められ、安全で確実な看護を提供します

- 1) 学研ナーシングサポートの重点項目は、100%視聴することができ、各小チーム活動において活用することができました
- 2) 急変時に適宜対応することができました
- 3) 災害発生時の対策や業務チェックリストを作成し、机上訓練を行いました

#### II 看護師としての役割・責任を認識し、患者・家族からの信頼向上を図ります

- 1) 詰所会やチーム会でシャドーウィングや患者誤認マニュアルの読み合わせを行うことで意識付けに繋がり、患者誤認アクシデントは残念ながら発生しましたが、その都度 SHELL 分析を行い、対策を講じました。
- 2) 入院に至る問題点を明らかにするために、在宅支援アセスメント表を用いて意識して活用できるようになりました

#### III 業務改善を行います

- 1) ミニカンファレンス基準を活用し、時間管理も行えるようになりました。
- 2) 看護補助者の中で日々のリーダーを決定して、連絡事項等は科長から伝えることで連携して業務を行うようにしました。
- 3) 日々のリーダーは、時間内に業務が終了するように努め、超過勤務は減少しています

#### IV 経営意識をもったコスト管理を行います

- 1) 重症度、医療・看護必要度は、31%以上保つことは困難でしたが、来年度以降は 10:1 に変更となるため、28%以上を目指します
- 2) 排尿ケア加算対象患者の洗い出しを積極的に行い、スタッフも主体的に排尿日誌を記入することができるようになりました
- 3) 物品の故障が相次いだため、今後は特にコード類の管理を丁寧に行います

|             | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 平均在院日数(日)   | 11.9 | 12.3 | 11.2 | 11.4 | 11.2 | 10.6 | 10.4 | 10.1 | 10.1 | 10.6 | 11.0 | 11.0 |
| 病床利用率(%)    | 74.5 | 80.4 | 69.2 | 62.3 | 61.9 | 76.0 | 66.2 | 73.0 | 69.9 | 75.6 | 68.4 | 68.4 |
| 月平均入院患者数(人) | 37   | 37   | 36   | 35   | 34   | 34   | 33   | 33   | 32   | 32   | 32   | 32   |

## B病棟

科長 矢守聡美

主幹 福原聡子

主査 片桐典子

主幹 沢本孝美

主査 伊藤安喜

### ■ 業務実績

#### 病棟看護目標

1. 地域包括ケア病棟としての役割を理解し、退院支援につながる看護を実践します
  - ①在宅支援依頼票や意思決定支援用紙を用いたカンファレンスが70%実施できるようにします。
  - ②在宅への退院患者について、退院後1ヶ月を目途に生活状況を70%確認していきます。
2. スタッフ個々の能力が発揮できるような職場環境を目指します。
  - ①スタッフ個々が役割を持ち、キャリア構築に向けて自己目標を達成できるようにしていきます。個人目標の個々の達成度T2が80%になるようにします。
  - ②1回/月チーム会にて小チーム活動報告ができるようにしていきます。
3. 地域包括ケア病棟としての役割を果たし、病院経営に参画します。
  - ①施設基準が達成できるように、他部署と連携していきます。
    - ・看護必要度が14%以上
    - ・在宅復帰率70%以上
    - ・自宅から直接入院した患者が15%以上（予約、レスパイトも含む）
    - ・緊急受け入れ入院患者数が6名/3ヶ月
    - ・平均入院患者数29名/月
  - ③超過勤務時間が前年度より減少するようにしていきます。

### ■ 評価

R2年明けよりコロナ感染患者の増加に伴い、県からのコロナ病棟開設の要請があり開設の決定がなされました。4月に入ってから退院調整を行い、月末にはコロナ病棟開設に向けての準備を行いました。準備メンバーは他部署から2名、科長含み7名で構成しました。他のB病棟スタッフはA病棟とR病棟に分かれて勤務となりました。5月11日より開設となりましたが入院依頼はなく、6月末には地域包括ケア病棟再開となりました。12月末には再度コロナ病棟開設要請があり、夜勤のできるスタッフと科長含め13名で1月23日より開設準備に入りました。2月1日より開設予定でしたが、湖北やすらぎの里でクラスター発生したため2月26日地域包括ケア病棟稼働まで支援を行いました。

1. 地域包括ケア病棟としての役割を理解し、退院支援につながる看護を実践します
  - ①カンファレンス時に在宅支援依頼票は84%活用できました。用紙の記入と活用が定着してきました。しかし、意思決定支援用紙については25%と低く、退院支援における意思決定支援に対する意識が薄いためと考え、次年度の課題とします。
  - ②退院1か月後の生活状況確認は4月末からコロナ感染病棟開設に向けての準備等にて退院患者の振り返りの意識の定着が遅れたため30%と低値でした。
2. スタッフ個々の能力が発揮できるような職場環境を目指します
  - ①スタッフ個々の個人差はありますが、役割を持ち学習や活動を行うことができました。しかし、コロナ病棟開設の度に日々の活動などが中断となったこともあり、達成率は70%と目標値には及びませんでした。
  - ②小チーム活動はチームにより活動の差がみられましたが、勉強会の開催や必要時活動を行うことはできました。
3. 地域包括ケア病棟としての役割を果たし、病院経営に参画します
  - ①コロナ感染病棟開設前後においては、準備のため入院患者数が減少、また退院困難患者の増加により在宅復帰率の低くなった月も見られましたが、他部署との連携により施設基準は達成できました。また予定通りに準備を行いコロナ感染病棟の開設ができました。
  - ②超過勤務時間内容について調べました。超過勤務時間の約7割が残務や詰所会、委員会等でした。内容の比較ができないため次年度も継続して調べ、業務改善につなげていきたいと思いをします。

|            | 4月   | 5月 | 6月 | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月 | 3月   |
|------------|------|----|----|------|------|------|------|------|------|------|----|------|
| 平均入院患者数(人) | 16.6 | /  | /  | 15.4 | 22.9 | 24.0 | 18.6 | 22.1 | 20.1 | 12.6 | /  | 19.1 |
| 在宅復帰率(%)   | 71.4 | /  | /  | 91.7 | 93.8 | 100  | 90.9 | 94.0 | 96.2 | 96.7 | /  | 100  |

## 療養病棟

科長 秋野あけみ                      主幹 山田真由美                      主幹 脇坂ひろみ  
 主査 橘周子                              主査 佃 樹美子

### ■ 病棟管理目標

1. 安全で安心な患者中心の看護の提供
  - 療養病棟の特性を理解し、多職種によるチーム医療の構築
  - ①病棟内リスク発生アクシデントを「ゼロ」にする
  - ②チーム活動の充実

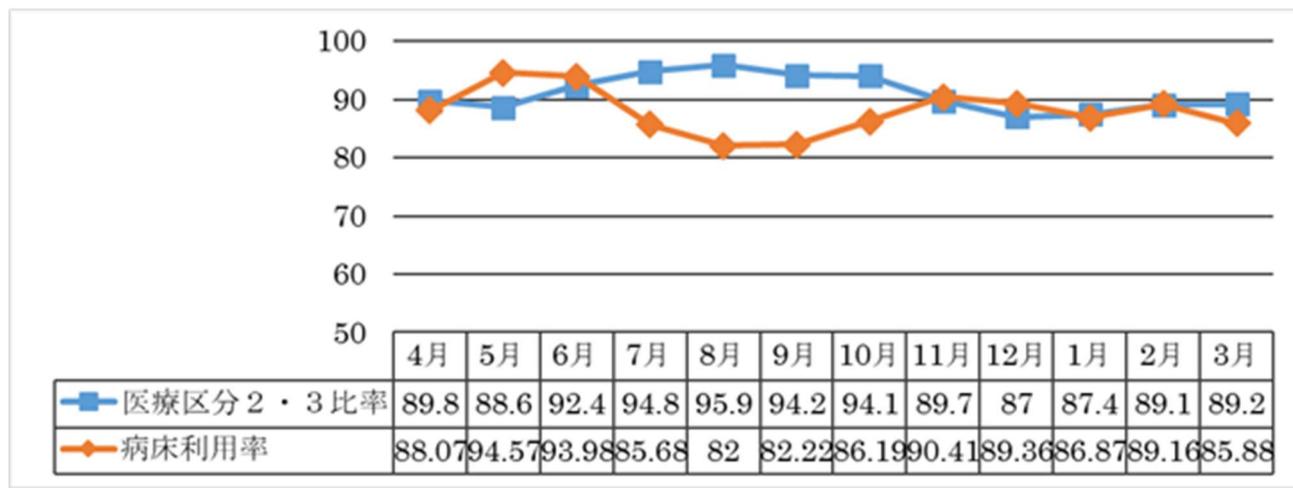
小チーム活動による質の担保  
主体性をもった活動ができる  
看取り支援(アドバンスケアプランニング・意思決定支援)の充実

- ③委員会活動の充実
- 2. 働き方改革を目指した働き続けられる魅力ある職場づくり
  - レベルに応じたスキルアップを図り職種と個々を活かした職場環境の整備
  - ①個々のキャリアに合った自己目標の達成
  - ②業務のスリム化
  - ③ワーカー活動の充実
- 3. 病院経営への参画
  - ①医療型療養病棟入院基本料1を維持する
  - ②ベッドコントロールを行い、患者数50名を目指す

## ■ 評価

- 1. 安全で安心な患者中心の看護の提供
  - ①シエル分析4例実施しました。シエル分析後3か月後の評価を実施しました。
  - ②『リスク回避対策案1人1案』は、チーム目標と連動させ実施・評価しました。
  - ③エンジェルカンファレンスを実施しました。意思決定支援用紙、ワーカー作成の「患者の情報共有シート」を活用しました。
  - ④小チーム活動で各種学習会の実施・実践レポートの提出による経験学習ができました。多職種が協力し、情報交換が重要であることの認識が深まりました。
- 2. 働き方改革を目指した働き続けられる魅力ある職場づくり
  - ①キャリアラダー毎のレポート提出などの支援を実施しました。
  - ②新人のリンゴの木による技術の実施の可視化ができました。
  - ③多職種での検討をし、業務改善に取り組みました。患者数の増加、医療依存度が高い患者の増加に伴い、業務改善の必要性がありました。入浴業務・患者誤認対策・透析患者保清・環境整備(患者・病棟内)・インスリン注射カートの管理・点滴業務など、業務改善やそれに関わる物品管理についても行いました。
  - ④新型コロナウイルス拡大のため、季節のイベント開催が出来ませんでした。面会禁止のため家族と会って頂くことが出来ないため、写真を撮って手紙として渡すサービスも行いました。
- 3. 病院経営への参画
  - ①医療区分2.3の割合年間平均91.0%維持しました。平均入院患者数 年間平均50.0人前年度より1名増加することができました。
  - ②施設基準として夜間看護加算取得のため5月より4人夜勤を導入しました。

## 療養病棟利用率と医療区分2・3が占める割合



### ■ カンファレンス等

- カンファレンス・・・平日毎日、夜勤でも毎日実施するようにしました。
- リハビリカンファレンス・・・第3金曜日
- 院内デイケア・・・毎週土曜日の午後実施していましたが、新型コロナウイルス拡大によりレクリエーション実施出来ませんでした。
- お誕生会・・・月末 昼食前の時間を利用して誕生月の患者さんに、カードを作りお渡ししています。



# 人工透析センター

科長 五町森ひろみ

主査 是洞真里子

主査 吉田伸子

## ■ 業務実績

### 業績目標

- I 透析を行いながら生活する患者を支援するための看護の提供
  - 1) QOLを低下させないための小チーム活動
  - 2) 他職種・他部門と連携し、継続看護の知識を深め生活を支援できる
- II 働き方改革を目指した働き続けられる魅力ある職場作り
  - 1) 職場風土の醸成
    - ①プライミングの役割分担
    - ②自動プライミング導入検討
  - 2) 一人ひとりの力を活かせる人材育成
    - ①異動スタッフを多職種で支援
- III 病院経営に参画する
  - 1) 改革プランの透析延べ件数をクリアする  
年間 8,038 件

## ■ 評価

- I 年間フットチェック表を作成し、個々の足の状態を観察しています。フットチェックに対する意識や知識が高まり早期発見、早期治療に繋がられています。  
年1回の透析教室はコロナ禍のため中止としました。しかし、運動療法についてパンフレットを作成し配布したところ患者さんにはとても好評でした。  
入院される透析患者さんが増え、病棟とも密に情報交換を行っています。退院カンファレンスには必ず参加し在宅へ繋がっています。
- II 他職種が連携し自動プライミングの体制作りに取り組みました。コスト削減にも繋が  
り病院経営にも貢献できました。  
透析への異動の際には新たな知識・技術の習得が必要となります。異動スタッフを支援するためのマニュアルを作成し他職種で支援しています。
- III 自動プライミングへの移行を進めており、今まで使用していたものが不要になりコスト削減に繋がっています。更に可能なコンソールは全て自動化へと進めていきたいと考えています。  
透析患者数は増加し前年度より透析延べ患者数は10%増加しました。また、改革プランの目標値も大きく上回ることができました。

## ■ 実績

|        | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 透析延べ件数 | 826 | 848 | 889 | 884 | 853 | 856 | 862 | 814 | 820 | 824 | 752 | 846 |

計 10,074 件

## 地域包括ケア事業部

### 地域医療連携室

地域連携室長 海津千津子

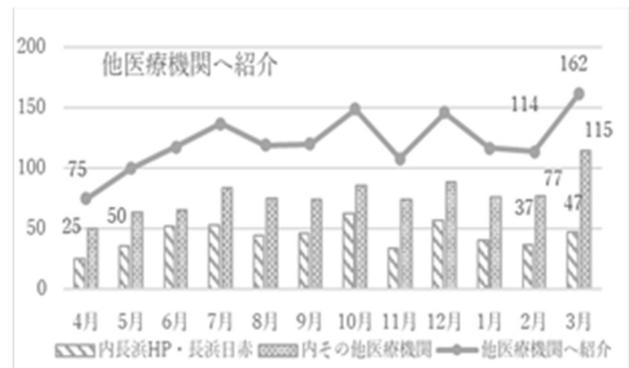
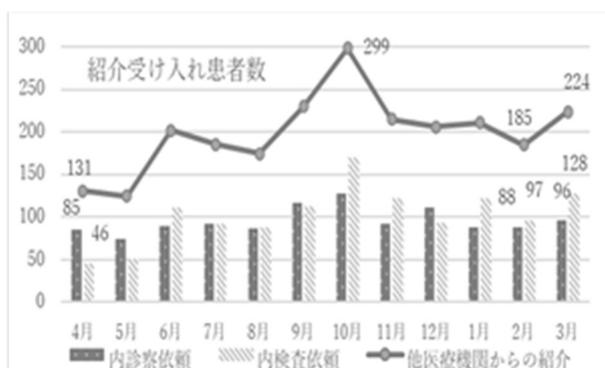
主幹 伊吹 美加

主幹 柴垣純子

主査 谷口あけ美

## ■ 業務実績

前方連携としてコロナ禍の影響を受け、昨年を若干下回る件数となりましたが、円滑な病診連携を図り、令和2年度は2,389件（前年比95.4%）の紹介があり、逆紹介は1,465件（前年比97.7%）の実績となりました。



後方連携として、退院調整業務を行い、地域の医療・介護との円滑な連携を図るため看護局と協同し、下記目標設定・評価を行っています。

### <看護局退院調整部門の目標>

#### 1、安全で安心な患者中心の看護の提供

- 1) 安全文化の醸成・患者満足度の向上。患者・家族へ病棟と共に働きかけ、納得できる退院支援・調整が出来る。
- 2) チーム医療を推進し、きれめない看護の提供。多職種との連携を密にして、地域ときれめない円滑な退院調整・支援が出来る

## 《評価》

- 1) B病棟の閉鎖がありながらも、1月末時点で情報交換は1,939件（月平均194件）・介護支援連携指導加算は247件（月平均30件）個別ケースはカンファレンス開催が42件実施。前年度より数値は下回っているものの、目標設定値はクリアしています。
- 2) コロナ禍で家族面会も制限され、患者の状況把握ができなかったり、家族への支援が不十分であったりして、円滑な退院支援を目指しケアマネと情報交換を行っていましたが、課題の残る一年であったと振り返ります。

## 2、働き方改革を目指した働き続けられる魅力ある職場づくり

- 1) 多様性を認め、尊重しあえる職場風土の醸成。担当個々がより相談しあえる職場環境の強化。
- 2) 一人ひとりの力を活かせる人材育成
  - ①新人育成
  - ②スタッフ個々のスキルアップ

## 《評価》

月1回のミーティング・毎朝の朝会を行い、情報共有に努めました。

新人の成長は独り立ちまでには至らず、まだ見守りや助言は必要。自ら進んで発言できるような自身がつくことを目的に、次年度に向け支援していきます。またB病棟閉鎖中に包括支援センターで見学実習する機会を得ることができ、在宅での学びを得ることができました。

院内研修は参加できましたが、院外研修は開催自体が少ないことから、次年度も引き続き継続目標としたい。

## 3、病院経営に参加する

- 1) 施設基準の管理
  - ①施設基準をクリアできる、効果的なベットコントロールの実施
- 2) 自部署の現状分析し、改善案・計画
  - ①退院支援における適切な加算取得

## 《評価》

- 1) ・A病棟 7:1の確保 在宅復帰率月平均97.8%
  - ・B病棟 在宅復帰月平均91.8 1日平均18.2名(閉鎖期間含まず)
  - ・R病棟 医療区分3・2比率月平均91.4% 1日平均50.1名で病床稼働率も上がっている。A・R病棟の加算は問題なく維持することが出来たが、B病棟は閉鎖によって地域包括ケア病床の加算は維持困難。(今年度はコロナ対応で対象外の可能性あり)
- 2) ・退院支援加算390件(目標比105.4%) 4-R2.1月平均39件実施
  - ・介護指導連携指導加算件247件(目標91.5%) 4-R2.1月、平均24.7件/月で実施漏れはなし

# 木之本余呉西浅井地域包括支援センター

地域包括支援センター長 海津千津子

主査 脇坂秀明

主査 村上伊都子

主査 加納義浩

## ■ 業務実績及び評価

長浜市地域包括支援センター基本方針、取り組み計画として、

1. 地域包括支援センターの周知とネットワークの構築を推進する。
2. 地域の介護支援専門員とのネットワークを図る。
3. 権利擁護支援の充実を図る。

と設定され、木之本余呉西浅井地域包括支援センターの基本方針・目標設定を行いました。

### <基本方針>

僻地・高齢化の進む地域において、高齢者自身がその人らしく安心して暮らし続けられるよう、健康維持・介護予防支援の関わりを推進する。

医療・福祉の関係強化と高齢者の権利を守れる支援のネットワーク作りを推進する。

### <令和2年度目標>

- ①地域へ積極的に出向き、健康維持や介護予防への周知活動を行う。
- ②地域の関係機関と連携を図り、現状把握や課題抽出により、地域課題について関係機関と検討する。

### 《評価》

1、地域包括支援センターの周知とネットワークの構築を推進する。

- ①サロン3か所、各3民協と西浅井地協で啓発実施。
- ②絵本教室を小学校6校・中学校2校で開催。
- ③認知症啓発に役立てられるよう、地域に密着した医療機関や金融機関、地元商店等の一覧表を作成。認知症啓発としてポスター掲示を実施。
- ④10月に便り（地域包括支援センターと認知症の内容）を自治会回覧。地域の開業医と薬局に挨拶・啓発を実施。
- ⑤健康づくりと見守り活動の資料を作成し、民協や地協に啓発活動実施。病院の出前講座に同行。余呉のふくしの会ではCOVID-19感染予防についての研修を実施。

2、地域の介護支援専門員とのネットワークを図る。

- ①ミーティングで窓口相談対応状況の確認と困難事例について情報共有。
- ②R2.8.18に圏域内のケアマネジャーに「看取り」を題材にした研修を開催。長浜米原地域医療支援センターや市高齢福祉介護課の参加も。圏域内のサロンや民児協定例会に参加し、関係構築し連絡先の確認ができた。困難ケースやケアマネジャーから要請があったケースに対し、サービス担当者会議に17ケース参加できた。直営新プランについては、地域とつながることができるようにインフォーマルサービスを位置づけたり、地域の力を活用するプランを立てることができた。

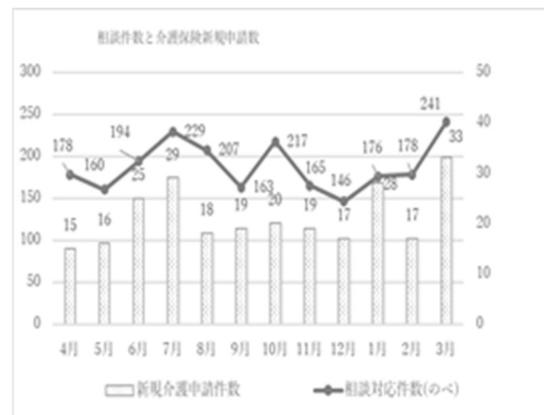
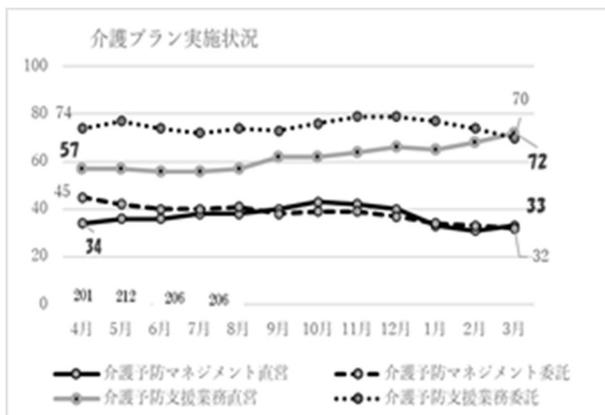
③個別プランから 11 個の地域課題を抽出。社協や市高齢福祉介護課、健康推進課と協力し、SOS ほんわかネットワーク事業や GPS 貸し出しサービスなどを紹介。

### 3、権利擁護支援の充実を図る。

- ①地域の団体（サロンや民協）に出向き、地域包括支援センターの案内・虐待啓発のちらしを配布し、通報窓口の周知を 7 団体に実施。
- ②相談ケースをセンター内で常に情報共有し、虐待につながるような状況がないかという視点で対応。センター職員のスキルアップ研修に参加。
- ③成年後見センター 2 ケース・権利擁護 10 ケース・消費生活 2 ケースと積極的な情報交換や役割分担等の連携を実施。

介護予防プラン作成の状況は（下記左資料参照）、平成 31 年 1 月の委託開始当時は 32.51%の直営プランであったが、令和 2 年度末には 50.72%まで伸び、包括支援業務を圧迫させている。その要因に長浜市北部地域のケアマネジャー不足があげられ、今後の対応検討が必要となっている。

また、相談ケースは（下記右資料参照）年間 2,254 件に上り、長浜市内 5 包括の中で来訪による相談の比率が多く、湖北病院内に設置されたことで、受診や入院をきっかけとして相談につながったと評価されています。



## 訪問看護ステーション

訪問看護ステーション所長 奥出佳世子 主査 竹原緑 看護師常勤換算 6.3  
理学療法士 1名 事務職 1名

### ■ 業務実績

#### 管理目標

- ① 安全で安心な療養環境を提供します
- ② 働き方改革を目指した働き続けられる魅力ある職場づくりを目指します
- ③ ステーションの安定した運営を行います

## ■ 評価

- ① 予防的視点を持った看護が提供できるように、研修の伝達講習や理学療法士による勉強会、カンファレンスでの事例検討・振り返りを行いました。チームを分けてマニュアル作成に取り組みました。
- ② 有給5日の取得はできました。祝日は勤務の都合上休みがとりにくいですが、余裕のある時は交代で休むことが出来ました
- ③ エリア内の新規依頼はなるべく断らずに受けるようにし、安定した運営を継続することができました
  - ・延べ利用者数：1,098人/年、医療保険利用者数：29%
  - ・延べ訪問件数：5,733件/年
    - (内訳)：看護師訪問件数：4,978件/年
    - 理学療法士訪問件数：755件/年
  - ・在宅みとり：17件/年

## ■ カンファレンス 毎週火曜日 13:15～

# 看護相談室

看護師 武田真紀子

## ■ 業務実績

看護相談室は1998年に開設しましたが、そのきっかけは、外来看護師の不足による在宅療養指導の不足でした。当初は、保健師と看護師の二人体制でしたが、1999年から現在までは看護師1名（日本糖尿病療養指導士認定者）で業務を行っています。

看護相談室は常在でなく、相談や面談目的室として使用中です。

糖尿病で自己注射が必要なケースでは、在宅療養指導料の算定が可能です。個室で30分以上行うという条件があります。初月は2回/月、次月以降は1回/月の算定が可能です。1回当たり170点です。

糖尿病透析指導管理料は、医師・管理栄養士・看護師がチームを組んで再開していましたが、2019年の12月に発生した新型コロナウイルスの予防のため、実施を見送ることになりました。

また、10年前より糖尿病の患者に限り合併症管理料が算定できるようになり、外来で行っていたフットケアも上記の感染予防のため1例もできませんでした。

近年は、1型糖尿病の患者のインスリンポンプ療法や血糖持続モニターの管理や指導も行っています。2型糖尿病患者でも可能な血糖持続モニターもあり、糖尿病の自己管理も年々複雑になっています。

看護相談で行う相談としては、診療報酬の算定が可能なものよりも算定できない悩み相談や病院の医療安全に関する様々な相談、医療相談などの件数が多いのが特徴です。

看護相談の業務には、1999年から毎年開催している「糖尿病教室」の事務局の役割があり、予算の計上、計画、実施、評価をし、次回につなげています。ただ、同じく新型コロナウイルスの発生・感染拡大のため、本年度は、感染予防のため糖尿病教室の実施ができていません。

医療関係の糖尿病の自己測定機器などのデバイスなどの紹介や説明、説明会の依頼など医療MRとの相談などもあります。

#### 2020年度 看護相談延べ件数一覧（単位：件）

| 月   | 件数   | 在宅療養指導料算定件数 |        |
|-----|------|-------------|--------|
| 4月  | 85   | 20          | 緊急事態宣言 |
| 5月  | 133  | 19          | 緊急事態宣言 |
| 6月  | 148  | 36          |        |
| 7月  | 142  | 27          |        |
| 8月  | 137  | 32          |        |
| 9月  | 119  | 28          |        |
| 10月 | 132  | 29          |        |
| 11月 | 112  | 25          |        |
| 12月 | 127  | 26          |        |
| 1月  | 126  | 28          |        |
| 2月  | 129  | 25          |        |
| 3月  | 142  | 26          |        |
| 合計  | 1532 | 321         |        |

# 健康管理センター

保健師 澤渡智美

事務員 西川 裕子

## ■ 業務実績

### 令和2年度健診実施状況

#### 1. 実施件数

単位=件

| 項目        | 4月 | 5月 | 6月 | 7月  | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|-----------|----|----|----|-----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 日帰りドック    | 1  | 1  | 2  | 3   | 6  | 7  | 6   | 2   | 2   | 2  | 2  |    | 34  |
| 一般健診      |    |    |    |     |    |    |     |     |     |    |    | 1  | 1   |
| オプション     | 5  | 2  | 18 | 18  | 14 | 15 | 12  | 14  | 10  | 6  | 14 | 7  | 135 |
| 生活習慣病予防健診 | 13 | 20 | 34 | 42  | 45 | 38 | 58  | 49  | 47  | 41 | 33 | 19 | 439 |
| 企業健診      | 4  | 2  | 21 | 28  | 13 | 9  | 8   | 16  | 17  | 22 | 23 | 13 | 176 |
| 特定健診      |    |    | 1  | 4   | 8  | 12 | 10  | 15  | 8   | 6  | 6  |    | 70  |
| 市子宮頸がん検診  |    | 2  | 2  | 1   | 2  | 1  | 4   | 10  | 7   | 3  |    |    | 32  |
| 市乳がん検診    |    | 1  | 2  | 5   | 3  | 6  | 10  | 17  | 17  | 6  | 5  | 3  | 75  |
| 計         | 23 | 28 | 80 | 101 | 91 | 88 | 108 | 123 | 108 | 86 | 83 | 43 | 962 |

#### 2. 収益

単位=円

| 項目        | 4月      | 5月      | 6月        | 7月        | 8月        | 9月        | 10月       | 11月       | 12月       | 1月        | 2月        | 3月      | 計          |
|-----------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|------------|
| 日帰りドック    | 38,312  | 38,312  | 81,620    | 122,430   | 244,860   | 285,670   | 244,860   | 81,620    | 81,620    | 81,620    | 81,620    |         | 1,382,544  |
| 一般健診      |         |         |           |           |           |           |           |           |           |           |           | 28,270  | 28,270     |
| オプション     | 39,250  | 29,770  | 221,790   | 180,450   | 149,950   | 169,430   | 149,420   | 159,621   | 107,180   | 23,480    | 89,220    | 57,930  | 1,377,491  |
| 生活習慣病予防健診 | 207,977 | 273,299 | 563,149   | 683,120   | 738,720   | 654,938   | 1,049,480 | 907,414   | 923,529   | 733,817   | 592,969   | 358,523 | 7,686,935  |
| 企業健診      | 68,084  | 34,452  | 366,422   | 647,825   | 279,464   | 158,499   | 151,382   | 306,666   | 321,505   | 399,505   | 403,130   | 211,165 | 3,348,099  |
| 特定健診      |         |         | 8,600     | 41,406    | 71,670    | 116,742   | 88,903    | 121,359   | 73,542    | 50,600    | 47,956    |         | 620,778    |
| 市子宮頸がん検診  |         | 15,842  | 15,842    | 7,921     | 15,842    | 7,921     | 31,684    | 79,210    | 55,447    | 23,763    |           |         | 253,472    |
| 市乳がん検診    |         | 5,003   | 16,086    | 34,055    | 21,049    | 42,098    | 69,650    | 118,251   | 125,951   | 43,638    | 35,595    | 22,589  | 533,965    |
| 計         | 353,623 | 396,678 | 1,273,509 | 1,717,207 | 1,521,555 | 1,435,298 | 1,785,379 | 1,774,141 | 1,688,774 | 1,356,423 | 1,250,490 | 678,477 | 15,231,554 |

## ■ 評価

「保健・医療・福祉センター」構想に基づいて、平成18年に「健康管理センター」を開設しました。

令和2年度における実施人数はコロナ過の影響を受け962件、前年度対比13.8%の減となりました。

収益も15,232千円、前年度対比14.7%の減となっています。

当院の健診は、すべて外来部門を使用しての実施となるため、受入れに限界もありますが、今後も対応可能な範囲で件数及び収益増に向けて取り組みます。

# 介護老人保健施設 湖北やすらぎの里

看護師長 上松智秋

看護主幹 上田文子      看護主査 杉本喜代美      高津ユキ

介護主幹 福原浩      介護主査 中川秀信      浅井志津香

## ■業務実績

- 目標
1. 超強化型施設を維持するために、運営戦略を立てて取り組みます。
  2. 安心した在宅生活を送るために、多職種が連携してケアサービスの向上を目指します。
  3. 地域との交流を深め、超強化型施設として在宅支援を行います。

施設では、多職種が共同で勤務しています。

各委員会に、看護師、介護職、リハビリ職、ケアマネ、相談員、管理栄養士、事務などがメンバーになり、施設目標達成に向けて各委員会が行動計画を立案し取り組んでいます。

### ・ケアプラン委員会

入所前後訪問指導加算の算定件数が前年度 60 件から 73 件増やすことができました。  
アセスメント表を見直し、入力方法をマニュアル化しました。

### ・ターミナル委員会

湖北やすらぎの里での意思決定支援ができるように受け持ちカンファの見直しを行いました。

看取りパンフレットを見直し、活用しています。

### ・安全管理身体拘束廃止委員会

施設内のラウンドを行い、危険個所の早期発見と対策をとりました。  
事故発生時には事故分析を行い、対策をとりました。

### ・認知症ケア委員会

BPSD について啓発ポスターを作成し、スタッフの認知症ケアに対する意識の向上につながりました。

やりがい活動（多職種共同による利用者の認知機能向上に繋がる作品作成活動）の作品を介護雑誌に投稿しました。

### ・デイケア委員会

送迎時の事故対応マニュアル、コロナウイルス感染対策、感染時のマニュアルを作成中です。

### ・教育、指導委員会

介護ラダーを作成し、面談で活用しています。  
湖北病院と合同で出前講座を開催しました。

### ・感染対策委員会

ラビジェル使用量を年間通じて測定、感染対策の実施状態を把握しました。

新型コロナウイルス対策マニュアルを作成しました。

感染対策研修を年2回実施しています。

- ・口腔機能向上委員会

口腔衛生管理体制加算を算定できるように、毎月の歯科検診で加算に伴う書類の記入漏れがないように努めました。

歯科検診のアドバイスをもとに個人に応じた口腔ケアを実施しました。

嚥下機能別食事介助表の見直しを行い活用しています。

- ・褥瘡対策委員会

利用者にあつた体位変換表の確認と見直しを行っています。

毎月エアマット使用者の体圧測定を行っています。

- ・4階5階チーム会

面会制限のなかで、利用者の施設での様子を担当が手紙にして家族にむけて情報発信できました。

- ・看護師会

利用者が安心して生活が送れるように、アセスメントを行い体調管理に努めました。

## ■評価

コロナ禍で、面会制限、外部との交流も中止するなど利用者、家族には大変ご迷惑をおかけしました。制限内で利用者、家族様に安心していただけるように、日ごろの様子を電話でお知らせし、カードを配送するなどのできる範囲のことをさせていただきました。

また、超強化型施設として、在宅復帰の支援も行いながら、住み慣れた地域で最期まで自分らしく生活していただけるように、看取りケアにも力を注いでいます。

看取りケア中には、利用者の体調を考えながら里帰りを実施し、家族様との大切な時間を過ごしていただくことができます。

## ○講習会／研修会への取り組み

### 糖尿病教室

看護師 武田真紀子

#### ■ 業務実績

年々、糖尿病患者は増加の一途ですが、当院は高齢糖尿病患者が非常に多い状況です。

そこで、どうしたら糖尿病を理解できるかを考え、知識を習得し、納得して療養できるのかを焦点に、1999年から集団で糖尿病教室を開催し、今年度は3回開催しました。

事務局は糖尿病チームで、準備・設営・運営・参加者への案内などを実施、毎回評価し、次回につなげています。

5年前から糖尿病専門医の常勤医師が赴任され、その医師の指導の下、院内に糖尿病チームを立ち上げ、現在、看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・理学療法士の構成で13名のメンバーがそれぞれの専門性を生かした教室を開催しています。

メンバーにはCDE J 1名、元CDE Jが1名、滋賀糖尿病療養指導士が6名在籍し、切磋琢磨しつつ、専門知識をフル回転させています。

参加された患者様には感想を記入していただいております、大半が「良かった。また参加したい。新しいことがわかった。」という意見で、その他「こういうことも知りたい。」というアンケートの内容を、できるだけ反映できるようにしています。今後も、更に進化した内容の「患者が参加できる、ためになる教室」を目指して、患者さんだけでなく関わるスタッフも教室を通して、より深く知識を吸収できる機会となっております。

#### 年間テーマ『糖尿病を悪化させないために』

##### 第1回 6月8日 テーマ「試食会と食事療法の基本」

- ① 「サルコペニア（筋肉量が低下すること）」 清水診療局長
- ② 「個人にあったカロリーで試食会」 全員（看2・栄2・薬1・理1・臨1）
- ③ 「糖尿病の食事の基本を理解しよう！」 饗場管理栄養士 参加者：19名

##### 第2回 9月28日 テーマ「雨天の運動療法」

- ① 「糖尿病と認知症」 清水診療局長
- ② 「雨天の効果的な室内運動の実践」 北川理学療法士

③ 「簡易骨密度測定」 不室放射線技師 参加者：8名

第3回 11月16日 テーマ「腎臓を守るために何をすればいいの？」

① 「糖尿病性腎症って？守るために必要なこと」 武田看護師

② 「腎臓が悪くても運動はしてもいいの？」 北川理学療法士

③ 「腎症の判断の検査は？」 澤臨床検査技師

④ 「糖尿病があると認知症になりやすいの？」 馬場認知症認定看護師 参加者：13名

◆湖北やすらぎの里内部研修

| 開催年月日         | 研修会名            | 参加職種  | 参加人員          | 研修日数 | 研修内容  |
|---------------|-----------------|-------|---------------|------|---|
| 6月            | 医療安全職員研修会（病院合同） | 全職員   | 64名<br>(100%) | 2日   | 学研ナーシングサポート視聴にて、医療安全における現場での対策や活動について学ぶ。<br>・安全のための改善活動～私ができる医療安全～<br>・現場でできるヒューマンエラー対策 |
| 8月4日～<br>30日  | 感染対策研修会（病院合同）   | 全職員   | 64名<br>(100%) | 2日   | ビデオ視聴にて、新型コロナウイルスの検査や湖北病院の新型コロナウイルスへの取り組みについて学ぶ。  |
| 8月8日<br>8月20日 | リーダー研修          | 介護福祉士 | 2名<br>(100%)  | 2日   | 学研ナーシングサポート視聴、ワークシートにて、現場のチームリーダーとして必要なメンバーシップや知識について学ぶ。                                |
| 10月           | 感染・接遇・技術指導研修    | パート職員 | 16名<br>(100%) | 10日  | 感染予防や接遇についての知識、食事や入浴、更衣の介助の技術について学ぶ。  |
| 11月           | 第二回安全管理研修会      | 全職員   | 64名<br>(100%) | 2日   | レポート形式にて、施設内でのリスクや改善策について考え、日常から医療安全を見直すきっかけづくりとする。                                     |
| 12月           | 第二回感染症対策研修会     | 全職員   | 64名<br>(100%) | 2日   | DVD視聴にて新型コロナウイルスについて学ぶ。<br>・新型コロナウイルスとは<br>・すぐに役立つ感染症対策、身近なものを使ってやってみる                  |

※介護・身体拘束研修は未実施

◆湖北やすらぎの里外部研修

| 開催年月日  | 研修会名   | 参加職種              | 参加人員 | 研修日数 | 研修内容   |
|--------|--|-------------------|------|------|--|
| 7月6日   | 生活支援コーディネーターの活動について                              | 居宅介護支援<br>専門員     | 1    | 1    | 生活支援コーディネーターの活動を事例を踏まえて学ぶ。                           |
| 7月17日  | 在宅リハビリテーション・ケアスクール<br>オンラインセミナー                  | 理学療法士             | 1    | 1    | リハビリテーションにおける家屋評価のチェックポイントを学ぶ。                       |
| 8月25日  | 感染予防対策研修会  | 看護師               | 1    | 1    | 地域住民や関係者が感染症の発生予防や感染拡大防止を図ることができることを目的とする。           |
| 9月1日   | 感染予防の基本と感染予防策について                                | 居宅介護支援<br>専門員     | 1    | 1    | 新型コロナウイルスの感染予防の基本と感染予防策について学ぶ。                       |
| 10月24日 | 日本離床学会教育セミナー                                     | 作業療法士             | 1    | 1    | 施設でのケアやアプローチに活かせる、離床に関する知識や、離床技術の基礎を学ぶ。              |
| 11月12日 | 滋賀県新型コロナウイルス感染症発生時の<br>介護関連施設・事業所間の応援事業説明<br>研修会 | 介護士               | 1    | 1    | 新型コロナウイルス感染症発生時における事業所間の連携を円滑に行うことを目的とする。            |
| 11月3日  | 滋賀県災害派遣福祉チーム（しがDWAT）<br>養成研修                     | 介護士               | 1    | 1    | 滋賀県がしがDWATを設置するにあたり、チーム員として活動に必要な知識、技術を習得することを目的とする。 |
| 3月8日   | 高齢者虐待について  | 相談員/居宅<br>介護支援専門員 | 2    | 1    | 高齢者の虐待について学ぶ。  |
| 3月18日  | 介護報酬改定（栄養関連）研修会<br>（介護保険施設編）                     | 管理栄養士             | 1    | 1    | 令和3年度介護報酬改定における栄養関連の背景や内容を学ぶ。                        |
| 3月29日  | 介護報酬改定（栄養関連）研修会<br>（通所・居宅編）                      | 管理栄養士             | 1    | 1    | 令和3年度介護報酬改定で通所・居宅の分野における栄養関連の内容を学ぶ。                  |

## ○委員会の状況

### 医療安全委員会

- 委員長 納谷佳男
- 委員名 東野克巳、富樫弘一、清水真也、北川裕之、前田優子、田中正樹、大塚重之、伊吹美加、堀順子、山内一登与
- 目的 長浜市立湖北病院における医療事故の発生及び再発並びに院内感染を防止し、安心できる確かな医療の提供に資すること

#### ■ 活動内容・活動実績

##### 1. 内容

- (1) 医療安全管理の情報収集、管理及び研究に関する事
- (2) 医療事故等の分析及び再発防止策の検討に関する事
- (3) 医療安全管理のために行う職員に対する指導、指示に関する事
- (4) 医療機器の保守及び使用に関する事
- (5) 患者の立場に留意した医療の提供に関する事
- (6) 関連法規の遵守に関する事
- (7) 医療訴訟に関する事
- (8) その他医療安全管理に関する必要な事項

##### 2. 医療安全委員会開催

###### 毎月第1火曜日開催

- ・ リスク委員会からの報告
- ・ インシデントレポート報告
- ・ 院内巡回結果報告
- ・ 安全対策報告
- ・ 医薬品安全管理対策の取り組み
- ・ 医療機器安全管理対策の取り組み
- ・ 医療安全研修会開催報告
- ・ 医療安全管理規定、医療安全にかかる指針等の見直し・改正

###### 令和2年度緊急医療安全委員会

8月13日、8月29日

# リスクマネジメント委員会

■ 委員長 伊吹美加

■ 委員名 東野克己、岩井幸、南部里香、矢守聡美、秋野あけみ、五町森ひろみ、  
中岡浩秋、熊河久登、中川歩美、坪井房幸、山内一登与、澤渡雄二

■ 目的 組織的なリスク管理を行い、医療事故防止対策を実効あるものにするため

■ 活動内容・活動実績

## 1. 内容

- ・院内におけるインシデント・アクシデント報告の確認、分類、分析及び改善案、評価
- ・医療事故の再発防止対策の検討、協議
- ・マニュアルの点検、評価
- ・医療事故の予防策、改善策の検討
- ・職員への啓発、広報
- ・決定した事故防止および安全対策の職員への周知徹底

## 2. リスクマネジメント委員会開催

毎月第4金曜日 17：30 から開催

- ・SHELL分析報告と検討
- ・院内研修会の計画・実施
- ・院外研修会への参加
- ・医療安全体制（組織作り）について検討

## 3. 院内研修会開催

◇医療安全研修会 対象：全職員

春の研修（動画視聴による研修）

期間：4月から7月

：『安全のための改善活動 ～私ができる医療安全～』

『現場でできるヒューマンエラー対策』

受講者 263 名

日時：11月から1月

内容：『チーム医療とはなんですか？何ができるとよいですか？

～チーム STEPPS～』

『動画で実践！ KYT（危険予知トレーニング）』

受講者 256 名

# 医療機器安全管理委員会

## ■ 委員長

富樫弘一

## ■ 委員

杉江祐貴、五町森ひろみ、坪井房幸、矢守達也、藤原 克徳、  
山内一登与（事務局）

## ■ 目的

院内の医療機器を適切に安全且つ効果的に使用する事で、患者及び職員の安全を確保する事を目的とする。

## ■ 活動方針

- ・ 職員に対する医療機器の安全使用に関する研修の実施。
- ・ 医療機器の保守点検計画の策定と適切な保守点検の実施。
- ・ 医療機器の安全使用のために必要な情報の収集及び安全確保を目的とした改善策の実施。

## ■ 活動内容

- ・ 臨床工学技士による院内医療機器の定期点検の実施。（日常巡回点検・1回/週・1回/月）
- ・ メーカー保守契約による定期点検（1回/年）実施の確認。
- ・ 臨床工学技士による、ET（エンドトキシン）濃度、細菌数測定（全患者監視装置、1回/年）、及び評価。
- ・ 日本医療機能評価機構、医薬品医療機器総合評価機構（PMDA）から医療安全に関する情報の収集に努める。
- ・ 各部署からの医療機器に関するリスク報告から、安全確保のための改善策の提案、対策を提供する。

# 薬事委員会

■ 委員長 清水真也

■ 委員 納谷佳男、富樫弘一、朝倉透、中村貴士、田中正樹、大塚重之、北川裕之  
岩井幸、久保田惣平、堀順子

■ 目的 医薬品選定、購入及び管理の審議、薬事情報収集、その他薬事に関する審議

■ 活動方針

医薬品情報を収集、医薬品の有効性、安全性、経済性等を検討し、適切な採用薬品の選定を行う。

■ 活動内容・活動実績

第一回 令和2年4月20日

採用：ミノサイクリン塩酸塩錠 100mg、

院内採用：オムニパーク 300 注 20ml、オキシコドン徐放錠 5mgNX、ファモチジン静注 10mg

院外仮採用：アイベータ配合点眼液

院外採用薬へ：モービック錠 10mg、パロキセチンOD錠 10mg、ベガモックス点眼液 0.5%、ネバナック懸濁性点眼液 0.1%、ペルサンチン錠 25mg

院内用時購入へ：ニトラゼンローション 2%

中止薬品：オキシコンチン錠 20mg、ブドウ糖 50% 200ml、親水クリーム、パンスポリン静注用 1g、ピバレフリン点眼液 0.04%、サンピロ点眼液 1%、タプコム配合点眼液、ペルサンチンL 150mg カプセル

第二回 令和2年 6月15日

院外採用：フィアスプ注フレックスタッチ

院内仮採用：コアベータ静注用 12.5mg

院内後発薬へ変更：メモリーOD錠 5mg、20mg、アボルブカプセル 0.5mg、ザイザル錠 5mg ゼチーア錠 10mg、セレコックス錠 100mg、パルミコート吸入液 0.25mg

院外採用薬へ：アタラックスPカプセル 25mg

中止薬品：メコバラミン注 500 $\mu$

第三回 令和2年8月17日

採用：インスリンリスプロ BS 注ソロスターHU

院内仮採用：タグリッソ錠 80mg

院外仮採用：ロケルマ懸濁用散分包 5g

院内後発薬へ変更：エディロールカプセル 0.75mg、リウマトレックスカプセル 2mg、  
ジスロマック錠 250mg、メリスロン錠 6mg、セファドール錠  
25mg、ロペミンカプセル 1mg、プロジフ静注液 200mg

院外採用薬へ：ダントリウムカプセル 25mg、イスコチン原末(院内は用時購入へ)

中止薬品：サイレース静注 2mg

#### 第四回 令和2年10月19日

仮採用：オニバイド点滴静注 43mg

院外仮採用：アイラミド配合懸濁性点眼液

院外採用薬へ：グランダキシン錠 50mg、フリバス OD 錠 25mg、75mg

中止薬品：アデラビン9号注 1mL

#### 第五回 令和2年12月14日

採用：リンゼス錠 0.25mg、ビソプロロールフマル酸塩錠 0.625mg、ペロスピロン塩酸  
塩錠 4mg

院内外仮採用：ダーブロック錠 2mg

院内後発薬へ変更：リリカ OD 錠 25mg、75mg、リバスタッチパッチ 9mg、アバスチン  
点滴静注用 100mg、400mg (適応症の範囲で後発使用)

院外採用薬へ：パントシン散 20、サアミオン錠 5mg

#### 第六回 令和3年2月8日

採用：クロフェドリンS配合シロップ、スピオルトレスピマット60吸入、ニフェジ  
ピンCR錠 20mg

院内仮採用：ベクルリー点滴静注用 100mg、グリセリンBC液 60%、

院外仮採用：リムパーザ錠 100mg・150mg

院外採用薬へ：インドメタシンパップ 70mg、d1メチルエフェドリン塩酸塩散、  
鎮咳水セット(サリパラ液 15mL、セネガシロップ 12mL、キョウニン  
水 3mL、d1メチルエフェドリン塩酸塩散 10%0.5g、ブロムヘキシ  
ンシロップ 7mL、オピセゾールコデイン液 5mL、ペリアクチンシロップ  
8mL)

中止薬品：ホスホマイシンナトリウム静注用 2g、キシロカインポリアンブ 0.5%  
10mL

# 手術部運営委員会

■ 委員長：朝倉透      副委員長：納谷佳男      事務局：岩井幸

■ 委員：目片久隆、中村貴士、齋藤卓也、前田優子、岩佐かすみ

## ■ 目的

事務部門・外科系診療科・手術室看護部門で構成され、手術室の効果的な利用および手術室での医療事故(手術・麻酔・感染など)防止を目的としています。

## ■ 活動方針

手術件数や手術室運営状況共有のため、なるべく年度の始めと後半に開催しています。

## ■ 活動内容・活動実績

今年度は、開催できませんでした。

新型コロナウイルス感染症対策として、委員長・副委員長・事務局が話し合い、麻酔科管理症例の患者に対して、術前PCR検査を12月から開始しました。

## ■ 手術件数 (件)

| 科    | 手術の種類  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|------|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 泌    | 経尿道的   | 1  | 3  | 2  | 1  | 3  | 2  | 2   | 0   | 0   | 0  | 5  | 3  | 22  |
|      | シヤント   | 3  | 2  | 0  | 1  | 0  | 3  | 0   | 2   | 2   | 6  | 0  | 3  | 22  |
|      | 開腹     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
|      | 腹腔鏡    | 0  | 1  | 0  | 1  | 1  | 0  | 1   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 4   |
|      | 腎・尿管結石 | 1  | 0  | 1  | 2  | 3  | 0  | 1   | 3   |     | 4  | 0  | 0  | 15  |
|      | 他      | 5  | 5  | 12 | 4  | 2  | 7  | 6   | 6   | 7   | 3  | 2  | 8  | 67  |
| 眼    | 白内障    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
|      | 硝子体注射  | 2  | 4  | 4  | 5  | 2  | 6  | 3   | 3   | 1   | 2  | 1  | 4  | 37  |
| 整    | 骨接合    | 1  | 4  | 1  | 3  | 1  | 1  | 1   | 2   | 0   | 0  | 1  | 3  | 18  |
| 皮    |        | 2  | 0  | 2  | 1  | 3  | 2  | 1   | 5   | 0   | 0  | 3  | 0  | 19  |
| 合計   |        | 15 | 19 | 22 | 18 | 15 | 21 | 15  | 21  | 10  | 15 | 12 | 21 | 204 |
| 全身麻酔 |        | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 4  | 4   | 4   | 0   | 4  | 6  | 5  | 42  |
| 脊椎麻酔 |        | 5  | 9  | 5  | 5  | 3  | 1  | 1   | 4   | 1   | 3  | 1  | 7  | 45  |
| その他  |        | 9  | 8  | 14 | 9  | 7  | 16 | 10  | 13  | 9   | 8  | 5  | 9  | 117 |

※眼科白内障手術は、担当医師の都合により休止中。

## 防火・防災対策委員会

■ 委員長名 東野克巳

■ 委員名

前田浩一、山口哲、目方久隆、木村勇人、森田翔、山内一宏、松山勝彦、藤井翔太、山中里美、福原聡子、中川淑子、山内明美、榎田浩一、饗場順子、清水惣七、谷口陽亮

■ 目的

病院における防火管理業務の必要な事項を定め、火災、地震その他の災害の予防、人命の安全および被害の防止・軽減を図る。

■ 活動内容・活動実績

4月：新規採用職員対象への防災教育（防火設備等の説明）

## 輸血療法委員会

■ 委員長 富樫弘一

副委員長 納谷佳男

■ 委員名 澤渡雄二、榎田浩一、岩佐かすみ、八木和美、田中 絹恵、森田 翔、澤 実津紀（事務局）

■ 目的

輸血療法の適正な運用、円滑な管理体制の確立および輸血に関する医療事故防止です。

■ 活動方針

輸血管理料Ⅱ取得のため年回6回の委員会を開催しています。

また、輸血適正加算の取得に努めています。

■ 活動内容・活動実績

1. 活動内容

使用指針やマニュアルに準じた輸血療法の実施を促しています。

厚生労働省委託事業血液製剤使用実態調査・血液センター血液使用量アンケート調査に参加しました。

医療安全の3病院合同ラウンドで輸血に関する部門に参加しました。

輸血に関する指針の改訂に基づいて、院内マニュアルの改訂を行いました。

継続輸血患者に対する同意書の取得頻度を定めました。

## 2. 輸血療法委員会

奇数月の第一月曜日の17:30より開催しています。

主な内容は以下の通りです。

- 血液センターからの情報共有や資料配布
- 輸血に関する業務内容改善の検討
- 年間血液製剤の購入量・使用量・廃棄量と輸血副作用の集計と報告
- 症例の報告

## 人権教育推進委員会

■委員長 目片久隆

■委員

久保田あゆみ、谷口早苗、片桐典子、高木悦子、西川純代、藤井翔太、赤井充、左近理弘、中川歩美、饗場陽一、加納義浩、小林友幸、村上義幸

■目的

院内の人権対策を総合的に推進し、人権問題の解決に積極的に取り組むため。

■活動内容・活動実績

- ・院内研修の開催
- ・外部研修への参加

## 給食委員会

■委員長 齋藤卓也

■委員名 内田晃史、前田優子、上松智秋、南部里香、秋野あけみ、矢守聡美、丸山和彦、矢守達也、中川歩美

■目的

当院における給食業務を合理的且つ効果的に運営するため、必要な事項の審議を行い、業務の向上、改善を図ることを目的とする。

■活動方針

定期的に委員会を開催し、職員間の知識、情報の共有や周知を図っています。

## ■活動内容

1. 6月16日（火） 第1回
  - ①現状報告
  - ②非常時の備蓄マニュアル(資料配布)
  - ③新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに関して
2. 10月16日（金） 第2回
  - ①現状報告
  - ②やわらかく食
  - ③食事オーダー
  - ④嗜好調査
3. 2月 第3回  
新型コロナウイルスの影響を鑑みて書面開催としました。
  - ①現状報告
  - ②嗜好調査結果(結果配布)
  - ③栄養補助食品(インパクト)
  - ④食事形態(参考資料配布)

## 医療機器等選定委員会

- 委員長 納谷佳男
  - 副委員長 富樫弘一
  - 選定委員 中村貴士、朝倉透、北川裕之、前田優子、田中正樹、川瀬輝幸(事務局)
- 目的 長浜市立湖北病院において使用する医療機器の調達（修繕）、診療材料の購入等について、適正かつ円滑な運用を図る。
- 活動方針 下記の医療器、診療材料等についての選定、採用を決定します。
- (1) 契約予定金額が500万円以上の医療機器等購入（修繕）契約の機種を選定に関する事。
  - (2) 契約予定金額が年額100万円以上の医療機器等賃貸借契約の機種を選定に関する事。
  - (3) 契約予定金額が年額500万円以上の診療材料の選定に関する事。
  - (4) 契約予定金額が年額100万円以上の診療材料の新規採用に関する事。

## ■活動内容・活動実績

### ・機器等購入

|          |                    |   |
|----------|--------------------|---|
| 令和2年 5月  | 医療機器選定（書面審査）<br>一式 | 地域連携ネットワークシステム<br><br>P C 端末一式                              |
| 令和2年 11月 | 医療機器選定             | 多用途透析監視装置一式<br>血液浄化装置一式                                     |
| 令和2年 12月 | 医療機器選定（書面審査）       | 高圧蒸気滅菌装置一式<br>超音波画像診断装置一式<br>検査用超音波画像診断装置一式<br>ベッドサイドモニター一式 |

### ・機器等修繕

|         |              |              |
|---------|--------------|--------------|
| 令和2年 5月 | 医療機器選定（書面審査） | M R I 装置修繕一式 |
|---------|--------------|--------------|

## 診療材料選定・SPD運営委員会

■委員長 清水真也

■副委員長 朝倉透

■選定委員 齋藤卓也、前田優子、田中正樹、岩佐かすみ

■運営委員 三國宏子、片桐典子、宮川千瑛、澤渡雄二、山内一宏、脇坂勇輝、  
杉江祐貴、田淵美紀、丸山和彦(事務局)

■目的 当院の経営安定を目指し、院内の効率的な物品供給および在庫物品の適正化をはかり、S P Dシステム運用等に関し必要な事項を決定します。

■活動方針 ・各部署内の適正な在庫管理を行います。  
・安定した診療、経営が行えるよう情報の共有および周知をはかります。

### ■活動内容・活動実績

随時各病棟、人工透析センター、救急室、各外来と物品定数を確認し、各部署内、S P Dセンター内の適正な在庫管理に努めました。

## 広報委員会

■委員長 杉江祐貴

■委員 赤井充、片桐典子、杉江祐貴、改田智子、村上伊都子  
横井渉、齋藤卓也、中島桃伽、西川純代、饗場順子、吉田伸子（事務局）

### ■目的

院内での活動報告や各種案内、求人情報等を診療に訪れた患者様やそのご家族、お見舞いの方に、また地域住民の方々に発信します。

### ■活動方針

広報「長浜市立湖北病院だより」の発行（年4回）

発行した広報紙は外来、病棟に設置すると共に、病院ホームページにも掲載します。

### ■活動内容・活動実績

- ・広報紙「長浜市湖北病院だより」第49号 令和2年6月2日発行  
新人医師の紹介、外来診療担当医表
- ・広報紙「長浜市湖北病院だより」第50号 令和2年8月6日発行  
新型のX線CT装置を導入のお知らせ、行事食や季節食提供について（栄養科）、  
外来診療担当医表
- ・広報紙「長浜市湖北病院だより」第51号 令和2年11月1日発行  
「認定看護師」と「特定看護師」について（認知症看護認定看護師）  
日常の感染症について
- ・広報紙「長浜市湖北病院だより」第52号 令和3年1月28日発行  
医療従事者および医療従事者をめざす学生の研修の実施について

## 臨床検査精度管理委員会

■委員長 富樫弘一

■委員名 前田優子、澤渡雄二、藤原克徳、赤井充

■目的 臨床検査の精度管理事業を管理運営し、検査技術の向上を図り、検査データの信頼性を高める。

- 方針
- 1 外部精度管理事業の評価を参考に検討改善する。
  - 2 内部精度管理：測定機器の点検保守、試薬管理を実施する。
  - 3 検査業務の円滑化、効率化を推進する。

## ■活動内容、活動実績

### 精度管理事業

- \* 外部精度管理 6月 日本臨床検査技師会精度管理調査参加
- 8月 滋賀県臨床検査技師会精度管理調査参加
- 9月 日本医師会精度管理調査参加
- 不定期 各機器業者実施の精度管理を年1回実施
- \* 内部精度管理 定期的に各機器にて実施

## ■委員会

- 5月 令和元年度精度管理事業計画
- 7月 メーカーサーベイ結果報告
- 9月 日本臨床検査精度管理結果報告 (A+B 評価 98.9%)
- 1月 滋賀県臨床検査精度管理結果報告 (A+B 評価 100.0%)
- 3月 日本医師会精度管理結果報告 (評価点 95.7点)

## 職員安全衛生委員会

■ 委員長 副院長 東野克己

■ 副委員長 清水真也、前田優子

■ 委員 田中正樹、北川裕之、前田浩一、藤井翔太、大西麻美、久保田あゆみ  
改田智子(事務局)

■ 目的 労働安全衛生法に基づき、職員の職場における安全と健康を確保するとともに快適な作業環境の形成を図るために必要な事項を調査審議します。

■ 活動方針 定期的に委員会を開催し、積極的に職場環境の把握を行い、職員の安全衛生、方策改善策を審議します。

### ■ 活動内容・活動実績

毎月最終木曜日 16:30～職場巡視 17:00～定例委員会

職場巡視および巡視結果についての審議

職員健康診断、予防接種の実施について検討

針刺し事故やその他公務災害の報告及び審議、再発防止対策の検討

職種別の休暇の取得状況、残業時間などの労働環境についての調査及び審議

ストレスチェック実施時期について検討および結果についての審議

(ストレスチェックの提出を職員健診と同時にしたことで受験率は100%となりました)

## 医療ガス安全委員会

■ 委員長 朝倉透 副委員長 富樫弘一

■ 委員 南部里香、矢守聡美、秋野あけみ、藤井翔太、横井昌裕、  
事務局 柴田慎治

### ■ 目的

医療ガス（酸素、亜酸化窒素、治療用空気、吸引、二酸化炭素、手術機器駆動用窒素等をいう。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。

### ■ 活動方針

- (1) 病院内の各部門に医療ガスに関する知識を普及し、啓発に努めること。
- (2) その他医療ガスに関する事項

### ■ 活動内容・活動実績

- (1) 委員会を開く事案はありませんでした。

## 医療廃棄物対策委員会

■ 委員長 東野克巳 副委員長 澤実津紀

■ 委員 南部里香、片桐典子、五十嵐彩、柴田慎治、荒木葉子、中村守、井ノ下雅貴、  
横井昌裕、改田智子、杉本喜代美、山根利男、清水惣七、  
事務局 山口哲

### ■ 目的

廃棄物の取り扱いについては、廃棄物の発生から、廃棄、保管、運搬、最終処理までの間の安全性を考えた取り扱いと管理が重要である。運搬、最終処理に関しては業者に委託していることから、廃棄物の分別・保管において正しく分別・収集・保管を行うことを目的とする。

### ■ 活動方針

- (1) 病院内の各部門に医療廃棄物に関する知識を普及し、啓発に努めること。
- (2) その他医療廃棄物に関する事項

### ■ 活動内容・活動実績

開催日：令和2年5月30日（土） 17：30 から

場 所：病院2階講義室

参加者：委員長 東野克巳 副委員長 澤実津紀 事務局 山口哲  
委員 清水惣七、片桐典子、五十嵐彩、柴田慎治、中村守、  
横井昌宏、改田智子、清水惣七

議題（1）感染性廃棄物処理計画について

内容：医療廃棄物・一般廃棄物処理方法に基づいて病院内の処理方法を再確認した。

課題（2）長浜市立湖北病院感染性廃棄物処理管理規程案について

内容：規程に問題がないか検討した。

第6条2項の管理責任者の代行選定について、どういう人を選定すれば良いのか長浜病院ではどう設定しているか確認した方が良い。

## 化学療法検討委員会

■委員長 富樫弘一

■委員 納谷佳男（副委員長）、久保田あゆみ、安済智子、榎田浩一、中川歩美、堀順子、井ノ下雅貴（事務局）

■目的 院内での化学療法を安全かつ適正に遂行する。

■活動方針

チーム医療の一環として医師をはじめとするさまざまな職種が共同で、患者さまに安心・安全な抗がん剤治療を受けて頂けるように努めます。

\* 化学療法レジメンの審査・登録

\* 抗がん剤の管理、調製、払い出し、施注などの運用にかかる取り決め

\* 副作用に対する周知、対応

■活動内容・活動実績

\* 令和2年4月24日 第25回委員会

1. 令和2年4月診療報酬改定により外来化学療法連携充実加算が算定可能となりました。

・新たな取り組み

化学療法委員会への栄養士の参加、ホームページにてレジメンの公開

年1回研修会の開催、副作用・実施計画を文書提供、問合せ窓口の体制整備

2. 化学療法委員会の規約作成について

今後、整備していきます。

\* 令和2年9月25日 第26回委員会

1. 令和2年度 外来化学療法混注実績 中間報告

## 2. 新規レジメン検討

内科 切除不能な進行・再発 大腸がん(1次治療) Cmab+FOLFIRI

化学療法後に増悪した切除不能な膵がん(2次治療) naI-IRI+5-FU/LV

泌尿器科 切除不能または転移性の腎細胞がん(1次治療) キイトルーダ+インライタ

## 3. 連携充実加算について

令和2年5月より算定開始となりました。

(調剤薬局の薬剤師の方を対象に、令和2年6月25日に第1回外来化学療法研修会を実施しました。)

# 企画委員会

■ 委員長 柴田光博

■ 委員名 宮崎健太、北川翔、木村勇人、左近弘、澤実津紀、藤居侑里子、  
中村守、中川麻衣

## ■ 目的

病院や福祉施設を利用される方に、「癒しと安らぎ」を感じていただけるような空間作りを行います。また、地域のイベントに参加し、地域の人たちや子ども達との交流を深め、湖北病院をより身近に感じていただける活動を行います。

## ■ 活動方針

各委員の知恵と工夫による活動によって、病院や福祉施設を利用される方に、「心のおもてなし」を提供する。

## ■ 活動内容・活動実績

展示コーナーでの作品展

一般の方や患者様、地域の小中学校・団体からのご好意により提供していただいた作品を、展示ルームで展示しています。出展者には作品発表の場として、病院を利用される方には、癒しと憩いの場として展示ルームの有効活用を行っています。

<展示コーナー>

令和2年度は、病院新館施設設備上の都合とコロナ禍により展示コーナーの展示は実施できませんでした。

<新館1階ホール(継続展示)>

長浜子どものちかい・長浜子育て憲章推進事業「絵手紙展」優秀作品パネル  
(令和2年10月～)

# 湖北やすらぎの里委員会

| 会議等の名称            | 参加職種   | 実施状況 | 会議等の主な内容   |                                      |
|-------------------|--|------|--|--------------------------------------|
| 教育・指導委員会          | 看護・介護職員  | 月1回  | 職員の資質向上を図るための施設内研修の立案・実施します                      |                                      |
| 安全管理・拘束廃止委員会      | 全職種  | 月1回  | 報告を分析し、事故防止に努めます<br>施設におけるケア全体の質の向上や生活環境の改善を図ります |                                      |
| サービス担当者会議         | 全職種  | 毎週1回 | 他職種が利用者ならびに家族の情報を共有し、連携してケアプランを見直し、精度向上に努めます     |                                      |
| 感染対策委員会           | 看護・介護職員  | 月1回  | 施設内感染の予防を図るとともに、職員の感染に対する意識を高めます                 |                                      |
| ターミナルケア委員会        | 全職種  | 月1回  | 看取りケアに関する情報収集ならびに情報共有を行います                       |                                      |
| 認知症ケア委員会          | 全職種  | 月1回  | 認知症ケアに関する知識・技術向上に努めます                            |                                      |
| ケアプラン委員会          | 全職種  | 月1回  | 利用者のケアプラン情報を職員間で共有し、利用者の身体機能の維持向上を目指します。         |                                      |
| 褥瘡対策委員会・口腔機能向上委員会 | 看護・介護職員  | 月1回  | 褥瘡予防・対策を検討し、周知徹底を図ります<br>施設における口腔ケアの推進、充実を図ります   |                                      |
| 老健運営会議            | 全職種  | 月1回  | 施設運営に関する問題の共有とその解決策を協議します                        |                                      |
| 苦情解決会議            | 全職種  | 随時   | 苦情発生時の検討、対応について協議します                             |                                      |
| リーダー会             | 看護・介護職員  | 月1回  | 職種間のケアに関する情報の共有・意見調整を行います                        |                                      |
| ケアスタッフ会議          | 介護職員   | 月1回  | 介護士間の情報・知識・技術向上に努めます                             |                                      |
| 看護師会              | 看護職員   | 月1回  | 利用者の健康状態の向上を目指し看護師間の情報・知識・技術向上に努めます              |                                      |
| 安全管理・拘束廃止委員会      | 全職種  | 月1回  | 運営会  | 安全管理・拘束廃止委員会からの報告ならびに検討事項を施設全体で協議します |
| 事故防止委員会           | 全職種  | 月1回  | 運営会  | 事故防止について施設全体で協議します                   |
| 感染対策委員会           | 全職種  | 月1回  | 運営会  | 感染対策について報告ならびに施設全体で協議します             |
| 入所検討会議            | 全職種  | 月1回  | 運営会  | 入所待機者の入所順位を決定します                     |
| 備考                | 給食委員会・人権教育委員会・個人情報保護委員会・労働安全衛生委員会・防災委員会・年報委員会は、湖北病院と合同で実施します |      |  |                                      |

## ○その他、著書・論文発表等記録

内科 久田 祥雄

滋賀県長浜市余呉町・木之本町における中河内巡回診療所と杉野・金居原巡回診療所での診療に関する調査を中心としたへき地で継続可能な医療提供と関連医療機関との連携を目指した地域包括ケアシステム構築のための研究

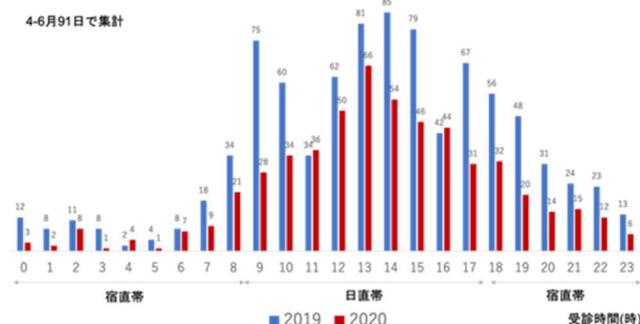
令和2年度に行なった活動について報告します。赴任後は、病院業務と並行し、上記をテーマに臨床研究を開始しました。まず、地域について、また、病院や関連施設について、関心や問題意識をもった内容を中心に調査や検討を行い、医局会で下記の議題について、合計4回にわたり、報告を行いました。

### 議題1: COVID19 流行前後でみた時間外受診患者数の変化と受診の時間帯および診療科の関連 (2020年7月、報告資料1)

赴任前に国内ではコロナ禍の第一波を迎え、緊急事態宣言が出された後でした。年度の変わり目で、全国各地で休校や休業が続き、宣言も延長が決まった後での、当院への着任でした。当時はまだPCRの検査体制が不十分で、検査を保健所に依頼する状態であり、午後に発熱外来が作られているものの、外来診療は手探りの状態であったと思われます。定期通院中で病状が安定している患者さんは、電話対応での定期処方を行っていました。また、あらゆる症状による受診控えが起きているためか、時間外外来の受診患者数は減少していました。時間外受診患者の診療科別でみた内訳も変化していることが予想され、中には過小医療により、重症患者や不良な転帰をたどる症例の増加が懸念されました。そこで、2019-2020年4-6月の時間外受診患者データを用いて、比較検討を行いました。受診患者数の絶対数は減少し、相対的に午後外来の対応患者数は増加し、整形外科受診者数の人数が相対的に増加していました。幸い、救急搬送症例・転院搬送症例・死亡患者症例の有意な増加はみられませんでした。時間外外来の診療セッティングは、プレコロナとポストコロナで変化しており、時間外診療を行うスタッフ同時でこうした変化を共有することが有用と考え報告しました。2021年度には、2019年の1-12月と2020年1-12月の1年間のデータで比較検討を追加しており、令和3年度年報でも報告します。

#### 報告資料1

COVID流行前後の時間外受診者の人数の推移



結果1. COVID-19流行による時間外受診患者の変化（時間別）

|      | 2019年4-6月<br>n=873 | 2020年4-6月<br>n=544 | オッズ比* | p値†    |
|------|--------------------|--------------------|-------|--------|
| 宿直帯  | 340                | 174                | 0.73  | 0.008  |
| 日直帯  | 261                | 120                | 0.66  | 0.001  |
| 午後外来 | 272                | 250                | 1.87  | <0.001 |

\*:カイ二乗検定, †:有意水準0.05

結果2. COVID-19流行による時間外受診患者の変化（診療科別）

|       | 2019年4-6月<br>n=873 | 2020年4-6月<br>n=544 | オッズ比* | p値†   |
|-------|--------------------|--------------------|-------|-------|
| 内科    | 620                | 358                | 0.81  | 0.08  |
| 外科    | 26                 | 23                 | -‡    | 0.23‡ |
| 小児科   | 17                 | 9                  | -‡    | 0.83‡ |
| 耳鼻咽喉科 | 7                  | 6                  | -‡    | 0.57‡ |
| 整形外科  | 71                 | 65                 | 1.55  | 0.01  |
| 皮膚科   | 62                 | 38                 | 0.99  | 0.98  |
| 泌尿器科  | 61                 | 34                 | 0.89  | 0.62  |
| 脳外科   | 0                  | 1                  | -‡    | -‡    |
| 眼科    | 17                 | 7                  | -‡    | 0.40‡ |
| 歯科    | 3                  | 3                  | -‡    | 0.68‡ |

\*:カイ二乗検定, †:有意水準0.05, ‡:Fisherの正確確率検定（症例数が少ないため）  
産婦人科、神経内科、精神科、麻酔科は人数0のため省略

結果3. COVID-19流行による時間外受診患者の変化（転帰）

|      | 2019年4-6月<br>n=873 | 2020年4-6月<br>n=544 | オッズ比 | p値*   |
|------|--------------------|--------------------|------|-------|
| 入院   | 122                | 82                 | 0.80 | 0.51  |
| 救急搬送 | 98                 | 69                 | 1.16 | 0.36  |
| 転送   | 5                  | 4                  | -‡   | 0.73‡ |
| 死亡   | 5                  | 5                  | -‡   | 0.51‡ |

\*:カイ二乗検定, †:有意水準0.05, ‡:Fisherの正確確率検定

## 議題2:巡回診療所利用者と過疎地域施設入所者のマルチモービディティー・ポリファーマシー該当者に関する検討 (2020年8月、報告資料2)

高齢化が進み、近年問題となっているマルチモービディティー・ポリファーマシー該当者について検討を行いました。患者背景では、施設入所者ほど年齢が高い傾向がみられました。これまでの先行研究と同様に、ポリファーマシーの患者は、そうでない患者と比較し高齢であり、ポリファーマシーの患者ほど、そうでない患者と比較し、平均の基礎疾患数も多い結果が得られました。

この検討を行なった背景には、当院で行なっている巡回診療への薬剤師同行を、マンパワーと効率性の問題から、中止にした方が良くしようとする動きがあったことが挙げられます。薬剤師が同行し診療することで、患者さんへの服薬指導や薬剤の確認だけでなく、ポリファーマシーへの介入もお願いできればと考えました。そこで、巡回診療所の患者さんの人数、マルチモービディティー・ポリファーマシー該当者について検討し、杉野・金居原診療所利用者は、診療を行なっている人数が多いことに加えて、多剤服用該当者も有意に多い結果を報告し、看護部門・医事課との合同会議で同行継続の要望を出しました。最終的には、2020年3月まで薬剤師同行をお願いしていただきました。残念ながら、翌年度以降の同行継続は叶わず、2021年度からは杉野・金居原診療所への同行は中止となりました。多剤服用患者への介入は不十分のままとなりましたが、2021年度から院外薬局参入の話が進み、診察後の当日処方と当日配達が可能になる予定です。

タスクシフトにより院外調剤による薬剤部の負担は軽減し、院内の調剤業務に専念できることとなります。また、これまででは不可能であった、当日処方が可能となります。当日にリアルタイムで患者さんが希望する薬剤を届けることができること、院内に採用がなく処方が難しかった薬など、外来診療で使用頻度の高い薬剤の使用が可能となりますので、診療所利用者が受ける処方格差を解消することにつながります。また、院内処方では調整が難しかった合剤への変更が検討できるため、数例の薬剤では減薬が可能となりま

す。合わせて、診療中に十分できなかった服薬指導や、並行して行なっている訪問診療患者さんへの訪問服薬指導について、今後件数を増やしていければと考えています。

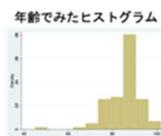
## 報告資料2

### 結果1 年齢と性別

2020年4-9月の巡回診療と訪問診療の利用者は102人  
平均年齢85.2歳 男性21人(80.4歳)vs女性81人(86.5歳)

診療所の利用者 60人 中河内13人 金居原20人 杉野27人  
施設利用者 42人 特別養護老人ホーム29人  
グループホーム9人  
サービス付き高齢者住宅4人

年齢(対応のあるt検定)  
金居原:有意に低い あじさい:高い傾向



### 結果2-1 該当者の割合

ポリファーマシー 48人が該当  
ありvsなしの年齢の平均は87.0±5.9vs83.7±8.8 p=0.02

マルチモービディティー 66人が該当  
該当疾患数の平均は  
ポリファーマシーの有無で3.89vs2.29, p<0.001  
2疾患以上が80/99 3疾患以上が66/99 ※4例データ欠損

### 結果2-4 巡回診療所別の比較

|     | ポリファーマシー | p値   | マルチモービディティー | p値   |
|-----|----------|------|-------------|------|
| 杉野  | 18/27    | 0.04 | 18/27       | 0.58 |
| 金居原 | 8/20     | 0.27 | 15/20       | 0.39 |
| 中河内 | 5/13     | 0.35 | 5/13        | 0.04 |

Fisherの正確検定

杉野診療所の患者さんには、ポリファーマシー患者患者が多い  
中河内診療所の患者さんは、マルチモービディティー患者が少ない  
(診療所別に年齢の差はないため、年齢の交絡はなさそう)

## 議題3:JPCAT を用いたプライマリ・ケア機能評価

(2020年12月、報告資料3)

病院と関連施設利用者を対象にアンケート調査を実施し、プライマリ・ケア機能を評価しました。近年、へき地診療所である中之郷診療所は、常勤医師が不在となってから、当院や弓削メディカルクリニックから医師を派遣して診療を継続しています。また、毎週行なっていた杉野・金居原の巡回出張診療所は、利用者の減少や人材確保困難のため、毎週実施から隔週実施に実施回数を減らしています。このことは、各診療所におけるプライマリ・ケア機能の継続性や近接性を低下させる可能性があり、実際に、先行研究の全国データよりもプライマリ・ケア機能をみるスコアが全体で低い結果が得られました。考察を加えて学会発表を行い、診療課題として2021年度年報でも報告したいと思えます。

## 報告資料3

結果1. 調査回答者の属性(年齢・性別)

|        | 中之郷<br>Total<br>(N=33) | かかりつけ+<br>(N=22) | かかりつけ-<br>(N=13) | 先行研究<br>Total<br>(N=1725)* | 地域病院<br>N=617 | 地域診療所<br>N=1108 |
|--------|------------------------|------------------|------------------|----------------------------|---------------|-----------------|
| 性別     |                        |                  |                  |                            |               |                 |
| 男性     | 13                     | 8                | 5                | 663                        | 227           | 436             |
| 女性     | 20                     | 14               | 6                | 765                        | 278           | 487             |
| 年齢     |                        |                  |                  |                            |               |                 |
| 20-29y | 0                      | 0                | 0                | 20                         | 10            | 10              |
| 30-39y | 0                      | 0                | 0                | 47                         | 10            | 37              |
| 40-49y | 1                      | 0                | 1                | 87                         | 35            | 52              |
| 50-59y | 2                      | 1                | 1                | 162                        | 60            | 102             |
| 60-69y | 7                      | 5                | 2                | 399                        | 133           | 266             |
| 70-79y | 10                     | 7                | 3                | 510                        | 159           | 351             |
| >=80y  | 13                     | 9                | 4                | 236                        | 113           | 123             |

\*2121人で実施し1795人が回答、うち70人はかかりつけなしで除外

結果2. JPCATスコア\*の比較

|                  | 中之郷<br>Total<br>(N=33) | かかりつけ+<br>(N=22) | かかりつけ-<br>(N=13) | 先行研究<br>Total<br>(N=1725) | 地域病院<br>N=617 | 地域診療所<br>N=1108 |
|------------------|------------------------|------------------|------------------|---------------------------|---------------|-----------------|
| 近接性              |                        | 36.3             |                  | 60.8                      | 69.3          | 56.1            |
| 継続性              |                        | 66.5             |                  | 79.8                      | 79.2          | 80.2            |
| 協調性              |                        | 60.4             |                  | 67.4                      | 64.7          | 67.9            |
| 包括性<br>available |                        | 62.0             |                  | 67.4                      | 66.1          | 68.0            |
| 包括性<br>provided  |                        | 24.5             |                  | 42.5                      | 40.9          | 43.3            |
| 地域<br>志向性        |                        | 50.4             |                  | 71.3                      | 66.2          | 74.1            |

\*各スコアは0-100点をとる (参考: 過去に個人のスコアの3点の改善と、保険未加入減少やACP実施有無に関連の報告)

#### 議題4: 自施設における地域単位の健康関連ソーシャルキャピタル指標の測定と全国平均との比較 (2020年3月、報告資料4)

健康な地域づくりのため、ソーシャルキャピタルという概念が注目されています。2021年1月の市報ながらはまに同概念について紹介し、市民への啓発を行いました。

市立病院通信 10

お元気ですか

このコーナーでは、病院施設や事業のほか、生活に役立つ“健康豆知識”などを紹介します。

皆さんは、健康でいるためにどのくらい医療が役に立っているか、健康の社会的決定要因で検索してみませんか。健康の11%です。病気になる前から病院で治療を受けたら大丈夫、と思っている人もいます。私たちがお手伝いできている部分は、実は1割程度と限られています。健康のうち、36%は個人の行動、24%は社会の状況、7%は物理的な環境で決まっています。今回は、今病院に通院されている人にも役に立つ、健康になれる知識として、ソーシャルキャピタルという概念を紹介いたします。ソーシャルキャピタルとは、社会活動や地域参加を通して作られる信頼関係や、助け合いから生まれる様々な資源を指しますが、ソーシャルキャピタルが豊かな地域の人は、より健康であることがわかっています。つまり、他の人との関わりの中で生まれる信頼関係を大切にし、助け合いができるきっかけや雰囲気作り、取組を続けていくと、そこにいるだけで健康になれるのです。みんなでそういう長浜にしていきましょう。

新型コロナウイルスの流行により、社会のあり方が大きく変わりました。外出先では人と距離をとる必要があり、仲を深めるための会食の機会も減りました。当院および関連施設利用者とそのご家族には面会制限をお願いすることになり、心の痛みが続いています。コロナ禍では、感染対策に配慮しつつも、これまで以上にソーシャルキャピタルを高める工夫が、社会や生活の中に求められています。現在私は、湖北病院と関連診療所の利用者さんを対象に、ソーシャルキャピタルの評価も含めた地域の健康調査を計画し、臨床研究を行っています。皆さんの健康に役立てていただけるような結果が出たら、改めて報告させていただきます。



長浜市立湖北病院  
内科医長 又田 祥雄

☎ 82・3315 代表

長浜市立湖北病院

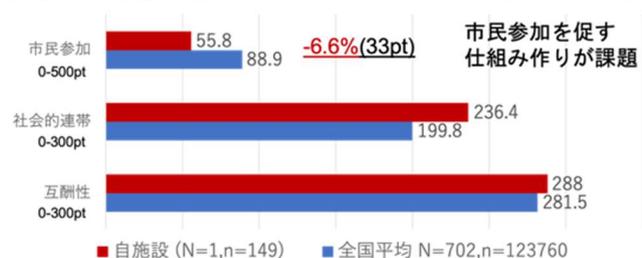
また、近年ソーシャルキャピタルの測定指標として、健康関連ソーシャルキャピタルという評価尺度が開発されました。今後は各地域でのまちづくりや地域づくりを進める上で、こうした尺度での評価が有用となりますが、この開発尺度の開発時には、人口50人未満の学区は対象から除外されており、無医地区をはじめとする過疎地域の評価は、不十分な状況です。予備調査として、病院と関連施設の利用者を対象に、この評価尺度を用いて、ソーシャルキャピタルを評価しました。評価尺度は、「市民参加(人とのかかわり)」「社

会的連帯(人とのつながり)」「互酬性(人との助け合い)」の3つの指標からなりますが、「市民参加」が低い結果が得られました。この知見については、機会があれば広報ながはまでも報告し、学会発表・論文化を予定しています。また、「市民参加」を促す取り組みも計画していきたいと思ひます。来年度年報でも報告いたします。

#### 報告資料4

| Table.  |           | N=149 |       |     |       |
|---------|-----------|-------|-------|-----|-------|
|         |           | 人     | SD, % | min | max   |
| 年齢      |           | 75.2  | 12.7  | 26  | 98    |
| 性別      | 男性        | 61    | 40.5  |     |       |
|         | 女性        | 89    | 59.5  |     |       |
| 世帯状況    | 独居        | 29    | 19.8  |     |       |
|         | 夫婦のみ      | 34    | 22.7  |     |       |
|         | 夫婦以外の二人世帯 | 10    | 6.7   |     |       |
|         | それ以外      | 72    | 48.3  |     |       |
| 婚姻状態    | 不明        | 4     | 2.5   |     |       |
|         | 未婚        | 5     | 3.4   |     |       |
|         | 既婚        | 76    | 51    |     | 離別死別  |
|         | 離別        | 5     | 3.3   |     | 29.3% |
|         | 死別        | 39    | 26    |     |       |
| 教育歴     | 未記入       | 24    | 16    |     |       |
|         | 年数        | 11.2  | 2.87  | 3   | 20    |
|         | 義務教育のみ    | 66    | 44.3  |     |       |
|         | 義務教育以上    | 67    | 45    |     |       |
| 年収(万/年) | 未記入       | 16    | 10.7  |     |       |
|         | 150未満     | 30    | 20.1  |     |       |
|         | 151-300   | 43    | 28.9  |     |       |
|         | 301-500   | 29    | 19.5  |     |       |
|         | 501以上     | 21    | 14.1  |     |       |
|         | 未記入       | 26    | 17.4  |     |       |

自施設における健康関連ソーシャルキャピタル指標の測定と全国平均との比較



#### 地域医療研修の指導報告

(2020年10-11月、報告資料5)

次に、以前大学教員の立場で地域医療教育を行なった経験を生かし、当院で地域医療研修を希望し、ローテートしてくれた初期研修医の先生2名(大津市民病院より、水野絢太医師・大橋要医師)に対して、東野先生監修のもと、指導を行いました。具体的には、オリエンテーション・病院や関連施設の説明・訪問診療や嘱託診療や巡回出張診療の実習・リフレクションを担当しました。フィールドワークは内田先生や山村先生にさせていただきました。コロナ禍でもあり、呑みにケーションなどの、「オフザジョブ研修」は不十分となり非常に残念でしたが、研修医の先生に実習後の学びをレポートしてもらい、広報に掲示しました。

#### 報告資料5



**医療従事者および医療従事者を目指す学生の研修を実施しています**

当院は、地域の病院として、将来の医療を担う研修医の先生、各種医学生に地域に根差した医療現場を見ていただけるよう研修の受け入れを行っております。今回は、市立大津市民病院の初期研修医である水野雅太先生と大槻聖先生が、2020年10-11月に当院へ地域医療研修に来てくださいましたので、研修の感想を一部抜粋して掲載します。

今回の研修では、湖北地域の病院の診療、訪問診療、巡回診療の研修を受けました。急性期から療養まで幅広い入院患者さんがおられました。長期間ひとりの患者さんとかかわること、患者さんのアドバンスケアプランニング<sup>®</sup>など、学ぶことが多くありました。自分の家で生活したいと考える患者さんにとって巡回診療や訪問診療は大きな役割を担っていると感じました。夜間救急の当直業務では各検査の必要性を改めて考えさせられ、近隣の急性期病院への搬送を考慮する基準も難しく感じました。整形外科では、脊柱管狭窄症など慢性期患者さんの外来を見学し、地域の総合病院の整形外科医の働き方を知ることができました。巡回診療に行く道で野生の猿に会うことができたのですが、運転して下さっていた事務の方が「猿なんか珍しくもない。」とおっしゃっていたのが驚きでした。

※アドバンスケアプランニング：人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み（厚生労働省HPから抜粋）



写真：水野先生（左）と大槻先生（中）巡回診療への道中で現れる猿（右、矢印）

湖北病院は、へき地医療拠点病院に指定されており、院内での診療だけでなく、巡回診療や訪問診療をはじめ、へき地診療所やへき地に立地する介護施設の支援も併せて行っています。研修にご協力いただいた地域の皆様はこの場を借りて改めてお礼申し上げます。将来を担う若手医師の育成に、今後ともご協力いただければと思います。

地域医療研修指導担当 東野克巳・久田祥謙

**在宅診療部門について**

**（報告資料6）**

2019年度末時点での在宅診療は、担い手不足から実施規模が縮小され、グループホームやサービス高齢者住宅患者への訪問診療が中心となっていました。定期の自宅への訪問診療に限定すると、実施人数は2020年5月段階で1人でした。在宅診療は、高齢者増加と多死社会においては重要な機能を果たします。へき地拠点病院としては、病院北部の余呉町・木之本町の山間地域を中心に、開業医の先生のカバーが難しい地域を中心にニーズがあると思われます。

最終的には年間で16名に在宅診療を提供しました。

**報告資料6.**

2020年度に在宅診療を行なった患者の症例報告

| 症例 | 年齢 | 性別 | 診断        | 看取り有無 | 住所   |
|----|----|----|-----------|-------|------|
| 1  | 63 | 女性 | 老衰(神経疾患)  | 病院    | 木之本町 |
| 2  | 65 | 男性 | 神経難病      | 生存、転医 | 余呉町  |
| 3  | 92 | 男性 | 老衰(慢性心不全) | 病院    | 余呉町  |
| 4  | 87 | 女性 | 婦人科癌      | 自宅    | 余呉町  |
| 5  | 98 | 女性 | 慢性心不全     | 生存    | 木之本町 |

|    |    |    |            |    |       |
|----|----|----|------------|----|-------|
| 6  | 87 | 男性 | 老衰(褥瘡・認知症) | 自宅 | 余呉町   |
| 7  | 86 | 女性 | 消化器癌       | 病院 | 木之本町  |
| 8  | 92 | 男性 | 老衰(血液疾患)   | 自宅 | 木之本町  |
| 9  | 90 | 女性 | 老衰(認知症)    | 自宅 | 木之本町  |
| 10 | 96 | 女性 | 老衰(慢性心不全)  | 自宅 | 木之本町  |
| 11 | 92 | 男性 | 老衰(慢性腎不全)  | 自宅 | 旧伊香群外 |
| 12 | 69 | 男性 | 消化器癌       | 自宅 | 木之本町  |
| 13 | 76 | 男性 | 泌尿器癌       | 生存 | 木之本町  |
| 14 | 70 | 男性 | 泌尿器癌       | 自宅 | 余呉町   |
| 15 | 60 | 女性 | 神経難病       | 生存 | 木之本町  |
| 16 | 78 | 男性 | 老衰(消化器癌)   | 自宅 | 余呉町   |

#### 集計データ

全16例、平均年齢81.3歳、男性9例・女性7例

老衰7名、担癌患者7名、神経難病3名、臓器不全5名(重複含む)

病院看取り3名、在宅看取り9名、木之本町9名、余呉町6名、他1名

#### 論文執筆

(2021.3.18、報告資料7)

岡先生、渡辺先生、富樫先生に共同著者をお願いし、DIC-CTを用いた肝内結石のバルーン内視鏡下での治療について、Clinical Imageとして執筆しました。

詳細な胆嚢摘出の手術歴が不明な症例で、胆管吻合術後であることをDIC-CTにより確認し、より解剖学的な位置関係を把握した状態で、安全にバルーン内視鏡による治療を行うことができたことを報告しました。日本内科学会の英文誌にアクセプトされ掲載予定です。

#### 報告資料7



#### 研究助成獲得

(2021.3.12)

赴任時に掲げた研究テーマをもとに新たな研究テーマを設定し、研究助成に応募し、令和3年度 JA 共済連委託研究に採択されましたので、以下にその概要について報告します。

## へき地居住者の孤立状況やソーシャルキャピタルと関連する健康要因の探索

へき地居住高齢者では、独居・死別者が多く(報告資料4参照)、これまで以上に孤立という健康問題に対するアプローチが求められると考えました。

また、へき地においては様々な資源の制約から、提供される医療体制や社会資源として、以下に挙げた

- ・コロナ禍での過小医療の可能性(報告資料1参照)
- ・診療所の薬剤処方やポリファーマシーへの介入(報告資料2参照)
- ・プライマリ・ケア機能低下(報告資料3参照)
- ・へき地のソーシャルキャピタルの特徴(報告資料4参照)
- ・地理的バリアと医療リソースの問題で生じる不十分な在宅診療(報告資料6)

などが、健康格差につながりうる地域の問題であることを明らかにしました。

2021年度に行う本研究では、これまでの検討内容をさらに充実させたものとするため、獲得助成金で木之本・余呉・西浅井の住民を対象に全数調査を実施予定です。へき地に住むことで生まれる健康を含む様々な格差を、この調査を通して明らかにしつつ改善し、住民の皆さんの健康につなげたいと思います。

余談ですが、本研究は、Kinomoto, Yogo, And Nishiazai in Shiga の頭文字をとって、「**KYANS study:きゃんすスタディ**」と命名しました。地域が活性化し、みんながきゃんす(集まる)ような、元気なまち作りにつなげたい、という、研究代表者の願いを込めています。

### 活動報告のむすび、来年度にむけて

以上、令和2年度に行なった活動状況や、研究活動の報告とさせていただきます。令和3年度は、コロナウイルス流行の第四波に始まり、通常業務に加えコロナワクチン接種の業務が加わりました。本年報が完成する頃に、上記調査は終了後と思います。調査およびその後の検討にあたり、多方面の方に多大なご負担とご協力をお願いしていることと思います。関係各所の皆さまへ、この場を借りてお礼申し上げます。

## 内科 岡勇樹

### 上腸間膜動脈の分枝に局限した結節性多発動脈炎の1剖検例

【症例】80歳代女性【現病歴】高血圧症、狭心症で冠動脈ステント留置後、繰り返す下肢の蜂窩織炎などで近医に通院されていた患者。X-1年12月下旬より食後に腹痛を自覚されていた。X年1月3日には食事摂取量も徐々に低下してきており下痢や背部痛も伴うようになってきたため、当院紹介受診となった。来院時は37.5℃の発熱を認め、右季肋部を最強点とする圧痛を認めた。血液検査では好中球上昇はないもののCRPは9.38と上昇を認めた。腹部単純CTでは小腸壁の肥厚と腸間膜脂肪織濃度上昇、腹水貯留を認めたため、まずは腸管安静と抗菌薬治療の方針となり、来院同日より入院となった。【経過】絶食、抗菌薬加療で腹部症状改善し解熱したものの、食事を開始すると心窩部の疼痛は持続したため1月8日に上部消化管内視鏡検査を施行すると十二指腸球部から水平部にかけて発赤、色調変化と区域性の浮腫、びらんを認めた。さらに造影CTを撮像すると上腸間膜動脈の起始部がやや狭小化しているようにも見えたため、血管造影を予定していたところ、急変し

1月28日に死亡退院となり剖検が施行された。剖検では上腸間膜動脈の起始部自体は狭窄を認めないものの、小腸腸間膜、十二指腸周囲の脂肪織のごく一部の限局した部位に出血を認め、その周囲の中型動脈に血管炎の所見を認めたため臨床所見とあわせて結節性多発動脈炎と診断した。【考察】上腸間膜動脈の分枝に限局した結節性多発動脈炎の1例を経験した。結節性多発動脈炎はANCAや有意な抗核抗体も見いだされないことも多く、診断に難渋することも少ない。だが腸間膜動脈に限局した結節性多発動脈炎の症例報告は散見され、本症例でも abdominal angina のような症状を呈しており、より早期に診断し免疫抑制療法を開始できていれば予後改善に繋がったかもしれない。

### 3.経営状況

## 令和2年度決算状況

### (1) 経営収支比較

| 区                        | 分                            | 令和2年度        | 令和元年度        | 増 減          | 対前年度比   |
|--------------------------|------------------------------|--------------|--------------|--------------|---------|
| 入                        | 1 入 院 収 益                    | 1,108,168 千円 | 1,299,133 千円 | △ 190,965 千円 | 85.3 %  |
|                          | 入 院 診 療 収 入                  | 1,046,622    | 1,228,843    | △ 182,221    | 85.2    |
|                          | 給 食 料 収 入                    | 61,546       | 70,290       | △ 8,744      | 87.6    |
|                          | 2 外 来 収 益                    | 810,182      | 821,249      | △ 11,067     | 98.7    |
|                          | 3 そ の 他 医 業 収 益              | 94,746       | 105,733      | △ 10,987     | 89.6    |
|                          | 4 受 取 利 息 配 当 金              | 2            | 3            | △ 1          | 66.7    |
|                          | 5 補 助 金                      | 163,421      | 5,144        | 158,277      | 3176.9  |
|                          | 6 負 担 金 交 付 金                | 536,004      | 435,356      | 100,648      | 123.1   |
|                          | 7 院 内 保 育 所 収 益              | 118          | 22           | 96           | 536.4   |
|                          | 8 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 収 益    | 50,784       | 50,123       | 661          | 101.3   |
|                          | 9 長 期 前 受 金 戻 入              | 33,885       | 36,137       | △ 2,252      | 93.8    |
|                          | 10 そ の 他 医 業 外 収 益           | 50,995       | 41,544       | 9,451        | 122.7   |
|                          | 11 特 別 利 益                   | 76,321       | 797          | 75,524       | 9576.0  |
|                          | 収 入 合 計                      | 2,924,626    | 2,795,241    | 129,385      | 104.6   |
| 支                        | 12 給 与 費                     | 1,688,742    | 1,678,504    | 10,238       | 100.6   |
|                          | 給 料                          | 833,313      | 566,501      | 266,812      | 147.1   |
|                          | 諸 手 当                        | 445,395      | 374,770      | 70,625       | 118.8   |
|                          | 賃 金                          | 0            | 326,607      | △ 326,607    | 0.0     |
|                          | そ の 他                        | 410,034      | 410,626      | △ 592        | 99.9    |
|                          | 13 材 料 費                     | 346,419      | 360,733      | △ 14,314     | 96.0    |
|                          | 薬 品 費                        | 170,743      | 181,083      | △ 10,340     | 94.3    |
|                          | 診 療 材 料 費                    | 148,378      | 149,269      | △ 891        | 99.4    |
|                          | 給 食 材 料 費                    | 24,596       | 27,427       | △ 2,831      | 89.7    |
|                          | 医 療 消 耗 備 品 費                | 2,702        | 2,954        | △ 252        | 91.5    |
|                          | 14 経 費                       | 440,234      | 433,931      | 6,303        | 101.5   |
|                          | 15 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費 | 22,315       | 24,007       | △ 1,692      | 93.0    |
|                          | 16 長 期 前 払 消 費 税 償 却         | 3,887        | 3,887        | 0            | 100.0   |
|                          | 17 院 内 保 育 所 費               | 2,490        | 7            | 2,483        | 35571.4 |
| 18 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 費 | 50,925                       | 50,389       | 536          | 101.1        |         |
| 19 そ の 他 支 出             | 351,902                      | 327,910      | 23,992       | 107.3        |         |
| 20 特 別 損 失               | 76,321                       | 797          | 75,524       | 9576.0       |         |
| 支 出 合 計                  | 2,983,235                    | 2,880,165    | 103,070      | 103.6        |         |

## (2) 貸借対照表

(令和3年3月31日)

| 借 方                          |                             | 貸 方             |                    |
|------------------------------|-----------------------------|-----------------|--------------------|
| 科 目                          | 金 額                         | 科 目             | 金 額                |
| 固 定 資 産                      | 円<br>2,455,197,247          | 固 定 負 債         | 円<br>1,730,124,997 |
| 有 形 固 定 資 産                  | 2,395,006,092               | 企 業 債           | 1,002,809,252      |
| 土 地                          | 396,367,437                 | 引 当 金           | 727,315,745        |
| 建 物                          | 4,214,406,035               | 退 職 給 付 引 当 金   | 727,315,745        |
| 建 物<br>減 価 償 却 累 計 額         | 2,727,442,328 1,486,963,707 | 修 繕 引 当 金       | 0                  |
| 構 築 物                        | 323,780,854                 | 流 動 負 債         | 717,891,415        |
| 構 築 物<br>減 価 償 却 累 計 額       | 209,653,968 114,126,886     | 一 時 借 入 金       | 250,000,000        |
| 器 械 及 び 備 品                  | 1,451,121,451               | 企 業 債           | 139,951,000        |
| 器 械 及 び 備 品<br>減 価 償 却 累 計 額 | 1,056,957,192 394,164,259   | 未 払 金           | 203,967,207        |
| 車 両                          | 10,503,590                  | 引 当 金           | 111,357,593        |
| 車 両<br>減 価 償 却 累 計 額         | 7,119,787 3,383,803         | 賞 与 引 当 金       | 94,351,170         |
| 無 形 固 定 資 産                  | 1,851,604                   | 法 定 福 利 費 引 当 金 | 17,006,423         |
| 電 話 加 入 権                    | 1,851,604                   | そ の 他 流 動 負 債   | 12,615,615         |
| 投 資                          | 58,339,551                  | 繰 延 収 益         | 518,368,236        |
| 長 期 貸 付 金                    | 34,000,000                  | 長 期 前 受 金       | 1,747,972,636      |
| 長 期 前 払 消 費 税                | 23,337,551                  | 収 益 化 累 計 額     | △ 1,229,604,400    |
| そ の 他 投 資                    | 1,002,000                   | 資 本 金           | 1,392,182,732      |
| 流 動 資 産                      | 681,471,840                 | 剰 余 金           | △ 1,221,898,293    |
| 現 金 預 金                      | 167,720,050                 | 資 本 剰 余 金       | 5,168,401          |
| 未 収 金                        | 496,986,610                 | 寄 付 金           | 74,752             |
| 貯 蔵 品                        | 16,765,180                  | 補 助 金           | 5,093,649          |
|                              |                             | 欠 損 金           | 1,227,066,694      |
| 合 計                          | 3,136,669,087               | 合 計             | 3,136,669,087      |

## (3) 経営状況①

(単位：千円)

| 決算状況   | 令和2年度     | 令和元年度     | 平成30年度    | 平成29年度    | 平成28年度    | 平成27年度    |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総収益    | 2,924,626 | 2,795,241 | 2,666,719 | 2,637,266 | 2,509,414 | 2,571,836 |
| 経常収益   | 2,848,305 | 2,794,444 | 2,644,477 | 2,637,266 | 2,504,758 | 2,557,290 |
| 医業収益   | 2,013,096 | 2,226,115 | 2,119,266 | 2,127,658 | 2,010,946 | 2,005,054 |
| 他会計繰入金 | 536,004   | 435,356   | 381,812   | 357,257   | 349,643   | 360,594   |
| 総費用    | 2,983,235 | 2,880,165 | 2,891,426 | 2,765,274 | 2,719,581 | 2,622,502 |
| 経常費用   | 2,906,914 | 2,879,368 | 2,869,184 | 2,765,274 | 2,705,240 | 2,569,202 |
| 医業費用   | 2,671,392 | 2,677,618 | 2,703,813 | 2,614,929 | 2,541,417 | 2,410,139 |
| 職員給与費  | 1,688,742 | 1,678,504 | 1,631,445 | 1,575,976 | 1,581,316 | 1,463,376 |
| 材料費    | 346,419   | 360,733   | 361,919   | 349,044   | 333,114   | 337,221   |
| 減価償却費  | 182,953   | 195,531   | 222,614   | 235,378   | 201,999   | 195,854   |
| 支払利息   | 22,315    | 24,007    | 25,653    | 27,494    | 29,142    | 30,931    |
| 純損益    | △ 58,609  | △ 84,924  | △ 224,707 | △ 128,008 | △ 210,167 | △ 50,666  |
| 累積欠損金  | 1,227,067 | 1,168,457 | 1,083,533 | 858,826   | 730,818   | 520,651   |

## (4) 経営状況②

| 経営指標                     | 令和2年度  | 令和元年度     | 平成30年度    | 平成29年度    | 平成28年度    | 平成27年度    |
|--------------------------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総収支比率%                   | 98.04  | 97.05     | 92.23     | 95.37     | 92.27     | 98.07     |
| 経常収支比率%                  | 97.98  | 97.05     | 92.17     | 95.37     | 92.59     | 99.54     |
| 医業収支比率%                  | 75.36  | 83.14     | 78.38     | 81.37     | 79.13     | 83.19     |
| 他会計繰入金対医業収益比率%           | 26.63  | 19.56     | 18.02     | 16.79     | 17.39     | 17.98     |
| 職員給与費対医業収益比率%            | 83.89  | 75.40     | 76.98     | 74.07     | 78.64     | 72.98     |
| 材料費対医業収益比率%              | 17.21  | 16.20     | 17.08     | 16.41     | 16.57     | 16.82     |
| 病床数(年度末現在)               | 140    | 140       | 140       | 153       | 153       | 153       |
| 病床利用率%                   | 70.27  | 82.05     | 75.53     | 72.53     | 68.18     | 69.02     |
| 入院患者数<br>(人)             | 年延数    | 36,007    | 42,044    | 38,596    | 40,505    | 38,074    |
|                          | 1日平均   | 99        | 115       | 106       | 111       | 104       |
| 外来患者数<br>(人)             | 年延数    | 62,951    | 69,132    | 70,747    | 71,877    | 74,368    |
|                          | 1日平均   | 259       | 288       | 294       | 295       | 306       |
| 外来入院比率%                  | 174.83 | 164.43    | 183.30    | 177.45    | 195.32    | 196.23    |
| 患者1人1日<br>当たり診療収入<br>(円) | 入院     | 30,776    | 30,899    | 30,896    | 30,491    | 29,934    |
|                          | 外来     | 12,870    | 11,879    | 11,451    | 11,281    | 10,464    |
| 診療収入<br>(千円)             | 入院     | 1,108,168 | 1,299,133 | 1,192,470 | 1,235,018 | 1,139,689 |
|                          | 外来     | 810,182   | 821,249   | 810,135   | 810,844   | 778,214   |

(5) 資本的収入及び支出（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

収 入

| 区 分       | 予 算 額            |                |                  |  |                                       |                  |
|-----------|------------------|----------------|------------------|--|---------------------------------------|------------------|
|           | 当初予算額            | 補正予算額          | 小 計              | 地方公営企業法<br>第26条の規定に<br>よる繰越額に係<br>る財源充当額 | 継 続 費 通 次<br>繰 越 額 に 係 る<br>財 源 充 当 額 | 合 計              |
| 第1款 資本的収入 | 円<br>222,572,000 | 円<br>△ 836,000 | 円<br>221,736,000 | 円<br>0                                   | 円<br>0                                | 円<br>221,736,000 |
| 第1項 企業債   | 158,000,000      | 0              | 158,000,000      | 0  | 0                                     | 158,000,000      |
| 第2項 出資金   | 64,572,000       | △ 22,000,000   | 42,572,000       | 0  | 0                                     | 42,572,000       |
| 第3項 補助金   | 0                | 21,164,000     | 21,164,000       | 0  | 0                                     | 21,164,000       |
| 第4項 投資戻金  | 0                | 0              | 0                | 0  | 0                                     | 0                |

| 決 算 額            | 予算額に比べ<br>決算額の増減 | 備 考 |
|------------------|------------------|-----|
| 円<br>217,634,499 | 円<br>△ 4,101,501 | 円   |
| 94,500,000       | △ 63,500,000     |     |
| 42,572,000       | 0                |     |
| 79,482,500       | 58,318,500       |     |
| 1,079,999        | 1,079,999        |     |

支 出

| 区 分           | 予 算 額            |                 |        |                  |                              |                    |                  |
|---------------|------------------|-----------------|--------|------------------|------------------------------|--------------------|------------------|
|               | 当初予算額            | 補正予算額           | 流用増減額  | 小 計              | 地方公営企業法<br>第26条の規定に<br>よる繰越額 | 継 続 費 通 次<br>繰 越 額 | 合 計              |
| 第1款 資本的支出     | 円<br>350,148,000 | 円<br>33,709,000 | 円<br>0 | 円<br>383,857,000 | 円<br>0                       | 円<br>0             | 円<br>383,857,000 |
| 第1項 建設改良費     | 195,211,000      | 33,709,000      | 0      | 228,920,000      | 0                            | 0                  | 228,920,000      |
| 第2項 企業債償還金    | 147,167,000      | 0               | 0      | 147,167,000      | 0                            | 0                  | 147,167,000      |
| 第3項 投 資       | 7,750,000        | 0               | 0      | 7,750,000        | 0                            | 0                  | 7,750,000        |
| 第4項 補助金消費税返還金 | 20,000           | 0               | 0      | 20,000           | 0                            | 0                  | 20,000           |

資本的収入額が資本的支出額に不足する額119,197,571円は損益勘定留保資金で補てんした。

| 決 算 額            | 翌年度繰越額                                       |           |        |        | 不 用 額           | 備 考          |
|------------------|--|-----------|--------|--------|-----------------|--------------|
|                  | 地 方 公 営 企 業 法<br>第 26 条 の 規 定 に<br>よ る 繰 越 額 | 継 続 繰 越 額 | 費 次 額  | 合 計    |                 |              |
| 円<br>336,832,070 | 円<br>0                                       | 円<br>0    | 円<br>0 | 円<br>0 | 円<br>47,024,930 |              |
| 183,966,601      | 0  | 0         | 0      | 0      | 44,953,399      | (16,724,236) |
| 147,165,469      | 0  | 0         | 0      | 0      | 1,531           |              |
| 5,700,000        | 0  | 0         | 0      | 0      | 2,050,000       |              |
| 0                | 0  | 0         | 0      | 0      | 20,000          |              |

( )は、仮払消費税

## 4.各種統計

### ○ 湖北病院

#### (1) 職員数

<令和3年3月31日現在>

(単位:人)

|          | 医 師 | 看護師 | 准看護師 | 保健師 | 看護助手 | 薬剤師 | 放射線技師 | 臨床検査技師 | 理学療法士 | 作業療法士 | 視能訓練士 |
|----------|-----|-----|------|-----|------|-----|-------|--------|-------|-------|-------|
| 正 規 職 員  | 15  | 88  | 4    | 1   | 0    | 7   | 6     | 6      | 6     | 3     | 0     |
| 会計年度任用職員 | 1   | 35  | 8    | 1   | 24   | 0   | 1     | 1      | 0     | 0     | 1     |

|          | 言語聴覚士 | 臨床工学技師 | 歯科衛生士 | 管理栄養士 | 託児所保育士 | 事務員 | 介護福祉士 | 介護職員 | その他 | 計   |
|----------|-------|--------|-------|-------|--------|-----|-------|------|-----|-----|
| 正 規 職 員  | 2     | 4      | 2     | 2     | 0      | 15  | 7     | 0    | 0   | 170 |
| 会計年度任用職員 | 0     | 0      | 2     | 0     | 3      | 20  | 1     | 1    | 8   | 99  |

<令和2年3月31日現在>

(単位:人)

|         | 医 師 | 看護師 | 准看護師 | 保健師 | 看護助手 | 薬剤師 | 放射線技師 | 臨床検査技師 | 理学療法士 | 作業療法士 | 視能訓練士 |
|---------|-----|-----|------|-----|------|-----|-------|--------|-------|-------|-------|
| 正 規 職 員 | 13  | 87  | 6    | 1   | 0    | 8   | 6     | 5      | 4     | 3     | 0     |
| 臨 時 職 員 | 1   | 22  | 8    | 1   | 24   | 0   | 1     | 1      | 1     | 0     | 1     |

|         | 言語聴覚士 | 臨床工学技師 | 歯科衛生士 | 管理栄養士 | 託児所保育士 | 事務員 | 介護福祉士 | 介護職員 | その他 | 計   |
|---------|-------|--------|-------|-------|--------|-----|-------|------|-----|-----|
| 正 規 職 員 | 2     | 4      | 2     | 2     | 0      | 15  | 8     | 0    | 0   | 157 |
| 臨 時 職 員 | 0     | 0      | 2     | 0     | 0      | 16  | 1     | 1    | 6   | 93  |

#### (2) 各科別延患者数

<入院>

(単位:人)

|       | 内 科    | 神経内科 | 小 児 科 | 外 科 | 整形外科  | 皮 膚 科 | 泌尿器科  | 婦 人 科 | 眼 科 |
|-------|--------|------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-----|
| 令和2年度 | 11,980 | 0    | 0     | 0   | 3,186 | 173   | 2,304 | 0     | 4   |
| 令和元年度 | 16,128 | 0    | 0     | 0   | 4,292 | 520   | 2,997 | 0     | 164 |

| 耳鼻いんこう科 | 麻 酔 科 | 歯科口腔外科 | 小 計    | 療養病棟   | 計      |
|---------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 0       | 0     | 165    | 17,812 | 36,085 | 53,897 |
| 0       | 0     | 133    | 24,234 | 17,911 | 42,145 |

<外来>

(単位:人)

|       | 内 科    | 神経内科 | 小 児 科 | 外 科 | 整形外科  | 皮 膚 科 | 泌尿器科   | 婦 人 科 | 眼 科   |
|-------|--------|------|-------|-----|-------|-------|--------|-------|-------|
| 令和2年度 | 20,003 | 458  | 1,221 | 135 | 8,171 | 4,401 | 14,871 | 516   | 2,809 |
| 令和元年度 | 21,702 | 476  | 1,738 | 131 | 9,045 | 4,883 | 14,639 | 520   | 3,830 |

| 耳鼻いんこう科 | 麻酔科 | 歯科口腔外科 | 精神科   | 中河内診療所 | 杉野診療所 | 金居原診療所 | 計      |
|---------|-----|--------|-------|--------|-------|--------|--------|
| 3,282   | 371 | 4,190  | 1,811 | 178    | 313   | 221    | 62,951 |
| 4,358   | 349 | 4,848  | 1,730 | 250    | 564   | 309    | 70,747 |

(3) 各科一日平均患者数

<入院>

(単位:人)

|       | 内科 | 神経内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 泌尿器科 | 婦人科 | 眼科 |
|-------|----|------|-----|----|------|-----|------|-----|----|
| 令和2年度 | 33 | 0    | 0   | 0  | 9    | 1   | 6    | 0   | 0  |
| 令和元年度 | 44 | 0    | 0   | 0  | 12   | 1   | 8    | 0   | 0  |

| 耳鼻いんこう科 | 麻酔科 | 歯科口腔外科 | 小計 | 療養病棟 | 計   |
|---------|-----|--------|----|------|-----|
| 0       | 0   | 0      | 49 | 50   | 99  |
| 0       | 0   | 0      | 65 | 49   | 114 |

<外来>

(単位:人)

|       | 内科 | 神経内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 泌尿器科 | 婦人科 | 眼科 |
|-------|----|------|-----|----|------|-----|------|-----|----|
| 令和2年度 | 82 | 10   | 6   | 14 | 34   | 19  | 61   | 7   | 13 |
| 令和元年度 | 90 | 2    | 7   | 1  | 38   | 20  | 61   | 2   | 16 |

| 耳鼻いんこう科 | 麻酔科 | 歯科口腔外科 | 精神科 | 中河内診療所 | 杉野診療所 | 金居原診療所 | 計   |
|---------|-----|--------|-----|--------|-------|--------|-----|
| 18      | 15  | 17     | 21  | 7      | 13    | 9      | 345 |
| 17      | 1   | 21     | 8   | 1      | 2     | 1      | 288 |

(4) 地区別患者数

<入院>

(単位=人)

| 地区名   | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     | 割合      | 前年度    | 増減     |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|---------|--------|--------|
| 長浜市   | 2,714 | 2,436 | 2,197 | 2,522 | 2,645 | 2,760 | 2,518 | 2,623 | 2,679 | 2,517 | 2,056 | 2,631 | 30,298 | 1       | 36,471 | -6,173 |
| 旧伊香郡  | 2,502 | 2,227 | 1,973 | 2,265 | 2,395 | 2,477 | 2,330 | 2,354 | 2,426 | 2,304 | 1,848 | 2,364 | 27,465 | 76.28%  | 32,365 | -4,900 |
| 木之本町  | 1,078 | 1,008 | 862   | 925   | 1,031 | 1,115 | 1,041 | 1,010 | 1,048 | 934   | 669   | 1,002 | 11,723 | 32.56%  | 13,805 | -2,082 |
| 高月町   | 538   | 438   | 411   | 463   | 443   | 601   | 508   | 459   | 519   | 487   | 464   | 485   | 5,816  | 16.15%  | 7,484  | -1,668 |
| 余呉町   | 363   | 331   | 333   | 362   | 421   | 366   | 360   | 399   | 442   | 433   | 408   | 450   | 4,668  | 12.96%  | 5,356  | -688   |
| 西浅井町  | 523   | 450   | 367   | 515   | 500   | 395   | 421   | 486   | 417   | 450   | 307   | 427   | 5,258  | 14.60%  | 5,720  | -462   |
| 旧東浅井郡 | 212   | 209   | 224   | 257   | 250   | 283   | 188   | 269   | 253   | 213   | 208   | 267   | 2,833  | 7.87%   | 4,106  | -1,273 |
| 湖北町   | 182   | 178   | 178   | 193   | 147   | 193   | 146   | 239   | 214   | 141   | 129   | 174   | 2,114  | 5.87%   | 3,309  | -1,195 |
| 虎姫町   | 30    | 31    | 46    | 64    | 103   | 90    | 42    | 30    | 39    | 72    | 79    | 93    | 719    | 2.00%   | 797    | -78    |
| 長浜市   | 290   | 324   | 346   | 363   | 342   | 343   | 449   | 510   | 476   | 429   | 355   | 470   | 4,697  | 13.04%  | 4,400  | 297    |
| 旧長浜市  | 187   | 220   | 254   | 260   | 261   | 225   | 216   | 305   | 299   | 267   | 250   | 328   | 3,072  | 8.53%   | 2,470  | 602    |
| 浅井町   | 46    | 32    | 30    | 39    | 35    | 63    | 82    | 86    | 84    | 69    | 28    | 55    | 649    | 1.80%   | 1,144  | -495   |
| びわ町   | 57    | 72    | 62    | 64    | 46    | 55    | 151   | 119   | 93    | 93    | 77    | 87    | 976    | 2.71%   | 786    | 190    |
| 米原市   | 2     | 25    | 30    | 2     | 5     | 12    | 35    | 25    |       | 9     |       | 14    | 159    | 0.44%   | 377    | -218   |
| 近江町   | 2     | 25    | 30    | 2     |       |       | 17    | 25    |       |       |       | 2     | 103    | 0.29%   | 2      | 101    |
| 米原町   |       |       |       |       | 5     |       |       |       |       | 9     |       | 12    | 26     | 0.07%   | 95     | -69    |
| 山東町   |       |       |       |       |       | 12    | 3     |       |       |       |       |       | 15     | 0.04%   | 200    | -185   |
| 伊吹町   |       |       |       |       |       |       | 15    |       |       |       |       |       | 15     | 0.04%   | 80     | -65    |
| 高島市   | 41    | 31    | 10    |       |       | 21    | 1     | 21    | 4     | 31    | 23    | 11    | 194    | 0.54%   | 225    | -31    |
| マキノ町  | 16    |       |       |       |       | 21    |       | 8     |       | 16    | 13    | 9     | 83     | 0.23%   | 165    | -82    |
| 今津町   | 13    | 31    | 10    |       |       |       | 1     | 13    |       |       | 4     | 2     | 74     | 0.21%   | 27     | 47     |
| 新旭町   | 12    |       |       |       |       |       |       |       |       | 10    | 6     |       | 28     | 0.08%   | 16     | 12     |
| 安曇川町  |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        | 0.00%   | 17     | -17    |
| 高島町   |       |       |       |       |       |       |       |       | 4     | 5     |       |       | 9      | 0.02%   |        | 9      |
| 朽木村   |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        | 0.00%   |        | 0      |
| 他県内   |       | 2     |       |       | 2     |       |       |       |       |       |       |       | 4      | 0.01%   | 74     | -70    |
| 県外    | 30    | 50    | 30    | 31    | 87    | 85    | 83    | 83    | 85    | 62    | 29    |       | 655    | 1.82%   | 497    | 158    |
| 合計    | 3,077 | 2,868 | 2,613 | 2,918 | 3,081 | 3,221 | 3,086 | 3,262 | 3,244 | 3,048 | 2,463 | 3,126 | 36,007 | 100.00% | 42,044 | -6,037 |

<外来>

(単位=人)

| 地区名   | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     | 割合      | 前年度    | 増減     |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|---------|--------|--------|
| 長浜市   | 4,552 | 4,454 | 5,233 | 5,350 | 5,243 | 5,071 | 6,103 | 5,161 | 5,295 | 4,774 | 4,229 | 5,421 | 60,886 | 1.0     | 66,860 | -5,974 |
| 旧伊香郡  | 4,141 | 4,063 | 4,680 | 4,806 | 4,727 | 4,474 | 5,358 | 4,521 | 4,675 | 4,220 | 3,763 | 4,845 | 54,273 | 86.21%  | 59,965 | -5,692 |
| 木之本町  | 1,897 | 1,868 | 2,165 | 2,162 | 2,169 | 2,043 | 2,484 | 2,046 | 2,083 | 1,826 | 1,652 | 2,139 | 24,534 | 38.97%  | 27,467 | -2,933 |
| 高月町   | 860   | 863   | 965   | 1,024 | 944   | 918   | 1,052 | 918   | 958   | 905   | 789   | 1,032 | 11,228 | 17.84%  | 12,276 | -1,048 |
| 余呉町   | 740   | 712   | 848   | 875   | 859   | 840   | 1,035 | 872   | 911   | 797   | 708   | 932   | 10,129 | 16.09%  | 11,240 | -1,111 |
| 西浅井町  | 644   | 620   | 702   | 745   | 755   | 673   | 787   | 685   | 723   | 692   | 614   | 742   | 8,382  | 13.32%  | 8,982  | -600   |
| 旧東浅井郡 | 211   | 212   | 293   | 269   | 273   | 279   | 334   | 313   | 302   | 260   | 237   | 301   | 3,284  | 5.22%   | 3,214  | 70     |
| 湖北町   | 161   | 169   | 251   | 221   | 222   | 229   | 268   | 255   | 244   | 205   | 190   | 244   | 2,659  | 4.22%   | 2,559  | 100    |
| 虎姫町   | 50    | 43    | 42    | 48    | 51    | 50    | 66    | 58    | 58    | 55    | 47    | 57    | 625    | 0.99%   | 655    | -30    |
| 長浜市   | 200   | 179   | 260   | 275   | 243   | 318   | 411   | 327   | 318   | 294   | 229   | 275   | 3,329  | 5.29%   | 3,681  | -352   |
| 旧長浜市  | 122   | 111   | 165   | 167   | 146   | 196   | 247   | 185   | 197   | 182   | 141   | 188   | 2,047  | 3.25%   | 2,273  | -226   |
| 浅井町   | 61    | 47    | 67    | 61    | 49    | 74    | 109   | 86    | 84    | 74    | 68    | 55    | 835    | 1.33%   | 854    | -19    |
| びわ町   | 17    | 21    | 28    | 47    | 48    | 48    | 55    | 56    | 37    | 38    | 20    | 32    | 447    | 0.71%   | 554    | -107   |
| 米原市   | 20    | 14    | 25    | 21    | 29    | 37    | 36    | 25    | 37    | 24    | 23    | 32    | 323    | 0.51%   | 363    | -40    |
| 近江町   | 5     | 6     | 6     | 7     | 10    | 8     | 10    | 4     | 7     | 2     | 3     | 10    | 78     | 0.12%   | 86     | -8     |
| 米原町   | 4     |       | 4     | 5     | 8     | 4     | 4     | 5     | 9     | 9     | 9     | 5     | 66     | 0.10%   | 75     | -9     |
| 山東町   | 11    | 3     | 13    | 8     | 7     | 21    | 16    | 7     | 14    | 7     | 6     | 11    | 124    | 0.20%   | 155    | -31    |
| 伊吹町   |       | 5     | 2     | 1     | 4     | 4     | 6     | 9     | 7     | 6     | 5     | 6     | 55     | 0.09%   | 47     | 8      |
| 高島市   | 38    | 30    | 36    | 24    | 44    | 55    | 46    | 42    | 46    | 41    | 39    | 60    | 501    | 0.80%   | 562    | -61    |
| マキノ町  | 24    | 19    | 21    | 12    | 24    | 39    | 24    | 26    | 29    | 22    | 24    | 37    | 301    | 0.48%   | 409    | -108   |
| 今津町   | 4     | 4     | 6     | 6     | 8     | 6     | 8     | 10    | 8     | 6     | 8     | 10    | 84     | 0.13%   | 89     | -5     |
| 新旭町   | 8     | 3     | 5     | 2     | 6     | 3     | 5     | 2     | 3     | 8     | 3     | 5     | 53     | 0.08%   | 25     | 28     |
| 安曇川町  | 2     | 1     | 2     | 2     | 3     | 4     | 7     | 2     | 4     | 4     | 2     | 4     | 37     | 0.06%   | 31     | 6      |
| 高島町   |       | 3     | 2     | 2     | 3     | 3     | 2     | 2     | 2     | 1     | 2     | 4     | 26     | 0.04%   | 8      | 18     |
| 朽木村   |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        | 0.00%   |        | 0      |
| 他県内   | 23    | 28    | 23    | 24    | 33    | 18    | 26    | 32    | 29    | 39    | 32    | 32    | 339    | 0.54%   | 394    | -55    |
| 県外    | 62    | 69    | 81    | 77    | 85    | 104   | 86    | 57    | 77    | 68    | 65    | 71    | 902    | 1.43%   | 953    | -51    |
| 合計    | 4,695 | 4,595 | 5,398 | 5,496 | 5,434 | 5,285 | 6,297 | 5,317 | 5,484 | 4,946 | 4,388 | 5,616 | 62,951 | 100.00% | 69,132 | -6,181 |

## (5) 診療科別救急患者数

&lt;令和2年度&gt;

(単位:人)

|         | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 内科      | 114 | 134 | 110 | 108 | 173 | 122 | 104 | 111 | 131 | 100 | 91  | 91  | 1,389 |
| 外科      | 6   | 8   | 9   | 16  | 7   | 8   | 10  | 9   | 8   | 9   | 5   | 9   | 104   |
| 婦人科     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
| 小児科     | 3   | 4   | 2   | 1   | 5   | 4   | 3   | 7   | 12  | 2   | 5   | 4   | 52    |
| 耳鼻いんこう科 | 1   | 4   | 1   | 4   | 2   | 5   | 3   | 1   | 9   | 10  | 2   | 3   | 45    |
| 整形外科    | 16  | 26  | 23  | 23  | 30  | 27  | 38  | 33  | 27  | 34  | 28  | 27  | 332   |
| 皮膚科     | 14  | 16  | 8   | 36  | 44  | 23  | 15  | 13  | 4   | 9   | 10  | 3   | 195   |
| 泌尿器科    | 6   | 19  | 9   | 12  | 8   | 17  | 6   | 14  | 11  | 11  | 12  | 16  | 141   |
| 眼科      | 3   | 1   | 3   | 4   | 7   | 6   | 3   | 2   | 4   | 2   | 6   | 1   | 42    |
| 歯科口腔外科  | 3   | 0   | 0   | 1   | 1   | 1   | 2   | 1   | 0   | 0   | 0   | 2   | 11    |
| 神経内科    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
| 精神科     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
| 麻酔科     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
| 合計      | 166 | 212 | 165 | 205 | 277 | 213 | 184 | 191 | 206 | 177 | 159 | 156 | 2,311 |

&lt;令和元年度&gt;

(単位:人)

|         | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 内科      | 199 | 245 | 178 | 213 | 245 | 168 | 170 | 178 | 222 | 259 | 150 | 104 | 2,331 |
| 外科      | 9   | 10  | 6   | 7   | 6   | 8   | 11  | 14  | 9   | 11  | 5   | 11  | 107   |
| 婦人科     | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1     |
| 小児科     | 7   | 7   | 3   | 11  | 6   | 10  | 7   | 2   | 13  | 22  | 11  | 4   | 103   |
| 耳鼻いんこう科 | 3   | 3   | 1   | 2   | 4   | 10  | 4   | 1   | 2   | 2   | 4   | 0   | 36    |
| 整形外科    | 28  | 24  | 19  | 31  | 25  | 32  | 33  | 26  | 32  | 18  | 23  | 19  | 310   |
| 皮膚科     | 15  | 29  | 18  | 36  | 58  | 32  | 22  | 18  | 10  | 8   | 6   | 3   | 255   |
| 泌尿器科    | 7   | 36  | 18  | 18  | 14  | 24  | 11  | 15  | 29  | 17  | 20  | 10  | 219   |
| 眼科      | 5   | 5   | 7   | 4   | 3   | 3   | 4   | 11  | 5   | 4   | 3   | 0   | 54    |
| 歯科口腔外科  | 1   | 1   | 1   | 4   | 0   | 0   | 6   | 3   | 4   | 2   | 0   | 2   | 24    |
| 神経内科    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
| 精神科     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
| 麻酔科     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
| 合計      | 274 | 360 | 251 | 327 | 361 | 287 | 268 | 268 | 326 | 343 | 222 | 153 | 3,440 |

## (6) 手術件数

(単位：件)

|       | 内科  | 外科 | 婦人科 | 整形外科 | 皮膚科 | 眼科 | 泌尿器科 | 歯科口腔外科 | 麻酔科 | 合計  |
|-------|-----|----|-----|------|-----|----|------|--------|-----|-----|
| 令和2年度 | 422 | 23 | 0   | 34   | 54  | 2  | 212  | 4      | 0   | 751 |
| 令和元年度 | 0   | 0  | 0   | 23   | 51  | 84 | 149  | 0      | 0   | 307 |

## (7) 臨床検査件数

(単位：件)

|       | 一般検査   | 血液検査   | 化学・免疫検査 | 輸血検査 | 細菌検査  | 生理検査  | 病理検査  | 合計      |
|-------|--------|--------|---------|------|-------|-------|-------|---------|
| 令和2年度 | 12,105 | 39,431 | 290,213 | 124  | 3,830 | 4,248 | 1,587 | 351,538 |
| 令和元年度 | 14,298 | 45,530 | 331,045 | 91   | 4,559 | 4,566 | 1,505 | 401,594 |

## (8) 調剤関連数

(単位：枚)

|       | 院内処方(外来) | 院内処方(入院) | 院内処方(老健) | 院外処方   | 注射(入院) | TPNミキシング | 化学療法 |
|-------|----------|----------|----------|--------|--------|----------|------|
| 令和2年度 | 2,018    | 15,481   | 1,511    | 39,339 | 20,923 | 1,945    | 247  |
| 令和元年度 | 2,800    | 18,332   | 1,520    | 42,473 | 26,525 | 2,063    | 216  |

## (9) 内視鏡検査件数

(単位：件)

|       | 上部    | 下部  | E R C P | 合計    |
|-------|-------|-----|---------|-------|
| 令和2年度 | 1,204 | 359 | 20      | 1,403 |
| 令和元年度 | 1,654 | 644 | 28      | 2,326 |

## (10) 放射線検査件数

(単位：件)

|       | 一般撮影  | 特殊撮影 | 断層撮影 | 乳房撮影 | C T   | M R I | A G | 骨密度測定 | 合計     |
|-------|-------|------|------|------|-------|-------|-----|-------|--------|
| 令和2年度 | 8,570 | 598  | 354  | 124  | 3,814 | 1,980 | 128 | 1,236 | 16,804 |
| 令和元年度 | 9,609 | 568  | 381  | 87   | 4,428 | 2,215 | 91  | 1,365 | 18,744 |

## (11) 死亡者数と剖検数

|       | 院内死亡者数 | 剖検数 |
|-------|--------|-----|
| 令和2年度 | 128人   | 0件  |
| 令和元年度 | 181人   | 0件  |

## (12) 一般病棟利用状況

|       | 病床数  | 年延病床数   | 年延入院患者数 | 病床利用率 |
|-------|------|---------|---------|-------|
| 令和2年度 | 140床 | 51,100床 | 36,007人 | 70.5% |
| 令和元年度 | 140床 | 51,240床 | 42,044人 | 82.1% |

## (13) リハビリテーション科利用件数

(単位：件)

|       | 利用件数    |
|-------|---------|
| 令和2年度 | 15,786件 |
| 令和元年度 | 14,764件 |

## (14) 主な購入医療機器および備品

| 固定資産の内訳          | 数量 | 金額(税抜・千円) | 購入年月日      | 備考      |
|------------------|----|-----------|------------|---------|
| CT装置(64列128スライス) | 1  | 53,720    | 令和2年6月17日  | 放射線技術科  |
| 電子カルテ用PC端末一式     | 1  | 5,420     | 令和2年8月4日   | 各科(課)   |
| 地域医療ネットワークシステム   | 1  | 12,800    | 令和2年9月30日  | 医事課     |
| 多用途透析用監視装置       | 13 | 16,770    | 令和2年12月24日 | 透析センター  |
| 安全キャビネット         | 1  | 1,475     | 令和3年1月26日  | 中央検査技術科 |
| 超音波診断装置          | 1  | 10,000    | 令和3年1月28日  | 機器センター  |
| 血圧脈波検査装置         | 1  | 2,600     | 令和3年1月28日  | 中央検査技術科 |
| 血液浄化装置           | 1  | 5,400     | 令和3年2月16日  | 透析センター  |
| デジタルスケールベット      | 2  | 2,100     | 令和3年2月18日  | 透析センター  |
| 超音波画像診断装置        | 1  | 8,700     | 令和3年2月25日  | 中央検査技術科 |
| シャワー入浴装置         | 1  | 4,500     | 令和3年2月25日  | 療養病棟    |
| 簡易陰圧装置           | 2  | 2,200     | 令和3年3月5日   | B病棟     |
| 個人用多用途透析装置       | 2  | 3,130     | 令和3年3月16日  | 透析センター  |
| 高圧蒸気滅菌装置         | 1  | 10,800    | 令和3年3月24日  | 中央材料室   |
| ベットサイドモニター       | 5  | 5,800     | 令和3年3月25日  | 機器センター  |
| 生体情報セントラルモニター    | 2  | 3,785     | 令和3年3月25日  | 機器センター  |
| 生体情報送信機          | 5  | 1,240     | 令和3年3月25日  | 機器センター  |
| ナースコール連携接続キット    | 1  | 1,145     | 令和3年3月26日  | 療養病棟    |
| 診断書作成支援システム      | 1  | 3,150     | 令和3年3月30日  | 医事課     |
| オンライン資格確認システム    | 1  | 1,880     | 令和3年3月31日  | 医事課     |
| その他              |    | 10,627    |            |         |
| 合計               |    | 167,242   |            |         |

## (15) 平均在院日数

|      |        |
|------|--------|
| 一般病棟 | 13.2日  |
| 療養病棟 | 202.2日 |

# 湖北やすらぎの里

## (1) 職員数

<令和3年3月31日現在>

(単位：人)

|         | 理学療法士 | 作業療法士 | 看護師 | 准看護師 | 事務員 | 社会福祉士 | 介護職員 | 栄養士 | その他 | 計  |
|---------|-------|-------|-----|------|-----|-------|------|-----|-----|----|
| 正 規     | 3     | 2     | 7   | 1    | 3   | 1     | 20   | 1   | 0   | 38 |
| 会計年度任用職 | 0     | 0     | 2   | 1    | 0   | 0     | 6    | 0   | 20  | 29 |

<令和2年3月31日現在>

(単位：人)

|       | 理学療法士 | 作業療法士 | 看護師 | 准看護師 | 事務員 | 社会福祉士 | 介護職員 | 栄養士 | その他 | 計  |
|-------|-------|-------|-----|------|-----|-------|------|-----|-----|----|
| 正 規   | 3     | 1     | 6   | 1    | 3   | 1     | 20   | 1   | 0   | 36 |
| 臨時職員数 | 0     | 0     | 1   | 1    | 0   | 0     | 7    | 0   | 22  | 31 |

## (2) 月別延療養者数

<令和2年度>

(単位：人)

|          | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 入所者延べ数   | 2,249 | 2,287 | 2,194 | 2,419 | 2,414 | 2,327 | 2,338 | 2,214 | 2,310 | 2,371 | 1,964 | 2,269 | 27,356 |
| 短期入所者延べ数 | 189   | 240   | 241   | 149   | 162   | 156   | 200   | 225   | 232   | 132   | 36    | 124   | 2,086  |
| 通所者数     | 158   | 148   | 185   | 168   | 166   | 149   | 192   | 165   | 160   | 91    | 0     | 118   | 1,700  |
| 実施日数     | 21    | 20    | 22    | 20    | 21    | 19    | 23    | 19    | 20    | 13    | 0     | 21    | 219日   |

<令和元年度>

(単位：人)

|          | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 入所者延べ数   | 2,251 | 2,272 | 2,040 | 2,309 | 2,401 | 2,225 | 2,259 | 2,122 | 2,312 | 2,483 | 2,253 | 2,370 | 27,297 |
| 短期入所者延べ数 | 180   | 177   | 228   | 208   | 151   | 205   | 283   | 295   | 229   | 95    | 116   | 191   | 2,358  |
| 通所者数     | 149   | 170   | 176   | 157   | 149   | 163   | 168   | 175   | 146   | 147   | 146   | 151   | 1,897  |
| 実施日数     | 20    | 19    | 22    | 21    | 21    | 18    | 21    | 20    | 20    | 19    | 19    | 21    | 241日   |

## (3) 一日平均療養者数

<令和2年度>

(単位：人)

|                    | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 合計   |
|--------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 入所者数<br>(短期入所者数含む) | 81.3 | 81.5 | 81.2 | 82.8 | 83.1 | 82.8 | 81.9 | 81.3 | 82.0 | 80.7 | 71.4 | 77.2 | 80.7 |
| 通所者数               | 7.5  | 7.4  | 8.4  | 8.4  | 7.9  | 7.8  | 8.3  | 8.7  | 8.0  | 7.0  | 0.0  | 5.6  | 7.8  |

<令和元年度>

(単位：人)

|                    | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 合計   |
|--------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 入所者数<br>(短期入所者数含む) | 82.8 | 83.5 | 81.8 | 83.6 | 83.9 | 83.2 | 81.0 | 79.2 | 83.3 | 84.0 | 82.9 | 82.3 | 81.2 |
| 通所者数               | 7.5  | 8.9  | 8.0  | 7.5  | 7.1  | 9.1  | 8.0  | 8.8  | 7.3  | 7.7  | 7.7  | 7.2  | 7.9  |

(4) 療養床利用状況

|       | 療養床数 | 年延療養床数  | 年延入所者数  | 利用率   |
|-------|------|---------|---------|-------|
| 令和2年度 | 84床  | 30,660床 | 29,442人 | 96.0% |
| 令和元年度 | 84床  | 30,744床 | 29,655人 | 96.5% |

## 編集後記

令和2年度の湖北病院年報が完成しましたのでお届けします。各部門の1年のあゆみをご覧ください、これからの活動方針の参考資料としてご活用ください。

また、地域住民の皆様とより緊密な連携を図るため、当院の実情をお知りいただく参考として、ご利用いただけることを祈念いたします。

なお、本年報を作成するに当たって、編集作業に携わっていただいた当院各部局の皆様方に深く感謝申し上げます。

令和3年12月

湖北病院年報委員会 委員長 大塚重之

## 位置

JR北陸線木ノ本駅から約900m（徒歩10分）

北陸自動車道 木之本インター口信号を直進約200m

